

認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
環境学習交流センター
岩手県地球温暖化防止活動推進センター

活動報告書

2019年4月 → 2020年3月



i n d e x

- 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて
 - 01 自主事業 3 ページ

- 環境学習交流センター
 - 02 情報誌てとて／いわて環境情報板 4 ページ
 - 03 環境学習交流センター内での展示／特別企画展示 6 ページ
 - 04 環境学習講座 13 ページ
 - 05 アイーナ入居施設との団体協力 19 ページ
 - 06 訪問学習の受け入れ 20 ページ
 - 07 いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築 23 ページ
 - 08 環境アドバイザーの派遣 24 ページ
 - 09 エコカーゴによる出張環境学習会 51 ページ
 - 10 流域活動支援 56 ページ

- 岩手県地球温暖化防止活動推進センター
 - 11 いわてわんこ節電所 58 ページ
 - 12 省エネ・節電キャンペーン 60 ページ
 - 13 岩手県地球温暖化防止活動推進員の派遣 62 ページ
 - 14-1 いわて森のゼミナール推進事業 73 ページ
 - 14-2 いわて森のゼミナール活動報告書 76 ページ

- 外部との連携事業 84 ページ

- 認定特定非営利活動法人環境パートナーシップいわて

●環境パートナーシップいわて 自主事業

01

会員はもとより、一般市民が気軽に参加できる事業を展開しております。

◆市民提案プロジェクト

	事業名	アイーナ夜学
	活動期間・日時	毎月第3金曜日19時～
	場所	いわて県民情報交流センター(アイーナ)環境学習交流センター等
	協力者	会員・市民・大学教授・学生等
	内容	平成18年4月アイーナ開館当初より月1回開催。持続可能な地域社会を実現する新しい産業・都市・住居の階層モデルの提案を行う。2019年度は、SDGsを中心に持続可能な社会をどう作るかの活発な議論が交わされた。

	事業名	被災地自然再生をベースにした新たな連携
	活動期間・日時	2019年5月～10月
	場所	釜石市鶴住居根浜海岸
	協力者	根浜地区海岸林再生実行委員会
	内容	釜石市鶴住居町の根浜海岸は、震災により海岸林が消失するなどの大きな被害を受けた。関係機関が連携し再生のための対策を進める。当法人は、根浜海岸再生のために組織された実行委員会の中核を担い、根浜海岸自然再生事業に携わる。地元の環境保全団体、中学校、釜石市、町内会、振興局、県立大学などが共同し根浜海岸の清掃、海浜植物の再生、植樹などを行った。

	事業名	地域循環共生圏フォーラム2019
	活動期間・日時	2019年11月21日(木)
	場所	アイーナ7F小田島組ホール
	協力者	サステイナビリティ・フォーラム実行委員会、東北環境パートナーシップオフィス、環境省、岩手銀行、岩手大学、岩手県立大学、岩手県産業資源循環協会、岩手県中小企業家同友会、岩手県環境保全連絡協議会、NPO法人青森県環境パートナーシップセンター、一般社団法人あきた地球環境会議、NPO法人うつくしまNPOネットワーク、日本サステナブルコミュニティ協会、プラチナ構想ネットワーク
	内容	「地域循環共生圏」は、農山漁村と都市を活かし、我が国の地域の活力を最大限に発揮する構想である。SDGsやSociety5.0につながる「環境と成長の好循環」の実践モデルである。エネルギー、防災、交通、ライフスタイル、ビジネスの5つの要素を重視する。地域循環共生圏の全体像を把握し、地方の課題に焦点を当て、持続可能な方法で地域資源を有効活用、地方創生も関連する統合的な解決策について知る機会とした。基調講演1「地域循環共生圏を岩手から」中井 徳太郎氏(環境省 総合環境政策統括官)、基調講演2「地域循環共生圏を創造するESG経営の潮流とSDGs～地域金融の新たな役割」吉高 まり氏(三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社環境戦略アドバイザー一部チーフ環境・社会(ES)ストラテジスト/慶應義塾大学大学院政策メディア研究科非常勤講師)、基調講演3「東北の森づくりと人づくりで進む地域循環共生圏」佐々木 豊志氏(NPO法人日本の森バイオマスネットワーク 理事長、青森大学 総合経営学部教授/青森大学SDGs研究センター、一般社団法人くま高原自然学校代表理事) 事例1矢巾町のフューチャー・デザイン「将来世代が参加する持続可能なまちづくり」矢巾町企画財政課未来戦略室 吉岡 律司氏、事例2 久慈でのエネルギーの地産地消の取り組み「エネルギー地産地消による地域活性化を目指して」久慈地域エネルギー株式会社 若林 治男氏、事例3 生物多様性「在来種ニホンミツバチに持続可能性を学ぶ」藤原養蜂場 藤原 由美子氏。

	事業名	カーボンオフセットの推進
	活動期間・日時	2019年度
	場所	アイーナ4F県民プラザ
	協力者	三田農林株式会社
	内容	事業活動で出るCO ₂ を削減するため森林が生み出すCO ₂ の排出権を購入し相殺する仕組みがカーボン・オフセットである。当法人では三田農林株式会社が進める間伐促進型プロジェクトの排出権を購入し、CO ₂ のオフセットを行う。2019年度は、地域循環共生圏フォーラム2019の来場者約151名の会場までの移動にかかる排出量その他、バイオマスセミナー3回分112名の来場者の移動にかかるCO ₂ 排出量をオフセットした。排出権無効化の方法は、環境省のJ-VER用無効化口座に移転し実施される。三田農林の森林がCO ₂ を吸収して出来た排出権は、環境省の検査を受け1,302トン分が認定されている。今後も当法人は排出権を継続して購入し、岩手の森林の育成を支援する。

	事業名	着物のリメイク支援プロジェクト
	活動期間・日時	2020年1月～2月
	場所	陸前高田市
	協力者	NPO法人まあむたかた
	内容	環境パートナーシップいわての小赤澤直子理事が、復興支援として全国からいただいた着物を使った着物リメイク講座を開催。10月14日にアイーナで行われた復興バザーでは、完成した洋服を着て支援して下さった方々へのお礼の気持ちをこめ、着物リメイク講座に参加した皆さんがモデルになりファッションショーを行った。



● 環境学習交流センター

環境学習交流センターでは、センターの情報や岩手県内のイベント情報を掲載している情報誌「てとて」を年3回発行しております。

No.41



2019年9月号
センター情報
 環境学習講座報告「海の日企画:海の生き物を救おう! ~うみがめマリンと考える海の環境」「2030SDGs 観光×SDGs」
 「SDGs」とは
 環境・ひと ~環境カウンセラー高橋さん~
 環境学習交流センターからイベント情報

No.42



2019年12月号
センター情報
 環境学習講座報告「食品用みつろうエコラップを作ってみよう!」「海洋ゴミやプラスチックごみによる海洋汚染防止のための市民公開講座」
 子どもエコクラブ交流会
 地域循環共生圏フォーラム2019
 「釜石・いのちをつなぐ未来館」
 環境学習交流センターからイベント情報

No.43



2020年3月号
冬休み企画、合同交流会
センター情報
 環境学習講座報告「元素・鉱物・農民芸術概論 1926年のSDGs」
 県内企業SDGsの取り組み
 環境学習交流センターからイベント情報

いわて環境情報板<<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>>

岩手県や県内自治体の環境情報、関連イベント情報などを中心にホームページにてお知らせしています。環境という広範囲な話題を皆さんにとって身近に感じられるように、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月末更新。

4月号	●特集:「海ごみゼロアワード2019」応募締切迫る! ●平成30年度「いわてごみゼロ・3R推進ポスターコンクール」の審査結果について ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~1月分~
5月号	●特集:「COOL BIZ」スタート! ●「自然案内人」になろう! 「ネイチャーゲームリーダー養成講座」開催 ●県産産廃いわてだより ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~2月分~
6月号	●特集:6月はテレビなどを消して読書・読み聞かせに取り組もう! ●「海ごみゼロウィーク(5/30~6/8)」の実施について ●「いわて三ツ星Ecoマナーアクション2019」の実施について ●緑の中で楽しむネイチャーゲーム(6/16)と「ネイチャーゲームリーダー養成講座」(8/3~8/4)のお知らせ ●「りば~るくんの郷(さと)づくりパートナー」基礎研修を開催します! (6/20) ●釜石鶴住居クリーンアップ大作戦を実施します!! (6/29) ●第14回「みどり香るまちづくり」企画コンテストについて(~9/13) ●PCB廃棄物の処理期限等について ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~3月分~
7月号	●特集:「いわて夏Ecoキャンペーン」はじまる! ●ぎんがのもり探検隊(7/15)とネイチャーゲームリーダー養成講座(8/3~8/4)のお知らせ ●「いわて環境塾」第1回講座を開催します! (7/28) ●【古いビルや工場をお持ちの方へ】PCB廃棄物の処分について ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~4月分~
8月号	●特集:「環境学習交流センター夏休みイベント」のお知らせ! ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~5月分~ ●「りば~るくんの郷(さと)づくりパートナー」現地研修を開催します!
9月号	●「環境学習交流センターイベント」のお知らせ! ●守ろうオゾン層 防ごう地球温暖化! 9月はオゾン層保護対策推進月間です ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~6月分~ ●「いわて水素エネルギーのススメ」を制作しました!
10月号	●「環境学習交流センターイベント」のお知らせ! ●八幡平から未来の環境を守る旅の提供に向けて「脱プラスチックセミナー」を開催します ●ネイチャーゲーム体験会のお知らせ ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~7月分~
11月号	●「環境学習交流センターイベント」のお知らせ! ●県産産廃いわてだより ●環境保健研究センター新着情報 ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~8月分~
12月号	●「環境学習交流センターイベント」のお知らせ! ●令和元年度「いわてごみゼロ・3R推進ポスターコンクール」作品募集 ●環境保健研究センター新着情報 ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~9月分~ ●「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」のお知らせ
1月号	●「環境学習交流センターイベント」のお知らせ! ●令和元年度「環境コミュニケーションスキルアップセミナー」開催案内 ●環境保健研究センター新着情報 ●「いわて水と緑の交流フォーラム」開催案内 ●「プラスチックセミナーin岩手」開催案内 ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~10月分~
2月号	●「環境学習交流センターイベント」のお知らせ! ●県南圏域環境交流フォーラム for SDGs 開催案内 ●令和元年度「いわて三陸の魅力まるごと再発見!」環境学習推進事業に係る ●環境保健研究センター新着情報 ●冬の星空を観察してみませんか ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~11月分~
3月号	●「環境学習交流センターイベント」のお知らせ! ●環境保健研究センター新着情報 ●県内各市町村のごみ排出量(速報値)~12月分~ ●「いわて環境報告書バンク」に掲載する環境報告書の募集
※常時掲載: 環境学習交流センターからのお知らせ、環境保健研究センター新着情報、助成金情報、おすすめメールマガジン、県内のイベント情報	

●環境学習交流センター内での展示／特別企画展示

03

アイーナ5Fの展示スペースを利用し、県内企業の取組や生活に役立つエコな情報等、環境・地球温暖化に関する情報発信を行っています。

No	1	展示名	北上川ライフフィールドクラブ(花巻市)活動紹介展示
	協力	北上川ライフフィールドクラブ(花巻市)	
	展示期間	平成31年4月1日(月)～4月30日(火)	
	内容	平成30年度水と緑を守り育てる活動で表彰された団体の紹介。	
No	2	展示名	星まつり関連展示
	協力	星まつり実行委員会	
	展示期間	平成31年4月1日(月)～4月30日(火)	
	内容	環境学習講座「もりおか星空セミナー」関連イベントとして吉田 偉峰氏撮影の星空の写真展示を行った。	
No	3	展示名	デンソー岩手「平成30年度エコアクション賞受賞企業」展示
	協力	株式会社デンソー岩手	
	展示期間	令和元年5月1日(水)～5月31日(金)	
	内容	平成30年度エコアクション賞受賞した企業の取り組みを紹介展示。	
No	4	展示名	下橋中学校低炭素杯受賞報告展示
	協力	下橋中学校	
	展示期間	令和元年6月1日(土)～6月30日(日)	
	内容	環境教育での学びを基底に置き、様々な教育活動で体験活動を取り入れながら、「環境問題に関心を持ち、自ら課題意識をもって取り組める生徒」「環境問題への取り組みを通して豊かな人間性を持つ生徒」を育てることを目指した活動を行っています。第9回低炭素杯2019ではその活動が評価され、「ニトリ最優秀夢・未来賞」を受賞した。受賞の様子と日ごろの活動の様子を紹介した。	
No	5	展示名	環境保健研究センター空気と二酸化炭素の重さ比較キット展示
	協力	環境保健研究センター	
	展示期間	令和元年6月20日(木)～7月31日(水)	
	内容	夏休みの期間子供向けに、空気と二酸化炭素の比較体験キットを展示した。	

No	6	展示名	JICA青年海外協力隊ボリビア派遣の活動展示
	協力	JICA岩手デスク	
	展示期間	令和元年7月1日(月)~7月31日(水)	
	内容	JICA岩手デスクの菊池 真美子氏が青年海外協力隊員としてボリビアに派遣された2年間の理学療法士としての活動や現地の生活の様子の写真展示及び民族衣装等の展示を行った。	
No	7	展示名	いわて環境学習応援隊展示 エネルギー知る、わかる、考える
	協力	東北電力株式会社 岩手支店	
	展示期間	令和元年8月1日(木)~8月31日(土)	
	内容	いわて環境学習応援隊の一つである東北電力株式会社のエネルギーの「るるる」(知る)(分かる)(考える)のリーフレットの内容をポスター版にして展示。来館者の方々がエネルギーについて考える機会とする展示とした。	
No	8	展示名	9月1日は防災の日 もしもの備え 逃げた先にある安心
	協力	一般社団法人@かたつむり	
	展示期間	令和元年9月1日(日)~10月6日(日)	
	内容	災害時避難所で暖かいものが食べられない状況を経験したことから、開発された暖かいご飯ができあがるセットの紹介。地元のお米や塩なども使っているこだわりの製品である。アイーナでもこの製品を備蓄している。防災の日の9月1日には災害対応について学んだ。	
No	9	展示名	10月は木づかい月間
	協力	株式会社 オノダ(恵森)	
	展示期間	令和元年10月7日(水)~12月2日(水)	
	内容	木づかい月間に合わせ岩手の木材を大事に扱っている株式会社オノダの紹介。製品のサンプル、ベンチ、本立て、コースターなどの実物も展示した。	
No	10	展示名	信頼と魅力のグローバルカンパニー・リコージャパン
	協力	リコージャパン株式会社岩手支社	
	展示期間	令和元年12月3日(木)~1月14日(火)	
	内容	映像を用いて、SDGsの達成と持続可能な社会の実現に貢献する会社として、リコー製品・サービスの紹介。自社製品の超至近投影&コンパクトサイズ(11.7cmの世界最至近、3.0kgの世界最小・最軽量)プロジェクターで投影。	

No	11	展示名	「再エネ100%宣言」・杜陵高速印刷株式会社
		協力	杜陵高速印刷株式会社
		展示期間	令和2年1月15日(水)～2月20日(木)
		内容	杜陵高速印刷株式会社の幅広い活動を紹介。地域密着のメディアサービス業として、ドローン無人航空機による空撮サービスの映像を投影にて紹介。その他、出版製品、簡易タンカーの実物などの紹介。投影はリコージャパン社製超至近投影&コンパクトサイズのプロジェクターを使用。
No	12	展示名	愛鳥週間ポスターコンクール作品展
		協力	岩手県環境生活部自然保護課
		展示期間	令和2年1月20日(月)～2月26日(水)
		内容	愛鳥週間ポスターコンクールの入賞作品を含む全作品を一挙に展示。
No	13	展示名	子から孫へ、心を紡ぐ鉄瓶屋
		協力	田山鉄瓶工房
		展示期間	令和2年2月21日(金)～3月31日(火)
		内容	SDGsの3番と12番に関わる、伝統工芸品、鉄瓶の魅力をリコージャパン株式会社の協力によりプロジェクターを用いて投影して紹介した。

●展示・イベントの工夫

－展示－

No	1	展示名	センター内の樹木、シンボルツリーの活用
	展示期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
	内容	センター内の樹木を春を感じさせる梅の花で満開にした。花をつくる作業を来館者の方にも参加していただき樹木に設置していただいた。季節感を感じられる展示として展開している。	

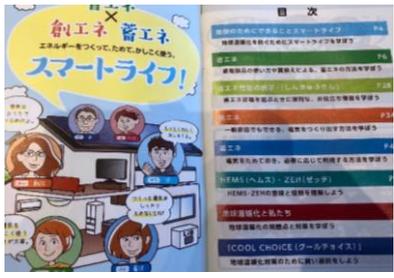
No	2	展示名	グリーンカーテン設置のための種まきとPOP作成展示
	展示期間	平成31年4月1日(月)	
	内容	一般参加者と一緒に種まきからPOPづくりを立派なグリーンカーテンになるようお願いを込めて行った。センタースタッフと一般参加者との交流の場ともなった。年間を通して成長をブログ等へUPして報告を行った。最終的には種の採取をし次年度のイベント景品とする予定。	

No	3	展示名	水彩画サークルエコアート(火・金月4回)
	開催期間	平成31年4月～令和2年3月	
	内容	水彩画サークル会員向けエコアート。火曜日と金曜日の月4回、年間を通して活動。	

No	4	展示名	フェアトレード関連展示
	展示期間	令和元年5月1日(水)～令和元年5月31日(金)	
	内容	児童労働についてのクイズ。展示とフェアトレードチョコクイズを行いフェアトレードについての理解を深めることができた。	

No	5	展示名	エコショップ紹介 キリンシティ
		展示期間	令和元年5月1日(水)～5月31日(金)
		内容	平成30年度優良事例表彰店舗 キリンシティの紹介展示
No	6	展示名	2019 NEW環境展・地球温暖化防止展参加企業の資料等展示
		展示期間	令和元年6月5日(水)～7月2日(火)
		内容	2019年度環境展の様子を資料で紹介展示した。
No	7	展示名	フィジー・ウルグアイ・釜石・大槌を知ろうパネル・写真展示
		展示期間	令和元年5月28日(火)～7月2日(火)
		内容	釜石・大槌鶴住居で行った巡回展示内容を縮小して環境学習交流センターでも開催した。
No	8	展示名	いわてわんこ節電所エコチェックアンケート七夕企画
		展示期間	令和元年7月7日(日)～7月31日(水)
		内容	いわてわんこ節電所エコチェックアンケートにスマホから登録の呼びかけのため七夕企画を開催。南部せんべいのちび丸を景品とし来館者に声掛けを行い60名に参加していただいた。
No	9	展示名	ふるさとの森と川と海の月間
		展示期間	令和元年7月7日(日)～8月31日(土)
		内容	釜石ラグビーワールドカップ開催に伴い開催する地元(釜石・大槌)を知る、豊かな自然を守る活動と生き物の紹介。

No	10	展示名	8月1日は水の日、豊かな地域をつくる水(遠野・米通り)
		展示期間	令和元年8月1(木)～8月31日(土)
		内容	遠野・米通り集落は、かつては水車発電等で自立した生活をしてきた。自然エネルギーで暮せる集落を目指したプロジェクトの紹介。
No	11	展示名	冬の省エネキャンペーン&エコドライブパネル展示
		展示期間	令和元年11月～12月
		内容	エコドライブ月間に合わせてエコドライブの啓発パネルを展示し、燃費、運転の仕方、10の項目について学ぶ機会とした。
No	12	展示名	12月は温暖化防止月間です
		展示期間	令和元年12月
		内容	温暖化防止月間に合わせてパネルの展示を行い冬場の省エネルギーを啓発した。
No	13	展示名	エコプロダクツ展報告
		展示期間	令和2年1月
		内容	エコプロダクツ展でいただいた企業等の資料や商品の展示を行った。
No	14	展示名	いわてわんこ節電所エコチェックアンケートバレンタイン企画
		展示期間	令和2年2月
		内容	わんこ節電所エコチェックアンケート参加者募集企画としてバレンタインの時期に合わせて来館者に参加をお願いした。

No	15	展示名	2月は省エネルギー月間です。
		展示期間	令和2年2月
		内容	省エネルギー月間に合わせてスマートライフおすすめBOOK情報を展示し、地球温暖化を防ぐための省エネ、創エネについて学ぶ展示を行った。

No	16	展示名	エコ×アート作品展
		展示期間	令和2年3月
		内容	季節の草花や・果物などをじっくり観察することで身近に場自然に親しむ心をはぐくんできた水彩画サークル「エコ×アート」。会員の皆さんが書いた作品を一挙に展示。

No	17	展示名	企画展評価の工夫
		展示期間	常時
		内容	企画展の評価として展示を見た方に3段階の評価をしていただき、評価の項目の窓からドングリを一つ入れていただくことを試みた。

環境学習講座の中でも定期的に開催されている、通称『土日講座』。参加者が気軽にふらっと立ち寄れる講座として、本格的なお話から体験型のイベント、工作等さまざまな内容やテーマで開催しています。

番号	1	講演タイトル	【ミニ講座】朝顔の種をまいてみよう！
	日時	平成31年4月1日(月) 13:30～15:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	一般2名+(スタッフ4名)	
内容	センター内にグリーンカーテンを設置するため朝顔の種まきとPOPづくりを講座として行った。種まきからスタッフと一緒に自然に触れる機会とした。またグリーンカーテンの効果を知る講座とし、継続的に朝顔の成長とグリーンカーテンの効果などをHP上でお知らせした。		
番号	2	講演タイトル	【土日講座】もりおか星空セミナー
	日時	平成31年4月5日(土) 13:30～15:00	
	講師	吉田 偉峰氏	
	参加者数	21名	
内容	新月の日に合わせて「もりおか星空セミナー」を開催し、身近な星空環境、星空環境と光害の現状、2019年星空の見どころなどを紹介した。		
番号	3	講演タイトル	【土日講座】「2019世界フェアトレード・デーinいわて」フェアトレードクイズに挑戦！あなたの支援のその先は？ミニワークショップ
	日時	令和元年5月11日(土) 10:00～18:00	
	講師	安保 訓子氏	
	参加者数	45名	
内容	国際交流協会との連携イベントフェアトレード・デーに合わせてセンター内でフェアトレード、児童労働についての理解を深める展示とクイズラリーを行った。国際交流協会のミニワークショップでは「あなたの支援のその先は？」と題して「ポバティー・インク」の上映会を行い、フェアトレードから、発展途上国への支援及び児童労働について考える機会となった。		
番号	4	講演タイトル	【土日講座】2030SDGs 観光×教育
	日時	令和元年6月23日(土) 13:30～16:30	
	講師	渋谷 晃太郎	
	参加者数	11名	
内容	SDGsを修学旅行・学校教育に取り入れよう！と題してカード型ゲーム「2030SDGs」を開催。SDGsへの理解を深め観光・教育の分野で、連携し実践につなげるための交流を行った。SDGsの概念を組み入れ、岩手県の豊富な地域資源を生かした事業を創出することで地域経済を活性化することを学んだ。		

番号	5	講演タイトル	【土日講座】海の生き物を救おう！～うみがめマリンと考える海の環境～
	日時	令和元年7月15日(月祝日) 13:30～15:00	
	講師	海上保安庁 宮古海上保安署 4名(マスコットキャラクター・うーみん)	
	参加者数	親子20名	
内容	「海の日」に海の環境(プラスチック問題を考える)講座を企画。環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」を通して海の環境をわかりやすく学んだ。海上保安庁のマスコットキャラクターうーみんも登場し楽しい講座となった。後半体験ツールでは海に及ぼしているプラスチックを可視化、子供たちはプラスチックごみを拾ってきれいにする体験を行った。内陸と海が繋がっていることを親子で学ぶ機会となった。		

番号	6	講演タイトル	【土日講座】日本の反対側ボリビアから考える地球のこと
	日時	令和元年7月27日(土) 13:30～15:00	
	講師	菊地 真美子氏	
	参加者数	14名	
内容	JICA岩手デスクとの連携講座を開催。ボリビアに理学療法士として青年海外協力隊で派遣された菊池氏の2年間の活動の様子生活の様子などからボリビアと日本の関係など知ることが出来た。発展途上の国のごみ問題、支援の在り方、豊かさとは何だろう？原点を考えさせられる講座となった。		

番号	7	講演タイトル	【土日講座】気候変動とエネルギーについて学んでみよう～
	日時	令和元年8月3日(土) 13:30～15:00	
	講師	東北電力株式会社 岩手支店/センタースタッフ	
	参加者数	14名	
内容	気候変動とエネルギーについてPPのシュミレーション映像を見ながら2100年の気温の上昇変化を知る。温暖化対策を取らなかった場合今後どうなるのかを学び、自分たちができる温暖化対策について考える機会となった。エネルギーについて体験ツールを使って発電の仕組みやエネルギーの使われ方を学んだ。日本で使われているエネルギーの種類と良いところ悪いところについて学ぶことが出来た。		

番号	8	講演タイトル	【土日講座】自然deイングリッシュ(ネイチャーゲーム&星空観察)千厩①
	日時	令和元年8月8日(木) 16:30～21:00	
	講師	吉田 偉峰氏、谷藤 長利氏	
	参加者数	40名	
内容	一関主催の自然deイングリッシュに共催事業としてイベント企画を行った。夕食終了後就寝までの時間を使い谷藤氏のネイチャーゲーム&吉田氏の星空観察会を行った。ネイチャーゲームは短い時間ではあったが参加者のコミュニケーションが深まる時間となった。星空観察は大型の天体望遠鏡なども設置し、月や土星などリアルに見ることが出来た。また星空を見上げよく見える環境なのか考えたとき光害という生活の灯りが害となっていることを知ることが出来た。星空が見える環境を意識することによって電気をつけっぱなしにしない等、気づく講座となった。		

番号	9	講演タイトル	【土日講座】未来に続く家づくり～リサイクル材料で作るエコハウス工作教室part3～
	日時	令和元年8月10日(土) 10:00～12:30	
	講師	岩井沢 賢一 氏(岩井沢工務所 代表取締役)	
	参加者数	12名	
内容	木の見本をみながら、杉は建材として、多く使われているが、岩手では、赤松やカラマツも豊富で、建材として使われている。広葉樹のナラ、サクラ、ヒノキなども使われていて、樹種が豊富である。家や木の事に、興味をもち、「将来の仕事に考えてもらいたい」といったお話もしていただいた。内装インテリアにこだわって、各家には、椅子やテーブルは当たり前、テレビ、リモコン、ティッシュケースまで、それぞれ、工夫をこらし、ある材料を有効に使い、薪ストーブのある家、夏なので、涼しげな、風の通る家が多くみられ、素晴らしいエコな視点のお家が6軒完成した。		

番号	10	講演タイトル	【土日講座】「地域循環共生圏で実現する豊かな地域を目指そう」～日本初の脱炭素化・SDGs構想～
	日時	令和元年8月30日(金) 10:30～12:10	
	講師	藤野 純一氏(公益財団法人地球環境戦略研究機関 上席研究員)	
	参加者数	69名	
内容	地域資源を無駄なく活用することで脱炭素やSDGsを進めながら地域において心地よく豊かに生き延びるための政策、地域循環創造のためには中央からの発信ではなく地域の皆さんの発想と知恵による展開が成果となることを学んだ。		

番号	11	講演タイトル	【土日講座】9月1日は防災の日～もしもの備えを考えよう～
	日時	令和元年9月1日(土) 13:30～15:00	
	講師	①内山 正昭氏(非営利型活動法人かたつむり)②藤澤 剛彦氏(アイーナ管理事務室)	
	参加者数	7名	
内容	①東日本大震災時に冷え切った食べ物であったことから暖かいものをということで開発された～もしもの備え～を紹介。②アイーナ管理事務室藤澤氏より避難拠点施設としての役割や備えについて。東日本大震災時には避難施設ではなかったが受け入れを行い。その当時の苦労等お話しいただいた。		

番号	12	講演タイトル	【土日講座】～海洋ごみやプラスチックごみによる海洋汚染防止のための市民公開講座～
	日時	令和元年9月23日(月・祝) 13:30～16:30	
	講師	塩入 同氏	
	参加者数	52名	
内容	目の前に海がなくても海に繋がっていることを考え行動することの大切さを学ぶ講座となった。ごみ問題は企業、行政、提供する店、消費者、地域の問題である。		

番号	13	講演タイトル	【土日講座】食品用みつろうエコラップを作ってみよう！
	日時	令和元年10月19日(土)13:30～15:30	
	講師	古舘 麻衣氏	
	参加者数	10名	
内容	<p>①環境講話PP使用 ・みつろうエコラップを作ろうと思ったきっかけ・地球がごみでいっぱい・かわいそうな生き物たち・地球温暖化・プラスチックごみを減らすために・あなたが今日からできる事・みつろうって何？</p> <p>②みつろうエコラップワークショップ ・オーガニックコットンにみつろうを配置してアイロンをかける単純な作業。あっという間にエコラップが完成。</p> <p>③地球にやさしい取り組みを参加者全員で模造紙に書き込み共有した。</p>		

番号	14	講演タイトル	【土日講座】～2030SDGsカードゲーム体験から地球温暖化対策を考える～
	日時	令和元年11月24日(日) 13:00～16:00	
	講師	丸尾 美由紀氏	
	参加者数	15名	
内容	<p>①気候変動の話 ②SDGs17の目標概要 SDGsカード体験ふりかえり ③主催者雫石環境パートナーシップ高橋 良和氏「チョウセンアカシジミの環境保全活動」</p>		

番号	15	講演タイトル	【土日講座】元素・鉱物・農民芸術概論 1926年のSDGs
	日時	令和元年11月30日(日) 13:30～16:30 会場:岩手大学農学部附属農業教育資料館	
	講師	桜井 弘氏、牛崎 敏哉氏	
	参加者数	一般70名	
内容	<p>桜井 弘氏 元素の周期表が化学、物理学、生物学、地学、天文学などの幅広い自然科学の進歩に伴う化学技術の発展に大きな影響を及ぼしてきたことを話された。農民芸術概論を説いた宮沢賢治の作品には岩手県内から産出される鉱物資源がさまざまな場面で登場する事にも触れられ、2019年はドミトリ・メンデレーフが元素周期率を発見してから150周年の記念すべき年に賢治の鉱物採集、鉱物分析を通して化学を取り入れた新しい文学表現法について話していただいた。理系の賢治が科学者ではなく何故詩人、童話作家になったのか？と桜井氏も疑問に思っていた。</p> <p>牛崎 俊哉 生きるための悩みを抱えながらも理想を掲げて生きていたことは間違いない。周りからは変な人と思われていてもぶれずに行ってきた。基本はみんなとやる。劇団、楽団、農業これらはぶれてはいなかった。賢治の生き方を見るとお母さんミチさんの生き方が根底にある。他人の利益、生き方を優先した。化学者として炎色反応などを多用に用いているのは色彩感覚によるものではないか。物語を書きたくなり、イメージがわき、作品に取り入れた。白鳥座はブラックホール、銀河鉄道の夜は白鳥座から始まるが、ブラックホールがあるかどうか分からないのに賢治はここから銀河鉄道を出発させた。最先端の技術ですべての銀河の中心にブラックホールがあると分かったことをすでに童話にしていた。</p>		

番号	16	講演タイトル	【土日講座】環境学習講座 in 千厩みなみ交流センター②
	日時	令和元年12月15日(日) 9:00~12:00	
	講師	尾形 香氏	
	参加者数	親子・一般合計7名	
内容	地域の植物を使ってクリスマスリース作りを行い、地域の自然・人材を発見しよう！地域の自然地域の人材発見がテーマであったシリーズ②は参加者が少なかったが内容としては地域の自然、地域の人材発見といったテーマにマッチし、参加者の方には自分の住む地域に目を向けるきっかけとなった。また、自然観察指導員という枠だけではなく木工工作なども開催した経験あることからシリーズ③の企画へとつながる人材発見となった。		

番号	17	講演タイトル	【土日講座】冬休み親子体験講座
	日時	令和元年12月21日(土) ①10:15~10:45 ②11:00~11:30	
	講師	高橋 功氏	
	参加者数	①23名②21名	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・LEDランタン工作を通して自然エネルギーについて学ぶ機会となりました。 ・ランタン作り終了後全員に講座アンケート、エコチェックアンケート、皆で取り組むエコアクションに参加していただき、身近なecoの取組や温暖化についても関心を持っていただく機会となった。 		

番号	18	講演タイトル	【土日講座】冬休み親子体験講座
	日時	令和元年12月21日(土) ①13:00~14:20 ②14:30~15:50	
	講師	花澤 淳	
	参加者数	①12名②8名	
内容	①「エコな家ってどんな家」・風通しの良い家(窓は2つ風が通り抜けるように)・南向きの家(日当たりの良い家)・木を植える・池があると涼しい・再生可能エネルギー(太陽光・薪ストーブ)の説明を聞いてから自分ならではのエコハウスを作ることができた。(材料は木材や段ボールなど。)		

番号	19	講演タイトル	【土日講座】冬休み企画「エネルギーを使わない遊び大集合・遊びを体験してみよう！」
	日時	令和2年1月4日(土)~1月19日(日) 10:00~16:00	
	講師	センタースタッフ	
	参加者数	延べ50名	
内容	<p>テーマ:エネルギー・ウォームシェア(節電・省エネ)</p> <p>冬場のエネルギー消費が高いこの時期にウォームシェアを行いながらエネルギーを使わない遊びの視点を提供。エアカーリング・段ボール羽子板の作り方をセンタースタッフが指導した。センターで初めて提供したプログラムは大変好評で楽しみながら環境について学ぶ機会となった。</p>		

番号	20	講演タイトル	【土日講座】～2030SDGsカードゲーム体験から地球温暖化対策を考える～in葛巻
	日時	令和2年1月26日(土) 14:00～17:00	
	講師	高野 嘉明氏 2030SDGs公認ファシリテーター	
	参加者数	一般10名 取材岩手ケーブルテレビジョン株式会社 2名	
内容	地域と結びつくSDGsの視点の紹介、SDGsカード体験を行った。SDGsをコミュニケーションツールとしてうまく活用し、地域でそれぞれ抱える問題提起ができた。また高校生2名の参加により次の世代につなげられる講座となった。		

番号	21	講演タイトル	【土日講座】～2030SDGsカードゲーム体験から地球温暖化対策を考える～in金ヶ崎町
	日時	令和2年2月6日(木) 14:30～16:30	
	講師	丸尾 美由紀氏 2030SDGs公認ファシリテーター	
	参加者数	15名	
内容	金ヶ崎町各課の二酸化炭素排出量の推移に関する報告、推進員林俊春氏の温暖化情報からSDGsのカードゲーム体験へとつながる講座であった。時間の関係で振り返りが出来なかったが入社して2,3年といった若手の職員が多かったため今後の行政の業務に生かせる視点を学ぶ機会となった。		

番号	22	講演タイトル	【土日講座】～2030SDGsカードゲーム体験から地球温暖化対策を考える～in奥州市
	日時	令和2年2月15日(木) 9:00～12:30	
	講師	丸尾 美由紀氏 2030SDGs公認ファシリテーター	
	参加者数	一般36名 奥州市職員3名 奥州めぐみネット1名、環境学習交流センター2名 合計42名	
内容	募集定員20名を大幅に超える36名の参加者となり、参加者の属性も高校生、企業、行政、一般と様々で交流も含世代間を越えた環境学習講座となった。 講座全体を通して主催団体の奥州市(行政として)、奥州めぐみネットの地域力、人間力が十分に生かされ、休憩時間に地元のお茶、お菓子の提供があり地産地消を知り地域の循環にもつながった。 センターとして提案したプログラムは推進員から「地球温暖化について」、環境学習講座として「SDGsについて&カードゲーム体験」、「地域の団体の活動を知る」の3つの柱がうまくつながった講座となった。		

●アイーナ入居施設との団体協力

05

アイーナ館内の各センターと連携し、イベント等を効果的に開催しています。

	イベント名	2019世界フェアトレードデーinいわて
	日時	令和元年5月11日(土) 10:00～16:00
	場所	①5階ミーティングルーム②環境学習交流センター内
	協力団体	(公財)岩手県国際交流協会・JICA東北
内容	国際交流協会との連携イベント「2019世界フェアトレード・デー」に合わせてセンター内でフェアトレードクイズや児童労働についての展示を行い、国際交流協会ミニワークショップでは「あなたの支援のその先は？」と題して「ポバティ・インク」の映画上映会を行った。フェアトレードデーのこの日に発展途上国への支援や児童労働について考える機会となった。	
	イベント名	環境月間(6月)に伴うライトアップ
	日時	令和元年6月1日(木)～7日(水)夜間
	場所	アイーナ6階ラウンジライト
	協力団体	NPO活動交流センター
内容	6月の環境月間に合わせてアイーナ6階ラウンジの照明をグリーンにライトアップし、SNS等を通じて環境月間をPRした。	
	イベント名	第19回復興バザー
	日時	令和元年6月15日(土) 10:30～15:30
	場所	アイーナ4階
	協力団体	アイーナ管理事務室
内容	第19回復興バザーの開催にあたってバザー商品の提供及び準備作業の手伝いを行った。	
	イベント名	日本の反対側ポリビアから考える地球のこと
	日時	令和元年7月27日(土) 13:30～15:00
	場所	環境学習交流センター
	協力団体	JICA岩手デスク
内容	JICA岩手デスクの協力で青年海外協力隊としてポリビアへ派遣された菊池真美子氏の理学療法士としての活動紹介や生活の様子などを講演していただいた。同時開催として写真展示や民族衣装の展示も行った。	

●訪問学習

06

環境学習交流センターでは訪問学習を受け付けています。展示や体験キットを使った学習の他、クイズや工作など、楽しみながら環境について学べるプログラムを用意しています。

※許可をいただいた団体のみ写真掲載

番号	1	団体名	編み物サークル関係者
	学年	一般	
	日時	2019年4月25日(木) 10:00～11:45	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	12名	
	対応スタッフ	齊藤 富美子	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化についてPPTスライドを活用した講話・3Rについて・リサイクル工作 ・家庭のエコチェックアンケート 		
番号	2	団体名	JR東日本盛岡運輸区
	学年	JR東日本盛岡運輸区社員	
	日時	2019年6月28日(金) 13:00～14:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	10名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰、齊藤 富美子	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化・プラスチックごみ問題 		
番号	3	団体名	水道橋くるみ幼稚園
	学年	らくだ組(年長)	
	日時	2019年7月4日(木) 10:00～11:30	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	園児26名+保護者29名+引率1名+幼児8名 合計64名	
	対応スタッフ	田近、大石	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アイーナの森探検(クイズラリー)・リサイクル工作(エコ灯籠作り)・センター内見学(発電体験ほか) 		
番号	4	団体名	岩手大学人文社会学科部・地域政策課程 環境共生専修プログラム(環境社会学研究室)
	学年	3年生～4年生	
	日時	2019年7月9日(火) 13:00～14:25	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	学生14名(3年生6名、4年生8名)+引率1名 合計15名	
	対応スタッフ	櫻井・田近・大石	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運営団体についての概要説明・エネルギーのかばん「もてるかな」の体験・センター内自由見学 ・いわてわんこ節電所エコチェックアンケート・いわて夏ecoキャンペーンの参加 		
番号	5	団体名	上田学童保育クラブ
	学年	1年生～6年生	
	日時	2019年7月30日(火) 13:00～14:30	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	1～2年生20名、3～6年生34名、引率の先生6名 合計60名	
	対応スタッフ	齊藤(廣)、田近	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞バッグ作り(リサイクル工作)・アイーナの森探検(クイズラリー) 		

番号	6	団体名	杉の子ホーム(八幡平市)
	学年	1年生～6年生	
	日時	2019年8月1日(木) 12:45～14:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	子供25名+引率3名 合計28名	
	対応スタッフ	田近・大石	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水のオリンピック(表面張力についての学習と地球についての学習)・センター内自由見学(発電体験など) ・資料の配布 夏のイベント情報の案内ほか 		
番号	7	団体名	大船渡高校
	学年	1年生	
	日時	2019年8月15日(木) 10:30～12:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	4名	
	対応スタッフ	櫻井 則彰	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・IPCCレポートコミュニケーター用の動画5本、PPT画像2本を見せ解説 1) AR5の警鐘2) 温暖化の仕組み3) 科学者の意見4) RCP2.6と8.5の1950～2050年のシミュレーション 5) CO₂の循環 		
番号	8	団体名	見前小学校2学年
	学年	2学年	
	日時	2019年9月20日(金) 12:15～13:30	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	73名+引率4名 合計77名	
	対応スタッフ	櫻井、齊藤(富)、大石、田近	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センター紹介 ・環境紙芝居(地球がたいへんだ～！) ・家庭のエコチェックアンケート 		
番号	9	団体名	一本木保育園
	学年	保育園児9名(5歳児)+引率2名	
	日時	2019年9月25日(水) 12:30～13:10	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	9名(5歳児)+引率2名 合計11名	
	対応スタッフ	櫻井、田近	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センター紹介 ・環境紙芝居(えこちゃんと森ぼっこ) ・自由体験 		
番号	10	団体名	柏台小学校
	学年	1～2学年	
	日時	2019年9月26日(木) 12:40～13:10	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	小学生1学年7名、2学年6名+引率2名 合計15名	
	対応スタッフ	大石、田近	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センター紹介 ・環境紙芝居(地球がたいへんだ～！) ・自由体験 		
番号	11	団体名	滝沢市市民環境部環境課
	学年	大人	
	日時	2019年10月3日(木) 13:30～15:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	20名	
	対応スタッフ	齊藤 富美子	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみ問題・身近なごみ減量化・資源化の取り組み・エコチェックアンケートの実施・センター内見学 		

番号	12	団体名	一方井小学校
	学年	1～2学年	
	日時	2019年10月4日(金) 12:30～11:00	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	34名	
	対応スタッフ	齊藤(富)、田近	
内容	・センター紹介・環境紙芝居(地球がたいへんだ～!)・自由体験		

番号	13	団体名	赤沢小学校
	学年	5学年	
	日時	2019年10月23日(火) 9:50～10:40	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	5学年児7名+引率1名 合計8名	
	対応スタッフ	櫻井、田近	
内容	・センター紹介・環境紙芝居(地球がたいへんだ～!)・自由体験		

番号	14	団体名	大新小学校
	学年	2学年	
	日時	2019年11月6日(水) 9:40～11:10	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	2学年児90名+引率5名 合計95名	
	対応スタッフ	大石、齊藤(廣)、櫻井、田近	
内容	・センター紹介・環境紙芝居(地球がたいへんだ～!)・自由体験		

番号	15	団体名	北陵中学校支援学級
	学年	1～2学年	
	日時	2019年11月12日(火) 9:20～11:50	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	1～2学年4名+引率2名 合計6名	
	対応スタッフ	大石、田近	
内容	・環境紙芝居(地球がたいへんだ～!)・リサイクル工作(新聞バッグ作りと森の工作館)・自由体験		

番号	16	団体名	仙北小学校
	学年	2学年	
	日時	2019年11月15日(金) 9:45～11:10	
	場所	環境学習交流センター	
	人数	2学年児113名+引率5名 合計118名	
	対応スタッフ	大石、齊藤(廣)、櫻井、田近	
内容	・センター紹介・環境紙芝居(地球がたいへんだ～!)・自由体験		

●いわてこどもエコクラブ等ネットワークの構築

県内で活動するこどもエコクラブ会員の活動を支援したり、クラブ同士の交流の場を設けたりしながら、ネットワークの構築を目指します。

07

こどもエコクラブ交流会 … 県内のクラブ同士の交流と子供達の自然体験の場として年1回開催しました。

1	「三陸の子供たちとの交流&震災と自然の回復を体験してみよう！！」	
	日時	2020年9月15日(日)9:15~17:30
	場所	イーストピアみやこ→三陸鉄道乗車→大槌駅→ミズアオイ観察→うのすまい・トモス→根浜海岸
	参加者数	一般親子計20名
	協力者等	伊藤 聡さんと鶴住居小学校の児童
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アイーナ前集合→バスで出発→イーストピアみやこ→三陸鉄道乗車 ・大槌駅到着→ミズアオイ観察 ・うのすまい・トモス(三陸自然学校 伊藤 聡さんと鶴住居小学校の児童との交流会) ・バス乗車 根浜海岸経由 ・盛岡到着 アイーナ前解散 	

2	いわてこどもエコクラブ サポートーズミーティング SDGsを知ってますか？ ～子どもたちと自然体験・環境活動を続けていくために～	
	日時	2020年1月12日(日)13:00~16:00
	場所	アイーナ6階 団体活動室3
	参加者数	一般の方37名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもエコクラブ活動事例発表 濱塚 有史氏:特定非営利活動法人盛岡YMCA 黍原 豊氏:一般社団法人三陸駒舎 ・2030SDGs カードゲームの体験:ファシリテーター 丸尾 美由紀氏 ・意見交換会 	

こどもエコクラブNEWSいわて … 交流会や県内の活動の様子、イベント情報などを年2回発信しています。

Vol.29		<ul style="list-style-type: none"> ●令和1年12月発行 ・特集は「エコクラブ交流会 in 宮古・大槌・鶴住居」開催の様子 ・みんなの感想 ・2019年秋のイベント情報
--------	---	---

Vol.30		<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年3月発行 ・特集は「馬と古民家で暮らし、馬から生きる力を学ぶ」釜石市橋野町の三陸駒舎訪問 ・1月12日(日) こどもエコクラブサポートーズミーティングの報告 ・2019年秋のイベント情報
--------	---	---

●環境アドバイザーの派遣

08

県民の皆様が環境問題に関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として環境アドバイザーを派遣しています。

実施日	4/6(土)	主催者	荒屋婦人会	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	荒屋婦人会会員 25名		
研修会		荒屋婦人会研修会			
テーマ		衣類のリメイク講座			
内容		楽しいお話を聞きながら、会員それぞれ思い思いのリメイク衣裳を着て感動と再利用のスバラシさを学んだ。			
実施日	4/12(金)	主催者	NPO法人 紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	紫波町在住者7名		
研修会		環境講座「着物リメイク講座」			
テーマ		箆笥に眠っている古着が生まれ変わることを楽しみながら体験してもらう			
内容		環境講座としてタンスにしまいこんでいる着物の活用方法を学びました。昨年参加したファッションショーや今年度の目標を話し合いました。			
実施日	4/14(日)	主催者	天瀬地域資源保全会	アドバイザー	高橋 良和
		対象	組織構成員と家族 40名		
研修会		平成31年度 天瀬地域資源保全会 研修会			
テーマ		地域の自然環境について			
内容		①口笛演奏を通じて、環境に優しいとは何かを理解できた。 ②環境に優しい市販の現物を見ながら、どこが環境に優しいかを理解できた。 ③自然保護活動について、単なるノウハウだけではなく、それに取り組む心構えや考え方を伝えてもらった。その結果、今後の地域の湧水に住むホタルの保護活動に充分活かし、次の世代にも伝えたい。			
実施日	4/27(土)	主催者	いちのせき健康の森	アドバイザー	千田 典文
		対象	当日参加者 4名		
研修会		自然観察会「春の散策」			
テーマ		春に咲く花			
内容		雨の為、参加者が4名と少なかったが、それでも楽しく散策しながら、草花を観察することができました。			
実施日	5/4(土)	主催者	杉のこもれ日	アドバイザー	鈴木 千里
		対象	一般14名		
研修会		心と身体のバランス塾			
テーマ		天然のアロマのハンドマッサージと香害について			
内容		アロマについて詳しく聞くことができた。(中身の成分が何かを確かめること)			

実施日	5/9(木)	主催者	宮古地区社会教育振興協議会	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	教育関係職員32名		
研修会	令和元年度 第1回宮古地区社会教育関係職員研修会				
テーマ	SDGsとESDについて(持続可能な環境教育事業展開の講義と演習)				
内容	<p>【講義】パワーポイント資料により、これまでの経緯や様々な事例をもとに、持続可能な社会をどのように創り出していくか、または既存の仕組みをどう活用していくかについて学んだ。</p> <p>【演習】施設近隣の沢にて、水辺の安全講習と、水生生物による水質判定の進め方について具体的な手法を学んだ。</p> <p>市町村社会教育・生涯教育担当者に対し、SDGsとESDを視点に、自然体験の重要性を、講義と演習両方を効果的なバランスで行ったことで、参加者の研修内容に対する評価が高かった。また、二日間の研修を通して総括していただいたことにより、本研修のテーマである「持続可能な社会」についての意味づけや価値付けが十分に研修参加者に伝わった。</p>				

実施日	5/9(木)	主催者	宮古地区社会教育振興協議会	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	教育関係職員32名		
研修会	令和元年度 第1回宮古地区社会教育関係職員研修会				
テーマ	SDGsとESDについて(持続可能な環境教育事業展開の講義と演習)				
内容	<p>【講義】パワーポイント資料により、これまでの経緯や様々な事例をもとに、持続可能な社会をどのように創り出していくか、または既存の仕組みをどう活用していくかについて学んだ。</p> <p>【演習】施設近隣の沢にて、水辺の安全講習と、水生生物による水質判定の進め方について具体的な手法を学んだ。</p> <p>市町村社会教育・生涯教育担当者に対し、SDGsとESDを視点に、自然体験の重要性を、講義と演習両方を効果的なバランスで行ったことで、参加者の研修内容に対する評価が高かった。また、二日間の研修を通して総括していただいたことにより、本研修のテーマである「持続可能な社会」についての意味づけや価値付けが十分に研修参加者に伝わった。</p>				

実施日	5/10(金)	主催者	宮古地区社会教育振興協議会	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	教育関係職員32名		
研修会	令和元年度 第1回宮古地区社会教育関係職員研修会				
テーマ	SDGsとESDについて(持続可能な環境教育事業展開の講義と演習)				
内容	<p>【講義】パワーポイント資料により、これまでの経緯や様々な事例をもとに、持続可能な社会をどのように創り出していくか、または既存の仕組みをどう活用していくかについて学んだ。</p> <p>【演習】施設近隣の沢にて、水辺の安全講習と、水生生物による水質判定の進め方について具体的な手法を学んだ。</p> <p>市町村社会教育・生涯教育担当者に対し、SDGsとESDを視点に、自然体験の重要性を、講義と演習両方を効果的なバランスで行ったことで、参加者の研修内容に対する評価が高かった。また、二日間の研修を通して総括していただいたことにより、本研修のテーマである「持続可能な社会」についての意味づけや価値付けが十分に研修参加者に伝わった。</p>				

実施日	5/10(金)	主催者	宮古地区社会教育振興協議会	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	教育関係職員 32名		
研修会	令和元年度 第1回宮古地区社会教育関係職員研修会				
テーマ	SDGsとESDについて(持続可能な環境教育事業展開の講義と演習)				
内容	<p>【講義】パワーポイント資料により、これまでの経緯や様々な事例をもとに、持続可能な社会をどのように創り出していくか、または既存の仕組みをどう活用していくかについて学んだ。</p> <p>【演習】施設近隣の沢にて、水辺の安全講習と、水生生物による水質判定の進め方について具体的な手法を学んだ。</p> <p>市町村社会教育・生涯教育担当者に対し、SDGsとESDを視点に、自然体験の重要性を、講義と演習両方を効果的なバランスで行ったことで、参加者の研修内容に対する評価が高かった。また、二日間の研修を通して総括していただいたことにより、本研修のテーマである「持続可能な社会」についての意味づけや価値付けが十分に研修参加者に伝わった。</p>				

実施日	5/10(金)	主催者	NPO法人 紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	一般 6名		
研修会	環境講座「着物リメイク講座」				
テーマ	筆筥に眠っている古着が生まれ変わることを愉しみながら体験してもらう				
内容	作品がどんどん出来てきて、みなさん楽しく受講しました。				

実施日	5/13(金)	主催者	岩泉町立小川小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	児童・職員 19名 (※今年度で閉校)		
研修会	岩泉町立小川小学校 大峰登山				
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然に親しむとともに、植物や昆虫などに興味・関心をもたせる。 ・縦割り班で協力して登山することで、互いを思いやる態度を育てる。 				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大峰の動植物について詳しく教えていただくことができた。 ・子どもたちの質問等にいいねに答えていただくことができた。 				

実施日	5/14(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	一般7名		
研修会	令和元年度せんまや里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)				
テーマ	古着の有効活用を通して、地球にやさしいエコ生活につなげる				
内容	継続して参加されている方も多く、みなさん講座を楽しみにしている。開始前から「今回はどんなものを作ろうかしら」と参加されている。				

実施日	5/16(木)	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	一般他33名		
研修会	春山トレッキング(住田町 種山ヶ原森林公園・物見山)				
テーマ	トレッキングのガイド				
内容	昔と今の登山靴の違いや紐の結び方、準備運動、安全な登り方と楽な登り方、山野草の名前など説明していただいた。また、聞こえた鳥の鳴き声はどういう意味で鳴いているのかなど、個人の登山では味わえない山の楽しみ方を教えていただいた。				

実施日	5/22(水)	主催者	岩手大学教育学部附属中学校	アドバイザー	菅沼 賢治
		対象	1学年生徒・職員 147名 (※岩手日報掲載)		
研修会	ヒューマンセミナー講演会(地域に生きる、自分を活かす)				
テーマ	理想の実現に向かう「自分の力」				
内容	和やかな雰囲気の中で、貴重なお話をいただきました。講演後、生徒からたくさんの質問が出されましたが、一つひとつ丁寧に回答いただきました。講演を数年連続でお引き受けいただいております。関連した学習活動に大変役立っております。				

実施日	5/25(土)	主催者	いちのせき健康の森	アドバイザー	千田 典文
		対象	一般10名		
研修会	自然観察会「ノビネチドリの花」				
テーマ	参加者に自然と親しんでいただく				
内容	一関市の祭時山山麓にある「いちのせき健康の森」を散策しながら、ノビネチドリをはじめアズマギク・フデリンドウ・タニウツギ・ホウノキ等初夏の花々や色々な山野草を観察し植物への知識と愛着を深めることができた。講師の豊富な知識と丁寧な説明のおかげで参加者も十分に満足された。				

実施日	5/25(土)	主催者	八幡平銀河ステーション	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	県内外の星見愛好家19名		
研修会	星を見る会				
テーマ	岩手県、八幡平市の夜空の素晴らしさを県内外の方に知っていただく。				
内容	天文に関して分かりやすい説明とともに星を見るためには、今の環境を保護することの大切さ、光害に関してなども併せてご教示いただきました。				
実施日	5/28(火)	主催者	日本新婦人の会 パンジー班	アドバイザー	粒針 文子
		対象	会員11名		
研修会	プラごみの問題点と盛岡城址公園の植物について				
テーマ	身近な環境について考える				
内容	プラスチックゴミが環境汚染につながり、人体にも影響があることを容器や身の回りにあるものを通し具体的に話され、とても有意義なお話であった。世界中のタイムリーな話題で、他の団体にも聞いてもらいたいと思った。				
実施日	5/31(金)	主催者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	城北小学校児童 85名、引率3名、職員3名、合計91名		
研修会	植物・樹木観察会				
テーマ	自然豊かな運動公園の魅力を発見する機会を設け、将来的な新規・継続的利用に資するとともに、小学生の自然体験学習の一助を担う				
内容	城北小学校3年生を対象に県営運動公園の日本庭園内で植物・樹木の観察会を行った。3クラスそれぞれに講師が付き、植物・樹木の種類や特徴についてお話しいただいた。庭園内を回り、実際に木を触ってみたり木の実を拾ったりと、城北小学校の児童も楽しみながら観察している様子であった。1人の講師に約30人の児童では目が行き届かない部分もあったが、担任の先生の協力のもと、事故や怪我等も無く、終えることができた。				
実施日	5/31(金)	主催者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団	アドバイザー	今宮 英男
		対象	城北小学校児童 85名、引率3名、職員3名、合計91名		
研修会	植物・樹木観察会				
テーマ	自然豊かな運動公園の魅力を発見する機会を設け、将来的な新規・継続的利用に資するとともに、小学生の自然体験学習の一助を担う				
内容	城北小学校3年生を対象に県営運動公園の日本庭園内で植物・樹木の観察会を行った。3クラスそれぞれに講師が付き、植物・樹木の種類や特徴についてお話しいただいた。庭園内を回り、実際に木を触ってみたり木の実を拾ったりと、城北小学校の児童も楽しみながら観察している様子であった。1人の講師に約30人の児童では目が行き届かない部分もあったが、担任の先生の協力のもと、事故や怪我等も無く、終えることができた。				
実施日	5/31(金)	主催者	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団	アドバイザー	高橋 良和
		対象	城北小学校児童 85名、引率3名、職員3名、合計91名		
研修会	植物・樹木観察会				
テーマ	自然豊かな運動公園の魅力を発見する機会を設け、将来的な新規・継続的利用に資するとともに、小学生の自然体験学習の一助を担う				
内容	城北小学校3年生を対象に県営運動公園の日本庭園内で植物・樹木の観察会を行った。3クラスそれぞれに講師が付き、植物・樹木の種類や特徴についてお話しいただいた。庭園内を回り、実際に木を触ってみたり木の実を拾ったりと、城北小学校の児童も楽しみながら観察している様子であった。1人の講師に約30人の児童では目が行き届かない部分もあったが、担任の先生の協力のもと、事故や怪我等も無く、終えることができた。				
実施日	5/31(金)	主催者	花巻太陽の子保育園	アドバイザー	大友 晃
		対象	園児 24名、保育士 4名、合計28名		
研修会	わくわく春散歩				
テーマ	春の自然を五感で感じながら心と身体を解放し、様々な発見を喜ぶ。				
内容	講師の案内で公園の中を散策しました。子ども達はいつもの散歩のようにカエル・トンボ・蝶などをつかまえ、木の実(栗、どんぐり、柘の実など)を拾いながら、講師の後について散策を楽しんでいました。枝の間を通り抜けたり、丸太渡りや木登り、サツキの植え込みの迷路も喜んでいました。				

実施日	6/1(土)	主催者	七時雨マウンテントレイルフェス実行委員会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	星見愛好家17名		
研修会	七時雨MTF星見会				
テーマ	岩手県、八幡平市の夜空の素晴らしさを県内外の方に知っていただく。				
内容	天文に関して分かりやすい説明とともに星を見るためには、今の環境を保護することの大切さ、光害に関してなども併せてご教示いただきました。				
実施日	6/1(土)	主催者	滝沢市教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課	アドバイザー	大友 晃
		対象	33名(小学3～6年生児童と保護者)		
研修会	たきざわファミリーふれあい講座「安比高原ブナの森探検」				
テーマ	小学生児童を中心とした家族の地球環境保全への興味関心と意識啓発を図る学習プログラム				
内容	ブナ林の散策や環境学習を通じて、大自然の素晴らしさや植物の生命の営みを学ぶことができ、参加者は自然環境の大切さを再認識することができました。				
実施日	6/1(土)	主催者	骨寺村ガイドス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	43名(内事務局2名)		
研修会	須川と山麓の自然観察				
テーマ	初夏の栗駒山やそのふもとの祭時と本寺地区の自然を学ぶ				
内容	須川高原温泉に到着すると雨が降り出したため、参加者の半数近くが温泉に残りました。温泉の横から出発し、途中で雨も上がりました。ミズバショウやショウジョウバカマなどが咲く雪の残る道を通り、須川は今は花の咲き始めの時期、と先生から教えていただきました。午後の健康の森周辺は晴れており全員で初夏の季節の自然観察をすることが出来ました。				
実施日	6/2(日)	主催者	高森高原まつり実行委員会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	353名(一般来場者)		
研修会	高森高原まつり 星空環境体験コーナー				
テーマ	地域住民の交流を深め、高森高原の良好な自然環境を広く周知する				
内容	地域住民の交流を深め、高森高原の良好な自然環境を広く周知した				
実施日	6/4(火)	主催者	西和賀町立沢内小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	17名(3学年・引率)		
研修会	「水生生物を調べよう」				
テーマ	和賀川の水はきれいなみずなのかどうか				
内容	川にすむ水生昆虫や魚など、捕獲した生物の生活環境から和賀川の水はきれいなのかを調べた。魚や水生昆虫などの捕獲の仕方や住処を教えていただいた。				
実施日	6/5(水)	主催者	滝沢市立鶴飼小学校4年	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	103名(児童97名 教諭6名)		
研修会	鶴飼小4年生 総合的な学習の時間「鶴飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	滝沢市黒沢 金沢川支流の水生生物を調査する				
内容	水生生物調査の意義・方法・記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子供に仮説をを考えさせ、分かりやすく教えてくださった。 ・生物採取・観察から、水質判定の見方を知り、生物・川・人と環境のつながりを理解することができた。 ・水に触れ、生物に触ることで、調べることから水生生物に関心をもち、水質を知ることができた。 				
実施日	6/5(水)	主催者	滝沢市立鶴飼小学校4年	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	103名(児童97名 教諭6名)		
研修会	鶴飼小4年生 総合的な学習の時間「鶴飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	滝沢市黒沢 金沢川支流の水生生物を調査する				
内容	水生生物調査の意義・方法・記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子供に仮説をを考えさせ、分かりやすく教えてくださった。 ・生物採取・観察から、水質判定の見方を知り、生物・川・人と環境のつながりを理解することができた。 ・水に触れ、生物に触ることで、調べることから水生生物に関心をもち、水質を知ることができた。 				

実施日	6/5(水)	主催者	滝沢市立鶴飼小学校4年	アドバイザー	佐井 守
		対象	103名(児童97名 教諭6名)		
研修会	鶴飼小4年生 総合的な学習の時間「鶴飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	滝沢市黒沢 金沢川支流の水生生物を調査する				
内容	水生生物調査の意義・方法・記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子供に仮説をを考えさせ、分かりやすく教えてくださった。 ・生物採取・観察から、水質判定の見方を知り、生物・川・人と環境のつながりを理解することができた。 ・水に触れ、生物に触ることで、調べることから水生生物に関心を持ち、水質を知ることができた。 				
実施日	6/6(木)	主催者	滝沢市立鶴飼小学校4年	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	103名(児童97名 教諭6名)		
研修会	鶴飼小4年生 総合的な学習の時間「鶴飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	滝沢市黒沢 金沢川支流の水生生物を調査する				
内容	水生生物調査の意義・方法・記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子供に仮説をを考えさせ、分かりやすく教えてくださった。 ・生物採取・観察から、水質判定の見方を知り、生物・川・人と環境のつながりを理解することができた。 ・水に触れ、生物に触ることで、調べることから水生生物に関心を持ち、水質を知ることができた。 				
実施日	6/6(木)	主催者	滝沢市立鶴飼小学校4年	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	103名(児童97名 教諭6名)		
研修会	鶴飼小4年生 総合的な学習の時間「鶴飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	滝沢市黒沢 金沢川支流の水生生物を調査する				
内容	水生生物調査の意義・方法・記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子供に仮説をを考えさせ、分かりやすく教えてくださった。 ・生物採取・観察から、水質判定の見方を知り、生物・川・人と環境のつながりを理解することができた。 ・水に触れ、生物に触ることで、調べることから水生生物に関心を持ち、水質を知ることができた。 				
実施日	6/6(木)	主催者	滝沢市立鶴飼小学校4年	アドバイザー	佐井 守
		対象	103名(児童97名 教諭6名)		
研修会	鶴飼小4年生 総合的な学習の時間「鶴飼を流れる水を調べよう」				
テーマ	滝沢市黒沢 金沢川支流の水生生物を調査する				
内容	水生生物調査の意義・方法・記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子供に仮説をを考えさせ、分かりやすく教えてくださった。 ・生物採取・観察から、水質判定の見方を知り、生物・川・人と環境のつながりを理解することができた。 ・水に触れ、生物に触ることで、調べることから水生生物に関心を持ち、水質を知ることができた。 				
実施日	6/7(金)	主催者	山目地区まちづくり協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	23名(大人20名、事務局3名)		
研修会	山目市民センター成人事業「蘭梅山トレッキング」				
テーマ	配志和神社から蘭梅山を縦走し初夏の草花や野鳥を観察				
内容	朝降っていた雨も開始1時間後には上がり、新緑の蘭梅山を歩く。途中、外来種のフランスギク、ナガミヒナゲシは駆除の対象植物であることを教わりながら散策。ヤマボウシやエゴノキなど見たことはあるが名前がわからない植物の名前を聞いたり、今鳴いている鳥は何かなど、講師は質問攻めになっていました。ニッコウキスゲの群生に感動しました。				
実施日	6/8(土)	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	19名(5家族 13名、職員6名)		
研修会	ファミリートレッキング				
テーマ	トレッキングを楽しみながら親子の交流を図る。				
内容	当日は雨天となりキャンセルが相次ぎました。そんな中、雨天でしか味わえない登山の楽しみ方を参加者に教えてくださったので、参加者は大変満足した様子。特に、普段味わえない体験や活動をしてもらったことに参加した子どもたちは喜びを感じていた。他、山野草についての分かりやすい、丁寧な説明、登山靴の紐の結び方や、登山道の歩き方など参考になった。				

実施日	6/9(日)	主催者	奥州市視覚障害者福祉協会	アドバイザー	大友 晃
		対象	25名(視覚障害者・サポーター)		
研修会	自然観察会				
テーマ	樹木や草花に触れたり、鳥のさえずりを聴き、自然を感じる				
内容	色々な物に触らせながら、説明していただきました。みんなで自然を感じることができました。				
実施日	6/10(月)	主催者	和賀地区自治協議会	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	31名(北上市立和賀西小学校4年生児童9名、北上市立笠松小学校4年生児童13名、大人9名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	自然の大切さや素晴らしさを、川の生物調査をとおし学習する				
内容	<p>①鈴鴨川で1時間ほど、川の状態調査、水生生物の採取を行った。</p> <p>②学校に戻り、水生生物の仲間わけを行い、鈴鴨川がきれいな川であることを確認した。</p> <p>③水生生物の生態についての講義が行われた。</p> <p>④児童からの感想発表を行った。</p> <p>※25種類の水生生物が採取され、きれいな水を住みかとする生き物が多かったので、鈴鴨川はきれいな川であることが分かった。</p>				
実施日	6/11(火)	主催者	北上市教育研究会小学校理科部会	アドバイザー	千田 典文
		対象	小学校教員22名		
研修会	市教研 理科部会 フィールドワーク				
テーマ	身近な植物・生物の観察を行い理科の指導に生かす				
内容	<p>①春～夏の野山の植物、見分け方</p> <p>②樹木について、葉や樹皮など見分け方</p> <p>※天候も良く、野山に入っの植物観察会を予定通り行うことができた。研修の中で「名前を覚えても忘れてしまうので、葉の形やにおい、さわった感じ、味で記憶に残す事」、「この若い木はどこから来たか」つながりなどを考えることが大切、とのことばが心に残りました。</p>				
実施日	6/12(水)	主催者	洋野町立帯島小学校	アドバイザー	中野 雅幸
		対象	11名(帯島小学校校長他教師)		
研修会	森と海のつながり知ろう				
テーマ	洋野町の森と海のつながりを学ぶ(1.森の作り方ー手入れで残す木との木 2.安全な木の倒し方)				
内容	職員の意思を統一すること、指導の技術を高めることを目標に主に除伐木の安全な倒し方を研修。				
実施日	6/14(金)	主催者	NPO法人 紫波みらい研究所	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	8名(町民)		
研修会	環境講座「着物リメイク講座」				
テーマ	箆笥に眠っている古着が生まれ変わることを愉しみながら体験してもらう				
内容	講師の作品を参考に、みなさん新しい服を手掛けていきます。少しづつ参加者が増えてきて、講師一人では大変ですが、みなさん教えあいながら進められるようになってきました。				
実施日	6/15(土)	主催者	矢巾町活動交流センター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	42名(一般来場者)		
研修会	やはばーく令和元年夏至祭				
テーマ	地域の星空観察				
内容	星空観察について講習していただきました。親子での参加が多く、おおいに星座について興味・関心を持ちました。				
実施日	6/16(日)	主催者	矢巾町活動交流センター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	34名(一般来場者)		
研修会	やはばーく令和元年夏至祭				
テーマ	地域の星空観察				
内容	星空観察について講習していただきました。親子での参加が多く、おおいに星座について興味・関心を持ちました。				

実施日	6/17(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	116名(3年生児童・教師)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川河川敷で、植物や生き物を採集して観察したり、詳しく調べたりしながら学習をする。(夏の自然観察)				
内容	パワーポイントを使用して、中津川に関するクイズを出題しながら詳しく説明していただいた。中津川の長さや歴史、生息している魚の種類など、中津川について学習していくための基本的な知識を分かりやすく学ぶことができた。河川敷では児童の疑問に答えていただき、児童の興味関心を高めることができた。				
実施日	6/17(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	116名(3年生児童・教師)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川河川敷で、植物や生き物を採集して観察したり、詳しく調べたりしながら学習をする。(夏の自然観察)				
内容	パワーポイントを使用して、中津川に関するクイズを出題しながら詳しく説明していただいた。中津川の長さや歴史、生息している魚の種類など、中津川について学習していくための基本的な知識を分かりやすく学ぶことができた。河川敷では児童の疑問に答えていただき、児童の興味関心を高めることができた。				
実施日	6/17(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	116名(3年生児童・教師)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川河川敷で、植物や生き物を採集して観察したり、詳しく調べたりしながら学習をする。(夏の自然観察)				
内容	パワーポイントを使用して、中津川に関するクイズを出題しながら詳しく説明していただいた。中津川の長さや歴史、生息している魚の種類など、中津川について学習していくための基本的な知識を分かりやすく学ぶことができた。河川敷では児童の疑問に答えていただき、児童の興味関心を高めることができた。				
実施日	6/18(火)	主催者	一関市立大東小学校	アドバイザー	千田 典文
		対象	45名		
研修会	3年生 総合的な学習の時間「水生生物調査」				
テーマ	身近な川に住む生き物を調べさせることにより、身の回りの環境への親しみと、環境保全への意識を高める。				
内容	・あいさつ、開会行事(9:50～9:55)・水生生物調査(9:55～10:55)・閉会行事(10:55～11:00) ※心配された雨の影響もなく、快晴にも恵まれ、有意義且つ気持ちの良い研修となりました。				
実施日	6/18(火)	主催者	一関市立大東小学校	アドバイザー	川田 昌代
		対象	45名		
研修会	3年生 総合的な学習の時間「水生生物調査」				
テーマ	身近な川に住む生き物を調べさせることにより、身の回りの環境への親しみと、環境保全への意識を高める。				
内容	・あいさつ、開会行事(9:50～9:55)・水生生物調査(9:55～10:55)・閉会行事(10:55～11:00) ※心配された雨の影響もなく、快晴にも恵まれ、有意義且つ気持ちの良い研修となりました。				
実施日	6/18(火)	主催者	大槌町立大槌学園	アドバイザー	臼澤 良一
		対象	40名		
研修会	第4学年 ふるさと科「大槌環境まもり隊」 大槌川上流域の水生生物調査				
テーマ	・水質調査の目的・水生生物と水質の関係				
内容	水生生物調査の実施方法をご指導いただいた。また、実際の調査を行った際には、発見した生物についての判定や水流の速さ、水温の計り方などについても教えていただいた。調査に際しては、事前の打ち合わせや調査場所の環境の下見などを行っていただき、調査を円滑に行うことができた。				

実施日	6/18(火)	主催者	大槌町立大槌学園	アドバイザー	加藤 直子
		対象	40名		
研修会	第4学年 ふるさと科「大槌環境まもり隊」 大槌川上流域の水生物調査				
テーマ	・水質調査の目的・水生物と水質の関係				
内容	水生物調査の実施方法をご指導いただいた。また、実際の調査を行った際には、発見した生物についての判定や水流の速さ、水温の計り方などについても教えていただいた。調査に際しては、事前の打ち合わせや調査場所の環境の下見などを行っていただき、調査を円滑に行うことができた。				
実施日	6/25(火)	主催者	一関市狐禅寺市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	9名(高齢者)		
研修会	高齢者学級「自然観察会」				
テーマ	高齢者が美しく豊かな自然に触れながら、環境意識を高めることを目的とする。				
内容	第一湿原では、ニッコウキスゲ、サワラン、トキソウなどを観察し、解説いただきました。第二湿原に移動したところで、雨雲が迫ってきたため、木道を足早に散策し、山道に移動。山道では銀竜草やエゾハルゼミなども観察しました。また、外来植物についても解説していただき、生態系の保護について理解を深めました。雨雲の様子などから天候を予測して、臨機応変に一行を先導していただきました。おかげで受講生は雨に濡れることなく観察会を終えることができました。				
実施日	6/26(水)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	12名(奥州市立稲瀬小学校)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生物調査)				
テーマ	児童の環境学習に対する理解と認識を深める				
内容	北上川での水生物調査を予定していたが、連日の雨により安全面に懸念があることから室内での代替学習となった。講師が採取した水生物を分類し、水質階級の判定を行ったもの。ほか、顕微鏡を使用した水生物の観察や、食物連鎖の仕組みの説明が行われた。				
実施日	6/27(木)	主催者	盛岡ペットワールド専門学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	11名(専門学校生・教師)		
研修会	北上川の河川調査				
テーマ	動物をあつかう学校なので、外来種等の影響を調べる				
内容	雨の中の調査だったが、橋の下だったので、多くの生物を採集できた。川魚(アブラハヤ?)の稚魚もたくさん採集できた。男女とも、楽しく観察していました。				
実施日	6/27(木)	主催者	一関市弥栄市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	6名(一般)		
研修会	「自然観察会(束稲山)」				
テーマ	束稲山での自然観察会を開催することによって、身近な自然の中での生態を観察しながら、環境保全意識の高揚を図り、以て環境保全活動の活性化に資する。				
内容	身近な場所の自然観察会をテーマに実施。現地の自然環境の解説や外来植物の説明をいただいた。				
実施日	6/28(金)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	17名(奥州市立梁川小学校)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生物調査)				
テーマ	児童の環境学習に対する理解と認識を深める				
内容	広瀬川での水生物調査を予定していたが、雨天により河川の増水のため、室内での代替学習の実施となった。講師があらかじめ広瀬川及び田んぼで採取した水生物を、顕微鏡等を使用しながら観察したもの。学校側の提案で、授業の最後に観察した水生物の絵を児童に描いてもらった。2年連続の室内学習となってしまったが、上級生が下級生に顕微鏡の使い方を教えるなど、児童たちは協力しながら水生物の観察に取り組んでいた。途中、他学年も見学を訪れ、多くの児童が水生物に興味深く観察していた。				

実施日	6/28(金)	主催者	更木地区交流センター	アドバイザー	佐井 守
		対象	32名(親子)		
研修会	ホタル観賞会				
テーマ	更木地区のホタル生息地の観察				
内容	出発前にホタルの生息地やホタルの種類についてお話いただき、参加者にパネルや図鑑を見せて説明しました。その後各自の車で蛍観察地に向かいました。天気が心配されましたが、ホタルの発生には問題がなく源氏ホタルが飛んでいました。まだ、少し時期が早かったようですが、参加者は実際に飛んでいる蛍に感動でした。				
実施日	6/28(金)	主催者	骨寺村ガイドス運営協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	60名(一般市民)		
研修会	第7回「ホタルを観る会in本寺」				
テーマ	中尊寺ゆかりの骨寺村荘園遺跡。歴史的価値のみならず、中世からの伝統的土地利用が継承されていることで、豊かな里山の生態系が広がる場所であることも学ぶ。				
内容	6月に入り雨続きで、この日も朝から土砂降りの雨。当館主催のホタル観察会も年々関心度が高まり、「今日は開催するのか?」「ホタルは飛ぶのか?」と朝から天気を心配する電話が数多く寄せられました。が、「雨でも何匹か出てくるよ!」という千田先生の一言でそのまま開催を決定することに。19:00から館内にてプロジェクターを用い、ホタルの生態や生息環境等の勉強会を行いました。「世界で2000種もあるホタルの中で成虫が発光するのは4種類。そのうち3種類が岩手で観られる」など、とても興味深い貴重なお話をしていただきました。館内の勉強後も雨は止まず、いつものフィールドに向かうと空の明るさと民家の灯り、気温の低さで全く飛んでいませんでした。しかし、しばらくすると2,3匹のゲンジボタルが現れ、最終的に10匹ほどのホタルを確認することができました。さらに、ヘイケの姿も確認できたので、観察会には向いていない天候ながらも、参加者にお見せすることができ、ほっとしました。子どもたちは虫かごにホタル入れ嬉しそうに観察、その後リリースしました。				
実施日	7/2(火)	主催者	宮古市立磯鶏小学校	アドバイザー	水木 高志
		対象	50名(児童39名、職員4名、保護者7名)		
研修会	総合的な学習の時間「八木沢川探検隊」				
テーマ	身近な八木沢川の水質、生き物、環境について、一人一人が課題をもって学習に取り組み、調査を通して八木沢川への理解と自然への愛着を深める。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が生き生きと水の生物等を学ぶことができた。 ・川の水温や流れ等についても詳しく説明していただいた。 ・川遊び体験をより深めた。 				
実施日	7/4(木)	主催者	盛岡市立湯沢児童センター遊戯室	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	70名(児童40名・老人クラブ25名・職員5名)		
研修会	七夕会				
テーマ	児童に七夕の由来や歴史、習慣などを伝えるため				
内容	プロジェクターや資料を使いながら、この時期の星の位置やいわれ、ミニ知識等、たとえを交えながら話していただいた。				
実施日	7/6(土)	主催者	安俵子ども会育成会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	55名(小学生23名、保護者17名、保全組合15名)		
研修会	安俵地域の水質及び水辺の生き物調査				
テーマ	安俵地域の水質の汚れなどを調査し、生き物の生態などを考えること				
内容	安俵地域の六本木地区の用水路、ため池を2班に分かれそれぞれ調査を実施。水質は簡易検査器を使用し汚れの数値等を調査、生物は実際に採取し名称や採取した数を調査。班ごとにまとめて発表しあい、最後に講師より講評として、例年からの生物の変化や安俵地域の水質及び生物の生息状況等について説明を受けた。毎年、調査をするのみなので、ここ数年の水質の数値を比較したり、水生生物の生息の移り変わりについてまとめたりして、子どもたちが地域の水質や生き物について考察することで、来年以降の調査活動を充実させたい。				

実施日	7/9(火)	主催者	岩泉町立大川小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	15名(児童11名、教員4名)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		地域を流れる川の水生生物を調べ、川の汚れの状況を知る			
内容		気温は高くなかったが好天に恵まれ、川の水位も20cmぐらいと低く、水生生物を調べるには条件が大変よかった。中・高学年は川を中心まで活動範囲を広げることができた。低学年は、流れの弱い浅い場所で活動した。昨年よりたくさんの種類が見られた。昨年はカゲロウの仲間が多かったが、今年はトビゲラの仲間が多かった。水生生物の指標生物により大川の水がきれいであることを確認できた。			
実施日	7/9(火)	主催者	盛岡ペットワールド専門学校	アドバイザー	高橋 良和
		対象	10名(専門学校生)		
研修会		北上川の河川生物調査			
テーマ		動物をあつかう学校なので、外来種等の影響を調べる			
内容		天候に恵まれ、一番広い範囲の調査を行うことができた。深い所まで調査を行っていた学生もいた。稚魚もたくさんとれたが、下見のときには、特定外来種のブラックバスも捕獲された。			
実施日	7/9(火)	主催者	遠野市立上郷小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	16名(4年児童14名、引率2名)		
研修会		水生生物調査(※7月4日から順延)			
テーマ		水生生物調査のため			
内容		丁寧な説明で水質の状況、指標生物について理解できた。広口瓶や1m棒などを用意していただき、スムーズに活動できた。			
実施日	7/10(水)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	19名(奥州市立羽田小学校)		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査)			
テーマ		児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		水生生物採取では、生物に触りたがらない児童もいたが、班ごとに協力して楽しそうに実施していた。生物の分類・水質判定では、指標生物ではない生物も多く、児童たちは分類に手間取っていたが、都度講師に質問しながら取組んでいた。調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。時間配分に余裕があり、児童たちも講師や教師の指示をよく聞いて行動していたため、非常にスムーズに調査を行っていた。			
実施日	7/10(水)	主催者	遠野市立綾織小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	14名(4学年児童13名、教師1名)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査の意味・方法を理解する			
内容		砂子沢川にて水生生物を捕獲した後、理科室に運び、児童と一緒に生物の名称と数をまとめ、砂子沢川の水質段階を判定した。			
実施日	7/11(木)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	39名(奥州市立姉体小学校4年生児童34名、教師2名、ボランティア3名)		
研修会		奥州市環境学習事業(水生生物調査) ※7月2日から順延			
テーマ		児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、工夫して生物を採取していた。生物の分類・水質判定では、指標生物の記載された下敷き等を使用しながら、真剣に取り組んでいた。調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。			
実施日	7/11(木)	主催者	洋野町立帯島小学校	アドバイザー	中野 雅幸
		対象	20名(児童17名、教員2名、県北広域振興局技師)		
研修会		森と海のつながりを知ろう			
テーマ		1.森と川がどのように海と結びついているか学ぶ。 2.森作りってどうするの？			
内容		<ul style="list-style-type: none"> 水生生物を指標とした河川の水質を調査する。 河口付近のごみの状況を知る。 バックテストによる水質の調査をする。 			

実施日	7/11(木)	主催者	宮古市立千徳小学校	アドバイザー	水木 高志
		対象	82名(児童・教員)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質調査			
内容		水生生物調査の指導と採取した生物についての説明			
実施日	7/11(木)	主催者	宮古市立千徳小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	82名(児童・教員)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質調査			
内容		水生生物調査の指導と採取した生物についての説明			
実施日	7/11(木)	主催者	宮古市立千徳小学校	アドバイザー	根子 英郎
		対象	82名(児童・教員)		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水質調査			
内容		水生生物調査の指導と採取した生物についての説明			
実施日	7/12(金)	主催者	盛岡市乙部地区公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	15名(小学生と保護者)		
研修会		親子ホタル観察講座			
テーマ		ホタルの観察を通して、自然学習を行いながら親子で自然環境への関心を高める。			
内容		<ul style="list-style-type: none"> ・直前まで雨が降っており、現地でホタルを観察できるか心配であったが、数は少なかったもののホタルを実際に観察できた。また、参加した子どもたちのほとんどが初めてのホタルを見て大変感動した様子でした。 ・座学ではホタルの生態等について興味を持って、先生の質問に答えたり、聞いていたのが印象的でした。 			
実施日	7/13(土)	主催者	紫波町産業部環境課環境室	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	10名(紫波町環境マイスター候補者)		
研修会		令和元年度 紫波町環境マイスター養成講座(第1回)			
テーマ		住民の環境保全活動の推進や意識の高揚を図るため、地域の自然環境や生活環境を評価するとともに、環境保全・啓発活動のリーダーとなり得る人材を育成する。			
内容		水生生物調査による環境評価の有効性について講義を受けたのちに、河川で水質測定と水生生物調査の手法について実習した。グループ分けをして調査をしたが、協力し合って成果を出しており、アンケートではこの実習が最も楽しかったと回答する受講生が多数だった。			
実施日	7/13(土)	主催者	狐禅寺子屋(一関市狐禅寺市民センター)	アドバイザー	千葉 裕
		対象	30名		
研修会		狐禅寺子屋 夏の宿泊実習「滝沢川の水生生物をさがそう」			
テーマ		川にすむ水生生物や水質を調べて自然環境の大切さと地域の川に親しむ機会とする			
内容		アミで川底をすくいあげ、石をかえて生きものがいないかと探した。最初は恐る恐る川岸で探していたが、濡れるのもかまわず夢中になって探していた。			
実施日	7/14(日)	主催者	NPO法人 accommon	アドバイザー	望月 達也
		対象	33名(未就学児・小学生・中学生・保護者・ボランティア・スタッフ)		
研修会		あそびのHIROBA 楽しくのびのび♪親子体験教室 チャレンジキャンプ			
テーマ		鞍掛山登山			
内容		草花や蝶を探しながら登山するクイズラリー形式の写真入りプリントを作成して頂いた。木の実を食べたり、珍しい植物に触れたり自然を満喫することができた。途中でリタイアする者もいたが、怪我や事故もなく皆楽しんで登山することができた。			

実施日	7/14(日)	主催者	NPO法人 accommon	アドバイザー	木幡 英雄
		対象	33名(未就学児・小学生・中学生・保護者・ボランティア・スタッフ)		
研修会	あそびのHIROBA 楽しくのびのび♪親子体験教室 チャレンジキャンプ				
テーマ	鞍掛山登山				
内容	草花や蝶を探しながら登山するクイズラリー形式の写真入りプリントを作成して頂いた。木の実を食べたり、珍しい植物に触れたり自然を満喫することができた。途中でリタイアする者もいたが、怪我や事故もなく皆楽しんで登山することができた。				
実施日	7/14(日)	主催者	オーガニックフェスタ実行委員会	アドバイザー	皆川 千里
		対象	250名		
研修会	オーガニックフェスタinいわて2019				
テーマ	フェスタ会場内でのごみ削減取り組み				
内容	会場内の飲食においてリユース食器をマイ食器として、受付にてデポジット制度で来場者に渡し、飲食の際に店舗でメニューを盛ってもらうことで、使い捨ての食器ゴミの削減を訴求・実践・指導を頂いた。				
実施日	7/16(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	9名		
研修会	令和元年度せんまや里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)				
テーマ	古着の有効活用をとおして、地球にやさしいエコ生活につなげる				
内容	1回目の講座で裁断し、縫製に入っています。自宅で作業を進めている方もいるのでだいぶ形になっている方もいます。次の作品も先生にアドバイスをいただきながら考えている方もいました。				
実施日	7/16(火)	主催者	葛巻町立五日市小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	8名(5・6年生児童6名、職員2名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	地域の自然に興味を持ち、身近な環境を守ろうとする意識を高める。				
内容	・水生生物の採集・食物連鎖について・水質判定の仕方・水質保全の方法について ・川の危険性について				
実施日	7/17(水)	主催者	遠野市立達曽部小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	17名(5・6年児童16名、引率1名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	水生生物調査のため				
内容	皆熱心に講師の先生の話聞き、川に入るときの注意事項を守りながら、水生生物の調査を行った。みつけた生き物から、達曽部川はとてもきれいな川であることが分かった。				
実施日	7/18(木)	主催者	遠野市立宮守小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	13名(4年生11名、教諭2名)		
研修会	水生生物調査(※7/1から順延)				
テーマ	水生生物調査のため				
内容	小学生向けに水中生物調査の仕方を教えていただき、30分ほど生き物探しを行った。その後、グループ毎に生き物の種類や名前、数を調べ、その結果から宮守川がきれいに保たれていることを知った。子供達が興味をもって生物を採取し、地域の川がきれいであることに安心感をもつと共に、将来にわたって清らかな川に保とうという気持ちをもった。				
実施日	7/18(木)	主催者	盛岡市都南公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	34名(親子)※飯岡地区公民館との合同開催		
研修会	親子ホタル観察講座				
テーマ	ホタルの観察を通して、自然学習を行いながら親子で自然環境への関心を高める。				
内容	研修室で受講の後、現地へバスで移動。雨のため、アスハラは使用せず観察。草陰で光るヘイケボタルを全員が観察できた。				

実施日	7/19(金)	主催者	盛岡市都南公民館	アドバイザー	櫻井 則彰
		対象	31名(親子)※見前地区公民館との合同開催		
研修会	親子ホテル観察講座				
テーマ	ホテルの観察を通して、自然学習を行いながら親子で自然環境への関心を高める。				
内容	研修室で受講の後、現地へバスで移動。天気も良く、アスパラでホテルをとり一人ひとり詳しく観察できた。				
実施日	7/19(金)	主催者	めだかの学校 住田教室	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	6名(町内受講希望者)		
研修会	めだかの学校 住田教室				
テーマ	眠っている着物資源の再活用と地域交流				
内容	初めて参加した人が2名あり、リフォームに関心が多く、先生にもしっかり裁断や縫い方を指導して頂いた。				
実施日	7/20(土)	主催者	NPO法人 奥州・いわてNPOネット	アドバイザー	小沢 宗
		対象	14名(小学生6名、中学生3名、大人4名、講師補助1名)		
研修会	岩谷堂地区センター 人首川 親子水生生物調査				
テーマ	人首川の水生生物調査を行い、ふるさとの川を知り、あるべき姿を考える取り組みにつなぐ。				
内容	前々日まで雨が続き続いたこともあり、本流では行わないこととした。岸から続く中洲と葦の茂った浅瀬で行った。初めに注意事項を伝え、生き物の採取の仕方について説明があり、3つのグループに分かれて取り組んだ。雨が続き続いたこともあり、生き物が流されたのではという不安もあったが、石の下や葦の中から次々に採取された。ちょうどブユが羽化している最中のものが見つけられじっくり観察することが出来た。水質階級Ⅰの生物が多く、農業用水が入っている川としてはきれいな水であることが確認された。				
実施日	7/21(日)	主催者	とうわ野鳥の会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	25名(未就学児童1名、小学生6名、大人18名)		
研修会	川の生き物調べ				
テーマ	川の生き物調べを通して東和町の豊かな自然を再確認し、自然環境保全の一助とする。				
内容	班ごとに川に入り、魚類、水生昆虫などを捕まえた後、班でシートを見ながら名前を調べ記録する。その後、講師が班をまわり解説していただいた。昨年秋のしゅんせつ工事が生物にどう影響を与えているか心配したが、ヌカエビの数が例年よりも少なかったほかは、ほぼ例年どおりの種類が見られた。ヌカエビについても年とともに数が回復すると思われる。 全体のまとめの中で講師からは、本地域は県下でも水生生物が豊かな地域であり、保全活動が重要であること、また浚渫(しゅんせつ)工事と生き物の関係という県下でもあまり例がない調査になり、データの蓄積が目目されるとの話があった。活気のある楽しく有意義な観察会であった。				
実施日	7/21(日)	主催者	畑地区農地水資源管理組合	アドバイザー	河野 豊
		対象	30名(児童・園児19名、保護者6名、地域住民5名)		
研修会	地域の川にふれよう				
テーマ	柏台小学校児童及び保護者、地域住民に対し、川とふれあうことによる地域環境状況の理解、河川環境保全意識の啓発を実施することを目的とします。				
内容	当日は晴天の中30名が参加し、地域環境への意識向上を図ることができた。河野先生からは、「松尾鉱山の鉱毒水が近い地域でこのような環境があることはとても幸せなこと、地域の理解を深め、充実した生活にしてもらいたい」と話があった。児童、園児からは「楽しかった」「また来年も参加したい」と話していた。				
実施日	7/23(火)	主催者	八幡平市立田山小学校	アドバイザー	河野 豊
		対象	15名(5・6年児童13名、担任1名、他)		
研修会	総合的な学習の時間				
テーマ	水生生物調査				
内容	とても丁寧にそして楽しく、児童にもわかりやすく対応していただき、楽しく水生生物調査を行うことができました。郷土の河川環境、水生生物について楽しく学ぶことができました。「きれいな河川」であることがわかった。(米代河川)				

実施日	7/23(火)	主催者	遠野市立小友小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	14名(児童11名、教諭3名)		
研修会		水生生物調査・学習会			
テーマ		水生生物調査のため			
内容		前日からの雨で、実施予定の小友川の水量が増え、流れも速かったため、水生生物調査は実施せずに、水生生物についての学習会を音楽室で行った。パワーポイントによる水生生物の学習後、調査の仕方について模擬的に体験した。 事前に学習したよりもたくさんの水生生物について知ることができたこと、きれいな川を保つために、川にゴミや汚れた水などを捨てないことを学ぶことができ、有意義な学習会となりました。			
実施日	7/27(土)	主催者	東稲山さくらの会	アドバイザー	阿部 慶元
		対象	60名(一般参加者)		
研修会		ひらいずみネイチャーウォーキング			
テーマ		東稲山周辺をウォーキングすることで、五感を通して東稲山の豊かな自然環境を体験することを目的とする。			
内容		西行桜の森ウォーキングコースを歩きながらあじさいを観察するとともに、講師より動植物に関する解説を頂きました。身近な場所に豊かな自然環境があることを再発見することができました。			
実施日	7/27(土)	主催者	山後公民館	アドバイザー	安原 昌佑
		対象	25名(小学生子供会、老人クラブ、山後資源保全組合役員)		
研修会		山後資源保全 生き物調査			
テーマ		集落の水路の水生生物調査をして水質を調べる。			
内容		公民館から調査する水路に徒歩で移動して、生き物の採取を行い、その後公民館に生き物を持ち帰り講師の説明を聞きました。			
実施日	7/27(土)	主催者	県北広域振興局経営企画部 二戸地域振興センター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	20名(親子連れ等)		
研修会		ごしよのJOMONナイト			
テーマ		世界遺産登録を目指す御所野遺跡(北海道・北東北の縄文遺跡群)の価値の理解促進と岩手県北地域全体での機運醸成を図るため、御所野縄文博物館において、縄文文化(時代)に触れる新たなイベントを開催するもの。当該イベントの1つとして、御所野縄文公園をフィールドに星空観察を通じた環境保全学習活動を行なおうとするもの。			
内容		御所野縄文公園を会場に、星座望遠鏡を利用しながら現代人より視力が良かったとされる縄文人が見た星空を観察した。現代の街の明かりの影響による星空の見え方の違いなども説明していただき、有意義な環境学習となった。			
実施日	7/27(土)	主催者	岩手県緑化推進委員会北上支部	アドバイザー	藤原 正
		対象	49名(小学生23名、未就学児1名、保護者25名)		
研修会		令和元年度(第28回)憩いの森「夏のわんぱく自然教室」			
テーマ		小学生とその保護者に森林保護・緑化推進の重要性を感じてもらう			
内容		北上市憩いの森内にある炭窯を見学して木立作業を体験した。生活環境保全林内を散策し、落ちている自然の宝もの探しをした。竹を切って「竹ぽっくり」を作った。			
実施日	7/28(日)	主催者	教育振興会川舟貝沢実践班	アドバイザー	田中 實
		対象	7名(児童4名、保護者3名)		
研修会		自然観察会(水生生物)(※7/20からの変更)			
テーマ		夏休みを利用して郷土の自然を観察するとともに川の生き物調べを通じてその豊かさを体験させる。			
内容		地域を流れる川の生き物調べを通して郷土の自然を観察しその魅力に触れた。			

実施日	7/30(火)	主催者	岩山夜空の観察会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	10名		
研修会		令和元年 たのしい夏休み・夜空のわくわく観察会			
テーマ		夜空にある星について知り、観察し、地域の星空環境をどう守っていくとよいかを親子や地域のみんなで考えるきっかけにする。			
内容		天候が不安定だったため間際まで開催するか迷いましたが、結果ちゃんと星の観察ができ参加した方たちもとても良かったという感想でした。講師のお話で、雲の様子から市街中心部で熱せられた空気と岩山のある東側上空の空気が作った空模様の見方も興味深く、夏の大三角についても、天の川をはさんだベガとアルタイルのように木星と土星が配置された天体を次に見られるのは59年後とのことで、満点の星空でなくても雲間からでもいろいろ知ることができ大変有意義な内容でした。			
実施日	7/31(水)	主催者	八幡平銀河ステーション	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	40名		
研修会		星を見る会			
テーマ		岩手県、八幡平市の夜空の素晴らしさを県内外の方に知っていただくため			
内容		天文に関して分かりやすい説明とともに星を見るためには、今の環境を保護することの大切さ、光害に関してなども併せてご教示いただきました。			
実施日	7/31(水)	主催者	遠野市立遠野小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	11名		
研修会		水生生物調査			
テーマ		水生生物調査のため(来内川がきれいなのか調べる)			
内容		来内川に住む水生生物を調査することによって、学校間近の来内川の水質がきれいであることがわかった。講師と児童の交流により、身近な環境について興味を深め、「夏休みの自由研究にしてみたい」という児童もいた。			
実施日	8/1(木)	主催者	奥州市市民環境生活部生活環境課	アドバイザー	菅原 民子
		対象	30名(みずさわエコキッズ15名、保護者6名、その他9名)		
研修会		奥州市こどもエコクラブ交流会			
テーマ		児童の環境学習に対する理解と認識を深める			
内容		田んぼ・水路の生き物調査では、水路の水や泥の中から生物を見つけ観察を行った。また、周囲の虫や草花について講師が解説する場面もあった。大久保川での水生生物調査では、子供達は積極的に生物を探し、大人の手を借りながらサワガニやカジカも捕まえていた。子供達から度々歓声が上がリ、大いに楽しめた様子だった。			
実施日	8/1(木)	主催者	折爪岳振興協議会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	30名(一般申込者)		
研修会		折爪岳星空観察会			
テーマ		折爪岳の魅力を語る中で、ヒメボタルのみならず、四季折々の魅力を持つ折爪岳を発信するため、小学校の夏休みに合わせ星空観察会を開催し、折爪岳の魅力を再発見していただく。			
内容		屋内で星についての勉強会を行った後、屋外に出て星空の観察を行った。当日は、あまり天候がすぐれなかったが、わずかに見える星を講師から用意いただいた望遠鏡で観察した。			
実施日	8/3(土)	主催者	NPO法人 いちのへ文化・芸術NPO	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	26名		
研修会		親子deサイエンス図書館～ソラはとってもおもしろい 身近な衛星「月」のヒミツを探ろう！～			
テーマ		小学生とその保護者を対象に、学校では行われない理科の実験や観察、それに関連する本の読み聞かせや紹介を行い、親子ともに理科や関連する本への関心を高め、図書館利用の増加を図ることをこの事業の目的とする。			
内容		望遠鏡や双眼鏡を実際に覗いたり、同スケールの地球と月の模型を使ったりなどして、楽しみながら月について学べた。参加者からの質問にも詳しく答えていただき、全体を通して宇宙について興味を持てる内容だった。			

実施日	8/4(日)	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	37名(子ども20名、大人17名)		
研修会		盛岡市環境学習講座「エコキッズ⑤森っ子探検隊！」			
テーマ		広報等で募集した小学生とその保護者に対し、自然と触れ合える体験の場を提供し、自然環境の尊さを学び、自然環境を大切に感じる心を育む機会とする。			
内容		始めに、森の中での危険な動植物を具体的に説明いただいた。沢ではH25年の豪雨災害によって地形が変わり、自然が再生されている様子を見ることができ、自然の力を知る機会となった。子どもたちにとっては沢に入り生き物をとる体験から、楽しみながら自然の尊さを感じてもらえる時間となった。また、火をおこして棒パンを手作りしたり、バードコールを作ったり、自然を道具にしてできる楽しみを知ることができ、普段なかなかできない自然体験に、保護者からも大変好評をいただくことができた。			
実施日	8/4(日)	主催者	陸前高田市役所管理課	アドバイザー	望月 達也
		対象	27名		
研修会		地域学校協働活動にかかる土曜日の教育支援活動「夏の自然探検隊in生出」			
テーマ		地域の自然や資源を活かし、自然探検を通して社会性・自主性創造性を育む			
内容		予定の全日程を終了			
実施日	8/5(月)	主催者	閉伊川サクラマスマNABIプロジェクト実行委員会	アドバイザー	水木 高志
		対象	41名(小学生21名・台湾7名・品川区10名・宮古市4名、大人20名)		
研修会		台湾×東京×岩手 森・川・海とのつながりを学ぼう			
テーマ		小学生らを対象に、自然ある閉伊川流域で、遊びや地域に根ざした活動による体験で森川海の繋がりと、国際交流を通して、自然の大切さと勇気を与える活動として行うものです。			
内容		生物調査では、子供らへ採取法を教えながら安全に配慮し共に魚等を捕まえていただいた。川での流れ体験では、流れ方の指導をしながら安全面に配慮し行っていた。小学生も大人も繰り返し楽しんでいった。その後、閉伊川漁協の協力のもと、ヤマメ稚魚の放流を行う。			
実施日	8/5(月)	主催者	黒岩自治振興会	アドバイザー	藤原 正
		対象	21名(白山わいわい塾生)		
研修会		少年少女学級 白山わいわい塾 「水辺の生物調査」			
テーマ		黒岩地区の自然豊かな地域性を活かし、隠れた景観資源の発掘に繋げ、感性豊かな児童を育むことを目的に実施するものである。			
内容		猛暑による熱中症に注意しながら(気温34℃、水温25℃)水生生物の採取を行った。交流センターへ戻り、採取生物の観察を行った。少しきたない水に住む生物が多かったことから、環境を大事にする大切さを学んだ。			
実施日	8/6(火)	主催者	(一社)ことのは医療研究所	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	15名		
研修会		2019 みんなの食堂			
テーマ		自然にふれる学習を通して、世代交流と繋がりの構築を目指す。			
内容		子供達がとても喜んで、楽しんでくれました。			
実施日	8/6(火)	主催者	岩山自然観察会	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	10名		
研修会		街なかの植物観察会			
テーマ		いつも見慣れた場所の育つ植物を知ることで街の環境について皆で考え、地域の自然保護活動に活かす。			
内容		普段見慣れたところにあっても名前や特徴がわからない植物はたくさんあります。今回、講師の事前調査にもとづいた分かりやすい案内と解説で、市内中心部の樹木や草花のことを多く知ることができました。参加者もこんなところにこんな木があったのか、もっとこういう植栽に変えれば街がより美しく見えるだろうに、など感想を含め、市の環境整備についていろいろと意見を交わす良い機会となりました。気温が36度近い暑さの中でしたが楽しい観察会ができました。			

実施日	8/6(火)	主催者	一関学習交流館	アドバイザー	千田 典文
		対象	36名(児童29名、保護者2名、指導員3名、職員2名)		
研修会	放課後子ども教室推進事業「あこおぎこども広場」夏休み特別プログラム 沢登り体験				
テーマ	大自然の中で沢のぼりを体験させ、自然の大切さや厳しさを肌で感じ取り、子供たちがたくましく育つことを願うとともに、次世代を担う青少年の育成に資する。				
内容	学校教育や家庭生活ではなかなか体験できない自然とのふれあいを体験しようと、毎年夏休みの時期に沢登りを計画しています。講師に、沢あそびの知識や注意点、沢に生息する動植物の説明をしていただき、子ども達は貴重な体験をすることができました。参加した児童はサンショウウオ、サワガニ、カジカを捕まえて大いに喜んでいました。				
実施日	8/7(水)	主催者	滝沢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課	アドバイザー	櫻田 文昭
		対象	50名(児童29名、保護者31名)		
研修会	たきざわ少年少女ものづくり講座「未来に続く家づくり～エコハウス工作セミナー」				
テーマ	リサイクル材料でつくるエコハウス工作を通じた環境学習と「生きがいとやりがいのある充実した人生を送ることができる滝沢市」の実現を目指す。				
内容	環境学習(エコハウス工作セミナー)を通じて、環境にやさしいライフスタイルの確立などを学ぶことができ、参加者は地球環境の大切さを再認識することができました。				
実施日	8/7(水)	主催者	リリー会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	14名		
研修会	星空観察会				
テーマ	浅岸近辺の環境が星空に与える影響を観察する				
内容	浅岸地区の星空環境に、街の明かりがどのくらい影響しているのかを、小学二年生の子ども達を中心に学ぶことができた。山の稜線が見えることから、街の明かりが明るく夜空が明るいことに気付くことができた。その影響で空にある星すべてを観察できるわけではないことが理解できた。また望遠鏡を使って、月、木星、土星の観察をし、季節の星空についても、併せて学んだ。旧暦の七夕の実施にしたので、七夕伝承の話から、天の川の位置、夏の大三角、星座について幅広く学ぶことができた。				
実施日	8/8(木)	主催者	一関市役所千厩支所地域振興課	アドバイザー	阿部 慶元
		対象	33名		
研修会	令和元年度いちのせき元気な地域づくり事業グローバルキッズ育成事業千厩地域「学びの土曜塾」～自然と英語の楽しさを触れてみよう！～「自然deイングリッシュ！」活動②				
テーマ	千厩小学校5・6年児童を対象に英語を使った野外活動を実施し、英語を学びながら自然体験学習及びコミュニケーション能力を養うことを目的とする。				
内容	講師の指示により安全を確認しながら水生生物を採取し、指標となる生物によって川の状態を判定することができた。参加した子ども達は楽しみながらも、川の環境について大いに学ぶことができた。水質調査体験の実施時間が短く、外気温が高かったことから、体験前の事前説明や体験後の調査結果を、移動車中で対応いただいたことは、とても効率が良いものだった。				
実施日	8/9(金)	主催者	花巻市東和総合支所地域振興課地域支援室	アドバイザー	根子 英郎
		対象	26名(小学生16名、他)		
研修会	東和こども大学 第2回				
テーマ	東和地域の子どもたちに多様な学びの機会を提供する				
内容	6班に分かれ川に入り、魚類、水生昆虫などを捕まえた後、班でシートを見ながら名前を調べ記録。講師が班毎に捕獲した生物について解説。渇水しており、生物を見つけることが難しい状況であったが、ヤマメが見つかり歓声があがっていた。				
実施日	8/9(金)	主催者	星まもる子～星空観察会～in旧大村小学校 実行委員会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	32名(子ども18名、大人14名)		
研修会	星まもる子～星空観察会～in旧大村小学校				
テーマ	子どもたちが自然環境を守ることの必要性を学ぶ地域の魅力再発見の機会				
内容	参加者は講師の話に熱心に耳を傾けており、良い研修となった。天候があいにく曇りだったため、当初予定していた満点の星空の下での天体観測とはならなかったが、星空望遠鏡を用いての観察は子どもたちの興味関心を持たせるのに十分だったとともに、地元の高齢の方をゲストとしてお招きし、天候にまつわる言い伝えを子どもたちに披露したことも良い取り組みとなった。				

実施日	8/9(金)	主催者	山目地区まちづくり協議会	アドバイザー	千田 典文
		対象	22名(子供16名・大人3名・事務局3名)		
研修会	わくわくぼうけんじゃー				
テーマ	赤荻の歴史的遺産を後世に伝えるために、地域の子ども達にその遺産を知ってもらうとともに里山の自然を観察する。				
内容	バスで現地に向かい、到着後すぐ昆虫採集を開始する。朝雨が降った影響もありトンボ、チョウの姿はほとんど見られなかった。セミは鳴いている姿は見つけられず、講師の大きくて長い網に頼りっぱなしでした。バッタは比較的簡単に捕獲できていた。しかし虫かごに入れる作業が雑で、入れたつもりが逃げられてしまった子供もいた。学習交流館に戻り捕獲した昆虫の扱い方や標本の作り方を教わる。最後に昆虫が非常に減ってきているので、何年か先には標本でしか昆虫を観ることができなくなるかもしれないと話された。				
実施日	8/17(土)	主催者	田野畑村教育委員会	アドバイザー	泉山 博直
		対象	10名(小学生6名、保護者・教育員会)		
研修会	令和元年度新たのはた21世紀学園たのはたっ子わんぱくランド「みんなでワイワイ！川あぞび」				
テーマ	自然を舞台とした体験活動を通して心豊かでたくましい「たのはたっ子」を育むことを目的とする。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水生生物による水質判定 ・川の安全体験(川遊び) 				
実施日	8/20(火)	主催者	一関市小梨市民センター	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	9名		
研修会	令和元年度せんまや里山塾 リフォームコース(古着の有効活用リメイク教室)				
テーマ	古着の有効活用を通して、地球にやさしいエコ生活につなげる				
内容	10月のファッションショーにも参加できるよう作品作りを進めています。11月の地区の文化祭にも展示予定です。				
実施日	8/21(水)	主催者	遠野市立附馬牛小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	29名(3年7名、4年6名、5年6名、6年7名、引率者3名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	水生生物調査のため				
内容	採取の仕方について丁寧に説明いただきました。子どもたちは夢中になって採取しました。きれいな水に住む生物の多いことに気づき、郷土の自然の素晴らしさを感じることができました。仕分けの作業では、子どもたちにとって不明な生物を的確にアドバイスをいただき、広い知識で接していただきました。				
実施日	8/21(水)	主催者	盛岡市立下橋中学	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	95名(1学年)		
研修会	川体験(事前講習)				
テーマ	川の役割や水生生物に関する理解を深めるために川の観察会を実施する。				
内容	真剣に講師の話聞き、自分の事と捉えて環境のこと、川のこと、水生生物のことについて考えることができた。				
実施日	8/23(金)	主催者	めだかの学校 住田教室	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	6名		
研修会	めだかの学校 住田教室				
テーマ	着物リメイク				
内容	今年は、パンツ類より、上着作成の方が多い。徐々に自分の工夫も盛りこまれて、完成度が高くなっている。				

実施日	8/24(土)	主催者	花巻太陽の子保育園	アドバイザー	大友 晃
		対象	70名(年長児24名、保護者37名、職員9名)		
研修会		八幡平親子登山			
テーマ		<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然の中で、多種多様な自然を五感で感じながら登山を楽しむ。 ・長い距離を歩く中で、励まし合ったり、相手に合わせたり、気持ちに気づいたりする経験を大切にする。 ・親子で一緒に歩き、感動や達成感を共有する。また、大人はどの子の育ちも支え、見守る機会とする。 			
内容		講師に案内していただきながら、公園の中を散策しました。子ども達はいつもの散歩のようにカエル・トンボ・蝶などをつかまえ、木の実(栗、どんぐり、栃の実など)を拾いながら、講師の後について散策を楽しんでいました。枝の間を通り抜けたり、丸太渡りや木登り、サツキの植え込みの迷路も喜んでいました。			
実施日	8/26(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	116名		
研修会		総合的な学習の時間「中津川探検隊」			
テーマ		<ul style="list-style-type: none"> ・中津川の上流と下流や合流地点についての講話 ・川にいる生物 ・「春から夏にかけて」「夏」「秋から冬にかけて」の水生生物や植物について 			
内容		中津川の水生生物調査を行った。水生生物の採取方法、調査中の安全などについて指導いただいた後、学年を3つのグループに分けて実際に中津川に入り、水生生物調査をした。採取した生物についての質問などに答えていただきながら、魚とその他の生物に分けて保管していった。最後にグループごとに採取した生物を発表し、中津川の水質判定の仕方を教えていただいた。また最近問題になっているマイクロプラスチックの影響についてもお話しいただいた。			
実施日	8/26(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	116名		
研修会		総合的な学習の時間「中津川探検隊」			
テーマ		<ul style="list-style-type: none"> ・中津川の上流と下流や合流地点についての講話 ・川にいる生物 ・「春から夏にかけて」「夏」「秋から冬にかけて」の水生生物や植物について 			
内容		中津川の水生生物調査を行った。水生生物の採取方法、調査中の安全などについて指導いただいた後、学年を3つのグループに分けて実際に中津川に入り、水生生物調査をした。採取した生物についての質問などに答えていただきながら、魚とその他の生物に分けて保管していった。最後にグループごとに採取した生物を発表し、中津川の水質判定の仕方を教えていただいた。また最近問題になっているマイクロプラスチックの影響についてもお話しいただいた。			
実施日	8/26(月)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	116名		
研修会		総合的な学習の時間「中津川探検隊」			
テーマ		<ul style="list-style-type: none"> ・中津川の上流と下流や合流地点についての講話 ・川にいる生物 ・「春から夏にかけて」「夏」「秋から冬にかけて」の水生生物や植物について 			
内容		中津川の水生生物調査を行った。水生生物の採取方法、調査中の安全などについて指導いただいた後、学年を3つのグループに分けて実際に中津川に入り、水生生物調査をした。採取した生物についての質問などに答えていただきながら、魚とその他の生物に分けて保管していった。最後にグループごとに採取した生物を発表し、中津川の水質判定の仕方を教えていただいた。また最近問題になっているマイクロプラスチックの影響についてもお話しいただいた。			
実施日	8/27(火)	主催者	葛巻町立葛巻小学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	21名		
研修会		水生生物による水質調査			
テーマ		水生生物調査を通して馬淵川の水質を調査する			
内容		水生生物を調査し、川の水質について調べることができた。			

実施日	8/27(火)	主催者	遠野市立遠野北小学校	アドバイザー	小田嶋 順一
		対象	59名(小学4年生—55名、教員4名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	水生生物の生態について(調査に関すること含む)				
内容	天候に恵まれた中で、水生生物調査の仕方や水生生物の生態についての研修を行った。調査の方法や生物の名前などを詳しく教えて頂いたり、水質の良い川であることやこの恵まれた自然を守っていくことの大切さを教えて頂いたりした。				

実施日	8/27(火)	主催者	遠野市立遠野北小学校	アドバイザー	根子 英郎
		対象	59名(小学4年生—55名、教員4名)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	水生生物の生態について(調査に関すること含む)				
内容	天候に恵まれた中で、水生生物調査の仕方や水生生物の生態についての研修を行った。調査の方法や生物の名前などを詳しく教えて頂いたり、水質の良い川であることやこの恵まれた自然を守っていくことの大切さを教えて頂いたりした。				

実施日	9/3(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	110名(奥州市立岩谷堂小学校5年児童104名、教師6名)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	児童の環境学習に対する理解と認識を深める				
内容	水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、生物採取ばかりでなく、川の状態等を注目して観察する児童もいた。生物の分類・水質判定では、講師の助言を受けながらしっかり取り組んでいた。時間配分に余裕があり、児童が講師や教師の指示をよく聞いて行動していたため、非常にスムーズに調査を行っていた。巻尺や紐を使って流速を計算するなど、河川の状態確認も実施していた。				

実施日	9/3(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	花澤 淳
		対象	110名(奥州市立岩谷堂小学校5年児童104名、教師6名)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	児童の環境学習に対する理解と認識を深める				
内容	水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、生物採取ばかりでなく、川の状態等を注目して観察する児童もいた。生物の分類・水質判定では、講師の助言を受けながらしっかり取り組んでいた。時間配分に余裕があり、児童が講師や教師の指示をよく聞いて行動していたため、非常にスムーズに調査を行っていた。巻尺や紐を使って流速を計算するなど、河川の状態確認も実施していた。				

実施日	9/3(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	川田 昌代
		対象	110名(奥州市立岩谷堂小学校5年児童104名、教師6名)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)				
テーマ	児童の環境学習に対する理解と認識を深める				
内容	水生生物採取では、積極的に取り組む児童が多く、生物採取ばかりでなく、川の状態等を注目して観察する児童もいた。生物の分類・水質判定では、講師の助言を受けながらしっかり取り組んでいた。時間配分に余裕があり、児童が講師や教師の指示をよく聞いて行動していたため、非常にスムーズに調査を行っていた。巻尺や紐を使って流速を計算するなど、河川の状態確認も実施していた。				

実施日	9/4(水)	主催者	大船渡市立猪川小学校	アドバイザー	加藤 直子
		対象	47名(5年生)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	・身近な川の生き物について知る ・川の水質をきれいに保つ秘密を知ろう				
内容	身近な川の様子を知ることができた。				

実施日	9/4(水)	主催者	胆沢平野土地改良区 企画換地課	アドバイザー	川田 昌代
		対象	23名(奥州市立若柳小学校3年生)		
研修会	奥州市立若柳小学校 ビオトープ生き物勉強会				
テーマ	小学校活動を通して子供たちにビオトープ整備の大切さを学んでもらう				
内容	児童が興味を持つような工夫をした研修で、児童に分かりやすい言葉で丁寧に説明を頂きました。植物観察では、ビオトープ池に生育する植物について、生き物観察では、児童一人ひとりが採ったビオトープ池の生き物を見ながら、詳しく説明や解説をいただきました。				

実施日	9/4(水)	主催者	岩泉町立安家小中学校	アドバイザー	泉山 博直
		対象	16名(児童・生徒・教職員)		
研修会	水生生物調査				
テーマ	身近な安家川の生物の様子や川の状態を調べる活動を通じて、地域のよさを実感する一助とする				
内容	講師には、生物の同定を中心にご指導いただいた。				
実施日	9/6(金)	主催者	紫波町立赤石小学校	アドバイザー	佐藤 喜一
		対象	68名(4年生児童64名、職員4名)		
研修会	「わたしたちの町を流れる川について調べよう」(総合的な学習)				
テーマ	滝名川の水生生物観察 ・川の水生生物について ・滝名川の環境について(きれいな水にいる生き物等)				
内容	実際に採集していただいた水生生物や、パワーポイントの画像などを使って自分たちの住む地域の環境や生き物について教えていただいた。岩手県と他県との生き物の特徴の違いを、実物を見せながら話して下さったので、環境の違いによる生き物の変化も体感することができた。				
実施日	9/6(金)	主催者	岩手大学教育学部附属小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	90名(3年生児童)		
研修会	総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」(※8/28からの順延)				
テーマ	・中津川の水の中での体験活動や川にすむ生物探しを通して中津川のよさに気付く。 ・中津川の環境が人々の手によって整えられていることを知り、追及活動へつなげていく。				
内容	中津川(富士見橋付近)での水質調査 ・川の安全な入り方 ・中津川に生息する水生生物の採集 ・採集した生物をもとに水質の調査				
実施日	9/6(金)	主催者	岩手大学教育学部附属小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	90名(3年生児童)		
研修会	総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」(※8/28からの順延)				
テーマ	・中津川の水の中での体験活動や川にすむ生物探しを通して中津川のよさに気付く。 ・中津川の環境が人々の手によって整えられていることを知り、追及活動へつなげていく。				
内容	中津川(富士見橋付近)での水質調査 ・川の安全な入り方 ・中津川に生息する水生生物の採集 ・採集した生物をもとに水質の調査				
実施日	9/6(金)	主催者	岩手大学教育学部附属小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	90名(3年生児童)		
研修会	総合的な学習の時間「わたしたちの中津川」(※8/28からの順延)				
テーマ	・中津川の水の中での体験活動や川にすむ生物探しを通して中津川のよさに気付く。 ・中津川の環境が人々の手によって整えられていることを知り、追及活動へつなげていく。				
内容	中津川(富士見橋付近)での水質調査 ・川の安全な入り方 ・中津川に生息する水生生物の採集 ・採集した生物をもとに水質の調査				
実施日	9/18(水)	主催者	大更コミュニティセンター	アドバイザー	粒針 文子
		対象	32名(婦人学級生29名・職員3名)		
研修会	大更婦人学級 第3回講座				
テーマ	「いま、知っておきたい環境問題について」				
内容	プラスチック問題、洗剤、食品添加物、地球温暖化など、主婦の方々に大変分かりやすく話して頂き、皆さんとても熱心に聞いていました。環境問題は子供たちや子育て中のお母さん方に特に聞いてもらいたいという声が多くありました。				

実施日	9/20(金)	主催者	めだかの学校 住田教室	アドバイザー	小赤澤 直子
		対象	7名		
研修会	めだかの学校 住田教室				
テーマ	眠っている着物資源の再利用と地域交流				
内容	3回目を迎え作品も形になってきました。回数を重ねている参加者は、このデザインにはこんな布が合うかも・・・と布とのマッチングがうまく考えられるようになっていく。11月の地区の収穫祭でのデモンストレーションでファッションショーをやろうという事になりました。				
実施日	9/21(土)	主催者	八幡平銀河ステーション	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	35名		
研修会	星を見る会				
テーマ	岩手県、八幡平市の夜空の素晴らしさを県内外の方に知っていただくため。				
内容	天文に関して分かりやすい説明とともに星を見るためには、今の環境を保護することの大切さ、光害に関してなども併せてご教示いただきました。				
実施日	9/24(火)	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	アドバイザー	小沢 宗
		対象	20名(衣川小学校4年生18名、教師2名)		
研修会	奥州市環境学習事業(水生生物調査)(※6/25からの順延)				
テーマ	児童の環境学習に対する理解と認識を深める。				
内容	水生生物採取は、生物に触りたがらない児童が複数見られたが、網などを使いながら楽しそうに行っていた。生物の分類・水質判定では、児童たちは指標生物が記載された下敷き等を活用しながら、班ごとにしっかりと取り組んでいた。調査のあと、講師から食物連鎖の仕組みについて説明があった。				
実施日	9/25(水)	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	27名		
研修会	栗駒山トレッキング				
テーマ	紅葉の栗駒山を舞台に、より安全なトレッキングの知識や技術を身につけながら余暇の充実を図る。				
内容	参加者の平均年齢が65歳を超えていた中での登山でしたが、全員が無事に山頂に立つことができた。登山の初心者だったが、その時々々の指示やアドバイスも適切で安心かつ安全に歩くことができた。天気も良く、紅葉に染まった山肌をみることができ大満足の内容であった。				
実施日	9/28(土)	主催者	八木沢川を守り育てる会	アドバイザー	水木 高志
		対象	43名(小学生21名・幼児2名・大人20名)		
研修会	八木沢川に親しもう				
テーマ	地元小学生を主な対象とし、父兄を交えて河川清掃をし、河川の人工ゴミの存在を認識してもらい、その後、川での生物調査を行う。また、放流体験を実施し、まとめとして、八木沢川の水の清らかさと地形特性を説明し、川の大切さを振り返りながら、地域の自然を大切にすることを養いながら学ぶ。				
内容	ゴミ拾いでは、人工ゴミの生物生息環境への影響を共に考え実施。生物調査では、子供らへ採取法を教えながら安全に配慮し共に魚等を捕まえていただいた。全体の安全面に配慮し行っていた。その後、閉伊川漁協の協力のもと、ヤマメの放流を行う。講話では生物多様性と在来種からくるジオの在り方などを教える。				
実施日	9/29(日)	主催者	一関学習交流館	アドバイザー	千田 典文
		対象	18名(園児2名・児童9名・保護者3名・ボランティア2名・職員2名)		
研修会	放課後子ども教室推進事業「あこぎ子ども広場」自然観察と色々な遊びに挑戦 ※7/21からの変更				
テーマ	自然とのふれあいと色々な遊びを通して自由に創造する楽しさを学び、子どもの身体的発達を促し情操を豊かにし、次世代を担う青少年の育成に資する。				
内容	往路の車中で、岩手県に生息する植物について一関では見られない植物が県北で見られることや、これから始まる紅葉について、葉が色づく仕組みなどを教えていただきました。参加した児童から「なぜ赤や黄色になるの」と説明が難しい質問もありました。子供達は、色々な遊びに夢中になり楽しんでいました。				

実施日	10/18(金)	主催者	盛岡市環境企画課	アドバイザー	大友 晃
		対象	23名		
研修会	盛岡市環境学習講座「秋の姫神山に登ってみよう！」				
テーマ	姫神山の登山を通して、雄大で美しい自然を体感することで、環境保全の大切さを考える契機とする。				
内容	登山における基礎知識、コースの説明を予め説明いただき、疲れない登山を心がけることで、より周りの景色も楽しむことができることを体感できた。また姫神山の地形の特徴や木々について説明いただき知識が深まった。山に入ることは少なからず山を痛めることになるということを頭に入れながら、次の世代にどうやってこの環境を引き継いでいくかを考える事も大切な環境学習であるということを理解する機会となった。				
実施日	10/24(木)	主催者	岩手県立県南青少年の家	アドバイザー	大友 晃
		対象	28名		
研修会	秋山トレッキング				
テーマ	秋の山を舞台に、より安全なトレッキングの知識や技術を身につけながら余暇の充実を図る。				
内容	参加者の平均年齢が65歳を超えていた中でのトレッキングでしたが、歩くペースもゆったりとしており、時折、立ち止まって植生の話や安比の自然について説明するなど、充実した内容であった。太陽の光で金色に染まったぶなの森の紅葉の中を歩くのは神秘的でもあった。				
実施日	10/24(木)	主催者	一関市老松市民センター	アドバイザー	千田 典文
		対象	34名		
研修会	老松市民センター ひょうたん学級・移動研修(高齢者教室)				
テーマ	一関市真湯周辺の自然観察を通して自然環境保護の大切さについて学習する。				
内容	真湯温泉センター駐車場を発着地とし、巨木の森約1キロメートルをウォーキングしながら、樹木やキノコなどの植生を中心に自然環境について学習した。				
実施日	10/26(土)	主催者	岩手県シェアリングネイチャー協会	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	13名(ネイチャーゲームリーダー10名とその家族小学生含む3名)		
研修会	ネイチャーゲームリーダー研修 空から知る環境変化～賢治も気づいていた？気候変動と空の白さから～				
テーマ	ネイチャーゲームをツールとした自然体験活動を指導するネイチャーゲームリーダーのスキルアップを図る。				
内容	「空から知る環境変化～賢治も気づいていた？気候変動と空の白さから～」と題し、講師が撮影した幻日、幻日環、虹などの気象光学現象を見せていただき、この要因の氷晶と気候変動の関係など、「グスコブドリの伝記」に書かれた『その年はお日さまが春から夏に白く・・・』も紹介しつつ、子供にも興味深く聞いていた。幻日を確認する回数がここ数年増えていることと、気候変動が関連しているかなど、ネイチャーゲーム指導者としても、空を見る活動に活かしていきたいお話でした。				
実施日	10/29(火)	主催者	洋野町立帯島小学校	アドバイザー	中野 雅幸
		対象	19名(6学年児童17名、教員2名)		
研修会	森と海のつながりを知ろう(※10/23からの順延)				
テーマ	1.サケの遡上、捕獲の見学 2.森と川、川と海のつながりを知る				
内容	・森の役割・森と海のつながり・環境問題				
実施日	11/2(土)	主催者	折爪岳振興協議会	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	22名		
研修会	折爪岳星空観察会(※9/22から順延)				
テーマ	四季折々の魅力を持つ折爪岳を発信するため、星空観察会を開催し、折爪岳の魅力を再発見していただく。				
内容	終始天気恵まれ、様々な星を観察することができ、参加者からも好評であった。				

実施日	11/7(木)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	内田 尚宏
		対象	116名(児童111名、教師5名)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川河川敷で、川を遡上してくるサケを観察して調べ、遡上の仕組みを知るとともに、中津川への理解を深める。				
内容	パワーポイントを使用して、中津川を遡上するサケについて、説明していただいた。その後、中津川河川敷に移動して、実際に遡上するサケの観察を行った。また、児童が用意してきた質問に詳しく答えていただき、児童の疑問を解決することができた。				
実施日	11/7(木)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	佐井 守
		対象	116名(児童111名、教師5名)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川河川敷で、川を遡上してくるサケを観察して調べ、遡上の仕組みを知るとともに、中津川への理解を深める。				
内容	パワーポイントを使用して、中津川を遡上するサケについて、説明していただいた。その後、中津川河川敷に移動して、実際に遡上するサケの観察を行った。また、児童が用意してきた質問に詳しく答えていただき、児童の疑問を解決することができた。				
実施日	11/7(木)	主催者	盛岡市立山岸小学校	アドバイザー	菊池 拓巳
		対象	116名(児童111名、教師5名)		
研修会	総合的な学習の時間「中津川探検隊」				
テーマ	中津川河川敷で、川を遡上してくるサケを観察して調べ、遡上の仕組みを知るとともに、中津川への理解を深める。				
内容	パワーポイントを使用して、中津川を遡上するサケについて、説明していただいた。その後、中津川河川敷に移動して、実際に遡上するサケの観察を行った。また、児童が用意してきた質問に詳しく答えていただき、児童の疑問を解決することができた。				
実施日	11/9(土)	主催者	一関市民センター	アドバイザー	阿部 慶元
		対象	22名(小学生11名、職員1名)		
研修会	第6回清庵学び塾「秋の自然を観察しよう」				
テーマ	自然観察を通して、自然に触れあい、自然への理解を深める。				
内容	植物や生き物の生態について、子供達にも分かりやすく説明していただきながら自然観察を行った。参加した子供達は興味を示しながら観察したり、どんぐりや松ぼっくりを拾ったりしながら楽しく学習していた。				
実施日	11/9(土)	主催者	とうわ野鳥の会	アドバイザー	根子 英郎
		対象	36名		
研修会	講演会「矢沢、東和地域に住む希少淡水魚と水生生物の実態」				
テーマ	花巻市東部地域に生息するゼニタナゴやシナイモツゴの状況をお話いただき豊かな自然を再確認し、自然環境保全の一助とする。				
内容	データを基に矢沢、東和地域の希少淡水魚ゼニタナゴ、シナイモツゴ、メダカの生息実態を話された。また、国の生き物調への指標生物種の少なさが、実際捕まえる水生生物の実態とかけ離れている。自分たちの捕まえた生き物が報告書に生かされないことが、小学生らの意欲減退の一因になっているのではとの問題提起は説得力もあり興味のあるものだった。講師が独自に作った水質指標生物の活用は現場の私たちや小学生には有効であると感じた。				
実施日	11/16(土)	主催者	浄土ヶ浜ビジターセンター	アドバイザー	吉田 偉峰
		対象	30名(一般参加者21名、スタッフ9名)		
研修会	浄土ヶ浜星空観察会				
テーマ	浄土ヶ浜をフィールドに天体・星の分野の講師を迎えて、冬の澄み切った空に浮かぶ天体や星を観察したり、観察方法を紹介してもらう計画としています。冬の夜の世界を五感をもって体感しながら自然を観察することで、浄土ヶ浜の自然や景観の美しさにも気付いてもらう。				
内容	①開会式 ②星空観察方法の講座 ③星空観察 ④まとめ ⑤閉会式 普段は触れることがない大型の望遠鏡での観察は、肉眼で見ることができない小さい星まで見ることができ、参加者からも好評。まとめ部分は、野外観察で見た星座の確認と、「宇宙から見た地球」をテーマにどれくらい宇宙が広いのか？や、光の速度、ブラックホールについて解説があった。				

実施日	11/20(水)	主催者	岩山自然観察会	アドバイザー	亀山 喜作
		対象	10名		
研修会	盛岡 街歩き植物観察会～植物たちの冬支度など～				
テーマ	身近な自然と植物を次世代に残せるようにする				
内容	気温が上がらず8度前後という寒い日でしたが、快晴だったので気持ちよく観察会ができました。事前の下見の際に最近伐採されたばかりと見受けられる丸太が小学校校庭にあったのですが、それについても木材の見方や価格についてお話いただき、とても面白かったです。それぞれの植物や樹木の特徴に加えて冬を乗り越える知恵を葉っぱの姿に教わった。				
実施日	12/12(木)	主催者	八幡平市立寺田コミュニティセンター	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	27名		
研修会	七時雨大学「森の素材で作るリース作り」				
テーマ	高齢者講座の一環として、もの作りの楽しさを学ぶ・木の実などの自然素材でクリスマスリースを作る				
内容	講師の丁寧な説明で木の実や針葉樹の名前などがよくわかり勉強になった。				
実施日	12/14(土)	主催者	盛岡市環境部環境企画課	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	36名		
研修会	盛岡市環境学習講座「クリスマスクラフト」				
テーマ	自然素材のクラフトを通して、季節を感じながら素材に興味を持つことで、森林環境をより身近に感じるとともに、自然を慈しむ心を育むことを目的とする				
内容	参加者が自由に選べとれるほど豊富な材料をご用意いただき、「クラフト作りの本質は材料集めにあり、どこにどんな材料があるかを探し、使われる材料に思いを馳せることが自然環境を考えるきっかけになる」とお話し、参加者は様々な材料に対し興味を持ち、身近な素材に感動している様子だった。自由な発想で自然の形や色を活かしながら、オリジナルのクラフトを通して今後の自然環境へ向ける観点が変わるきっかけとなる講座となった。				
実施日	12/20(金)	主催者	盛岡市乙部地区公民館	アドバイザー	川村 晃寛
		対象	10名		
研修会	乙部地区学習講座「クリスマスクラフト講座」				
テーマ	身近なもので、季節に合った飾りものを作ることで、普段の生活に彩を添える。また自然素材を使ったクラフトの作成を通して、森林環境をより身近に感じることともに、自然の大切さや自然からの恵みに対する感謝の気持ちを育む。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・木の実などの天然素材を使ってクリスマスリースの作り方について説明。 ・クリスマスリースに使う天然素材は、私たちの身近に存在する自然の物を使う。 ・身近にそういったものが存在するので、是非、自然の恵みに興味を持ち、自分でも今後作って欲しいとの話。 その後、各自作成し出来上がった作品は展示し、撮影。 <ul style="list-style-type: none"> ・受講生は講師が持ってきた天然素材の多さにびっくり。 ・リース作りは、マニュアルがあるわけでもなく、2～3枚のリースの写真と講師の簡単な説明だけで、素晴らしい作品が多かったことに驚いた。関心を持ち、積極的に講座に参加する方は、凄いと感じた。 ・私たちの身近なところに、自然からの沢山の恵みがあるということを、受講者に伝えることができる講座を実施することができ、大変有意義だった。 				
実施日	1/23(木)	主催者	雫石町教育委員会生涯学習スポーツ課	アドバイザー	櫻田 文昭
		対象	25名		
研修会	イケてるおやじ&マダム学園 第9回目「環境学習会」				
テーマ	シニア世代引きこもり防止の一環として、環境について考える会を開催。(環境にやさしい暮らしと地域活動)				
内容	FFストーブでの体感温度と設定温度の違いや、家のつくりで暖まり方が違うことや、工夫した家づくりをすることで燃料の節約につながることなど、身近なテーマでお話していただき、受講生も熱心に聞いていました。				

実施日	1/30(木)	主催者	三陸春風の会	アドバイザー	清水 義輝
		対象	12名		
研修会	岩手の気候風土に根ざした農業				
テーマ	地球温暖化の影響、TPP解禁、遺伝子組み換え表示ほか、食の安全・安心が見えにくくなっている傾向があります。地元の農業について勉強会をしたいと思います。				
内容	農業や自家菜園を行っている参加者、食の安全に興味のある参加者が皆さん、熱心に聴講させていただきました。自然農法の意義と実際について、知る機会がなかなか無いのでとても有意義でした。わかりやすい丁寧なお話と、普段接するニュースだけでは知り得ない食の問題点について、いろいろと知ることができ感謝を申し上げます。今後、もっと掘り下げて同じ講師さんで勉強会を続けたいと思います。				

●エコカーゴによる出張環境学習会

環境学習広報車『エコカーゴ』に環境学習キット等を積んで、県内のイベント・地域の学習会等に出張しています。

09

番号	1	イベント名等	釜石・大槌・鶴住居での環境企画展
	主催団体	環境パートナーシップいわて(自主企画)	
	日時	2019年4月30日(火)~5月13日(月) 10:00~16:00	
	場所	シープラザ釜石	
	参加者数	300名	
内容	テーマ:ウルグアイ・フィジー・釜石・大槌の自然、エネルギーの活用実態を知ろう! 内容:写真展		
番号	2	イベント名等	もりおか環境緑花まつり
	主催団体	もりおか環境緑花まつり実行委員会	
	日時	2019年5月11日(土)~12日(日) 10:00~16:00	
	場所	中央公園イベント広場	
	参加者数	1,545名	
内容	テーマ:花と緑のガーデンマルシェ 内容:森の工作館、積み木、ポスター展示、環境関連本の展示		
番号	3	イベント名等	釜石・大槌・鶴住居での環境企画展
	主催団体	環境パートナーシップいわて(自主企画)	
	日時	2019年5月14日(火)~6月9日(日) 10:00~16:00	
	場所	大槌マストホール	
	参加者数	630名	
内容	テーマ:ウルグアイ・フィジー・釜石・大槌の自然、エネルギーの活用実態を知ろう! 内容:写真展		
番号	4	イベント名等	高森高原まつり
	主催団体	高森高原まつり実行委員会	
	日時	2019年6月2日(日) 10:00~14:00	
	場所	高森高原レストハウス	
	参加者数	353人	
内容	テーマ:自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容:森の工作館、「家庭のエコチェック」アンケート		
番号	5	イベント名等	花と緑のまつり
	主催団体	花と緑のまつり実行委員会	
	日時	2019年6月7日(金)~9日(日) 10:00~16:00(9日は15:00終了)	
	場所	花巻市総合体育館	
	参加者数	7日115人、8日192人、9日328人	
内容	テーマ:もっと身近に花と緑を 内容:テーマに合わせ森の工作館を実施		

番号	6	イベント名等	釜石・大槌・鶴住居での環境企画展
	主催団体	環境パートナーシップいわて(自主企画)	
	日時	2019年6月10日(火)～6月30日(日) 10:00～16:00	
	場所	命をつなぐ未来館(釜石市鶴住居)	
	参加者数	2,880名	
	内容	テーマ:ウルグアイ・フィジー・釜石・大槌の自然、エネルギーの活用実態を知ろう! 内容:写真展	
番号	7	イベント名等	本宮第一町内会いきいきサロン
	主催団体	本宮第一町内会	
	日時	2019年6月27日(木) 10:00～11:30	
	場所	本宮第一町内会公民館	
	参加者数	高齢者36名	
	内容	テーマ:リサイクル 内容:ごみっしょんいんぽっしふるクイズラリー、リサイクル工作、新聞バッグ作り、トイレトペーパー芯でフラワーチャームづくり、ガラスのカレットでマラカスづくり	
番号	8	イベント名等	沿岸南部クリーンセンター施設見学会
	主催団体	沿岸南部クリーンセンター	
	日時	2019年7月20日(土) 10:00～16:00	
	場所	釜石市平田沿岸南部クリーンセンター	
	参加者数	一般159名	
	内容	テーマ:自然環境・自然体験、地球温暖化・エネルギー 内容:森の工作館、発電体験、図書・資料コーナー	
番号	9	イベント名等	イオン前沢チアーズクラブ活動
	主催団体	イオン前沢チアーズクラブ	
	日時	2019年7月21日(日) 10:00～14:00	
	場所	イオン前沢チアーズクラブ	
	参加者数	会員6名+コーディネーター1名	
	内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー・その他(太陽の力) 内容:ソーラークッカーを使って温度の変化等実験・太陽について学習	
番号	10	イベント名等	カシオペア環境フェスティバル
	主催団体	二戸保健福祉環境センター	
	日時	2019年7月27日(土) 10:00～15:00	
	場所	二戸市シビックセンター	
	参加者数	51名	
	内容	テーマ:森の工作館 内容:木の実を使った工作	
番号	11	イベント名等	夏休み行事
	主催団体	あすみ野ジャイアンツ	
	日時	2019年7月28日(日) 9:30～11:00	
	場所	あすみ野コミュニティーホール	
	参加者数	子供31名+大人20名 計51名	
	内容	テーマ:エネルギー、温暖化、ゴミ問題 内容:環境紙芝居の読み聞かせ、発電体験、わんこ節電所エコチェック、防ごう隊ノートの紹介、森の工作館(リサイクル工作)	

番号	12	イベント名等	釜石市甲子公民館事業「ふれあい広場」・甲子学童育成クラブ
	主催団体	釜石市甲子公民館	
	日時	2019年8月6日(火) 10:30~12:00	
	場所	釜石市甲子学童育成クラブ	
	参加者数	64名+指導者4名	
	内容	テーマ:環境紙芝居、森の工作館 内容:紙芝居「地球がたいへんだあ〜」、家庭のエコチェック、発電体験、森の工作館	
番号	13	イベント名等	【自主出張】一関市 自然deイングリッシュ
	主催団体	主催:一関市	
	日時	8月8日(木) 16:30~21:00	
	場所	一関市千厩みなみ交流センター	
	参加者数	一関市10名、4、5、6年生17名、岩大生5名 一般7名 合計40名	
	内容	テーマ:①自然(ネイチャーゲーム)、②星空観察、星空環境 内容:①谷藤 長利氏によるネイチャーゲーム②吉田 偉峰氏による星空観察、星空環境	
番号	14	イベント名等	一関市夏休み☆エコ体験教室
	主催団体	一関市	
	日時	2019年8月10日(日) 10:00~12:00	
	場所	一関市保健センター	
	参加者数	4,5,6年生児童15名、保護者他17名、一関市3名	
	内容	テーマ:ごみ問題、地球温暖化、エネルギー 内容:①環境紙芝居②もてるかなエネルギーのかばん③発電体験の解説、体験、自転車発電体験④ごみ問題クイズ⑤新聞バッグ作り	
番号	15	イベント名等	いわて銀河フェスタ2019
	主催団体	奥州宇宙遊学館	
	日時	2019年8月24日(土) 10:00~16:30	
	場所	奥州宇宙遊学館	
	参加者数	403名(ほぼ親子)	
	内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー 内容:「自転車発電体験」「家庭のエコチェックアンケート」「風力発電」「手回し発電」	
番号	16	イベント名等	第10回岩手流通センター活き活き祭
	主催団体	岩手流通センター活性化委員会	
	日時	2019年9月14日(土) 10:00~15:30	
	場所	流通センター	
	参加者数	一般来場者787名	
	内容	テーマ:地球温暖化、自然 内容:木の実の工作、積み木、発電体験、エコチェックアンケート	
番号	17	イベント名等	チアーズクラブ9月度活動
	主催団体	イオン盛岡南チアーズクラブ	
	日時	2019年9月21日(土) 13:00~15:00	
	場所	イオン盛岡南店 会議室・駐車場	
	参加者数	チアーズクラブ会員7名、コーディネーター3名	
	内容	テーマ:太陽、エネルギー 内容:ソーラークッカー、簡易ソータークッカー、推進員派遣とコラボ	

番号	18	イベント名等	盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター環境まつり
	主催団体	盛岡・紫波地区環境施設組合清掃事業所	
	日時	2019年9月29日(日) 10:00～15:00	
	場所	盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター	
	参加者数	197名	
	内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー、自然環境、自然体験 内容:積み木・発電体験(風車・太陽光発電・白熱電球・比較発電)・どんぐりつまみ・展示ポスター(環境学習交流センター、岩手県地球温暖化防止活動推進センター、SDGsの啓発ポスター)	
番号	19	イベント名等	森林総合研究所一般公開
	主催団体	森林総合研究所東北支所	
	日時	2019年10月5日(土) 10:00～15:30	
	場所	森林総合研究所東北支所	
	参加者数	266名	
内容	テーマ:東北支所一般公開に合わせた出張環境学習会 内容:積み木・発電体験・どんぐりつまみ・展示ポスター・図書		
番号	20	イベント名等	江刺産業まつり
	主催団体	江刺産業まつり実行委員会	
	日時	2019年10月27日(日) 10:00～15:00	
	場所	奥州市江刺区岩谷堂字反町(JA江刺)	
	参加者数	528名	
内容	テーマ:奥州めぐみネットとの共催 内容:積み木・発電体験・どんぐりつまみ・展示ポスター・図書		
番号	21	イベント名等	金ヶ崎町生活環境フェア
	主催団体	金ヶ崎町生活環境課	
	日時	2019年11月2日(土) 9:00～12:00	
	場所	金ヶ崎町中央生涯教育センター	
	参加者数	一般108名	
内容	テーマ:ごみ問題、地球温暖化・エネルギー 内容:みんなで取り組みエコアクションパネル、ごみ問題パネル、3R関連パネル、海のプラスチック体験ツール、自転車発電体験、もてるかなエネルギーのかばん、比較発電体験、紙漉体験		
番号	22	イベント名等	地球温暖化とエネルギーについて
	主催団体	花西地区まちづくり協議会	
	日時	2019年11月17日(日) 13:00～16:00	
	場所	花巻市文化会館	
	参加者数	102名	
内容	テーマ:地球温暖化とエネルギーについて 内容:実験キット体験・エネルギーのかばん・地球温暖化、エネルギーの講演会(60分)川邊弥生氏・家庭のエコチェックアンケート実施25名・環境に関するパネルの展示・積み木、どんぐりつまみ		
番号	23	イベント名等	令和元年度滝沢市環境フォーラム
	主催団体	滝沢市環境部環境課	
	日時	2019年11月30日(土) 10:00～15:30	
	場所	ビッグルーフ滝沢	
	参加者数	182名	
内容	テーマ:地球温暖化・エネルギー 内容:ごみ問題・海洋プラスチックどれかな?・新聞バッグづくり・積み木・クイズ:ごみっしょんいんぽっしぶる・家庭のエコチェックアンケート・環境に関するパネルの展示		

番号	24	イベント名等	【自主出張】千厩小梨シリーズ②クリスマスリースを作ってみよう！
	主催団体	環境学習交流センター	
	日時	2019年12月15日(日) 9:00～12:00	
	場所	千厩みなみ交流センター	
	参加者数	小学生親子5名、一般大人2名	
内容	テーマ:「クリスマスリースを作ってみよう！」 内容:スタッフ自己紹介、参加者自己紹介、講師:尾形 香氏自己紹介、リース作りの前に安全管理注意事項、リース作り、エコチェックアンケート、ウォームシェアについて説明		
番号	25	イベント名等	3館(青笹・上郷・土淵)児童クラブ合同交流会
	主催団体	土淵児童クラブ	
	日時	2020年1月8日(水) 10:00～11:30	
	場所	土淵児童クラブ	
	参加者数	73名(児童)10名(職員)	
内容	テーマ:環境紙芝居(地球が大変だあ～!)・新聞バッグ作り・発電体験。 内容:古新聞を利用し全員が新聞バッグを完成できるよう指導した。代表児童3名による感想の発表、3館合同交流会で普段知らない子供同志が顔を合わせたことの意義、初めて新聞バッグ作が楽しかったことなどが意見として出された。		

●流域活動支援

「岩手県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例」に基づく流域基本計画により、取組を推進するためのネットワーク作りや活動のコーディネートや情報提供を行っています。

10

番号	1	イベント名等	盛岡広域館内流域協議会
	主催・協力	盛岡広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2019年5月16日(木) 13:30~15:00	
	場所	盛岡地区合同庁舎 8階 講堂C	
	参加者	協議会メンバーなど 36名	
内容	盛岡広域管内流域基本計画の各種指標の達成状況、りぱ〜るくんの郷づくりパートナー認定制度について、意見交換など		
番号	2	イベント名等	りぱ〜るくんの郷づくりパートナー 基礎研修
	主催・協力	盛岡広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2019年6月20日(木) 9:30~16:00	
	場所	滝沢森林公園ネイチャーセンター研修室	
	参加者	協議会、環境保全団体など 15名	
内容	環境活動における安全対策についての講習会		
番号	3	イベント名等	鶺住居スタジアムクリーンアップ
	主催・協力	沿岸広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2019年6月29日(土) 10:00~12:30	
	場所	釜石市鶺住居スタジアム	
	参加者	協議会、環境保全団体など 15名	
内容	ラグビーワールドカップ2019を迎える鶺住居スタジアム周辺の清掃活動を支援		
番号	4	イベント名等	けせん環境懇談会
	主催・協力	沿岸広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2019年7月3日(水) 13:30~16:30	
	場所	釜石市根浜・宝来館会議室	
	参加者	流域協議会、環境保全団体など16名	
内容	海岸植生の復活に向けての今後の活動計画などを協議		
番号	5	イベント名等	けせん環境懇談会
	主催・協力	沿岸広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2019年7月5日(金) 13:30~15:00	
	場所	大船渡市魚市場3F多目的ホール	
	参加者	9名	
内容	講演「森川海のつながりと気仙の暮らし・地域循環共生圏」北里大学 朝日田 卓 氏・今後の活動協議他		
番号	6	イベント名等	いわて水と緑の交流フォーラム
	主催・協力	岩手県	
	日時	2020年1月25日(土) 13:30~16:20	
	場所	いわて県民情報交流センター(アイーナ)8階 804A	
	参加者	環境保全団体、環境アドバイザーなど110名	
内容	表彰、事例報告、意見交換、パネル及び資料展示、環境アドバイザーへの参加呼びかけ、会場準備・撤去等		

番号	7	イベント名等	いわて三陸の魅力まるごと再発見！環境学習推進事業・意見交換会
	主催・協力	沿岸広域振興局保健福祉環境部 宮古保健福祉環境センター	
	日時	2020年2月11日(火) 13:30～16:00	
	場所	イーストピアみやこ2階多目的ホール	
	参加者	環境保全団体、行政関係者など 約38名	
内容	表彰式、講演会、活動報告、パネルディスカッションおよび意見交換会 センター紹介およびSDGsパネル展示		
番号	8	イベント名等	県南環境交流フォーラムforSDGs 内陸・北上川流域から海ごみゼロの未来へ
	主催・協力	県南広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2020年2月12日(水) 13:00～16:20	
	場所	奥州市文化会館(Zホール)展示室	
	参加者	環境保全団体、行政関係者など 約75名	
内容	表彰式、招待講演、交流ディスカッション、センター紹介およびSDGsパネル展示		
番号	9	イベント名等	第2回盛岡広域館内流域協議会
	主催・協力	盛岡広域振興局保健福祉環境部	
	日時	2019年2月12日(水) 13:30～15:30	
	場所	第2回盛岡広域館内流域協議会	
	参加者	協議会メンバー29名	
内容	流域計画進捗状況説明、取り組み見直しへの意見交換、情報提供、センターパンフレット配布		
番号	10	イベント名等	けせん環境懇談会
	主催・協力	環境学習交流センター	
	日時	2020年2月25日(火) 13:30～15:00	
	場所	大船渡市防災観光交流センター 2階会議室	
	参加者	懇談会メンバー 7名	
内容	使用済み天ぷら油の回収状況、地球温暖化マジックプログラム作りも検討、課題を協議		

- 岩手県地球温暖化防止活動推進センター

●いわてわんこ節電所 (<https://www.co2-diet.com/>)

11

「いわてわんこ節電所」とは、2050年温室効果ガス排出量実質ゼロにむけて、エネルギー消費の少ないライフスタイルへの転換を促進することを目的としたサイトです。

* 家庭のエコチェック

<https://www.co2-diet.com/home/>

普段の生活で取り組んだ省エネ行動によるCO₂削減量を、岩手県名物「わんこそば」の「わんこ」に見立てて積み重ねていく参加型の取組です。わんこが重なるほど、より多くのCO₂を減らせたということになります。

令和元年度実績

のべ参加者数 **12,492名** (前年度比123%)
家庭の二酸化炭素削減数 **488,438kg-CO₂** (前年度比117%)

電気に置き換えると、933,915kWh相当、242世帯分の年間電気使用量を削減。
達成度としては、レベル5「希望の空エリア」まで到達することができました。



* 地球温暖化について知る

<https://www.co2-diet.com/home/>

地球温暖化のメカニズムや二酸化炭素の排出状況や、気候変動への適応策や、身近な省エネ行動などについて紹介しています。

* 最新情報をチェック！

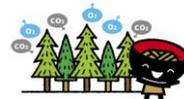
<https://www.co2-diet.com/topics/>

岩手県内外の温暖化に関する情報をお届けしています。

* ツール・ダウンロード

<https://www.co2-diet.com/tool/illustr/>

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロに向けて、地球温暖化対策を推進する取組について広報する場合に活用いただけるキャラクター「エコわんこきょうだい」や、啓発ポスターなどがダウンロードできます。また、岩手県が制作した地球温暖化などによる気候変動の影響と対策に関する動画も紹介しています。



* 地球温暖化を防ごう隊

<https://www.co2-diet.com/fusegoutai/>

岩手県の小学生が取り組む地球温暖化対策です。隊員に任命された小学生は、隊員ノートを使ってお家でできる身近な省エネなどに取り組みます。いわてわんこ節電所では、隊員の取組事例紹介などを行っています。



* エコチェックプレゼントキャンペーン

<http://www.aiina.jp/environment/co2-diet/present.html>

日頃の省エネ行動によるCO₂削減量を確認できる「家庭のエコチェック」に参加すると、3か月ごとに抽選でプレゼントが当たります！

* いわてわんこ節電所のプレゼントキャンペーン賞品は、協賛企業提供商品です。

* いわてわんこ節電所ニュース

毎月15日に配信するメールニュース「いわてわんこ節電所ニュース」では、イベント情報やタイムリーなお知らせ記事を中心に、取材を交えた特集記事や先進的な事業所の取組を紹介するコーナー等を掲載しています。

令和元年度 いわてわんこ節電所メールニューステーマ

4月号	◆サクラの開花と地球温暖化
5月号	◆COOL BIZ、始まりました。
6月号	◆地球温暖化と猛暑の発生について～緩和と適応～
7月号	◆令和元年「できることからECOアクション！」受賞者決定！
8月号	◆岩手県、21世紀末の気候はどうなる？

9月号	◆気候変動に具体的な対策を。世界のリーダーが集結！
10月号	◆次世代自動車のこと、どれくらい知っていますか？
11月号	◆11月は「エコドライブ推進月間」。低燃費で安全を考えた運転を！
12月号	◆12月は「地球温暖化防止月間」です。
1月号	◆パリ協定に基づく2020年からの気候変動対応
2月号	◆2月は省エネルギー月間です
3月号	◆快適でスマートな新生活を

●省エネ・節電キャンペーン

「省エネ・節電キャンペーン」は、岩手のみなさんの省エネ・節電活動を応援するキャンペーンです。

■キャンペーン概要

岩手県地球温暖化防止活動推進センターでは、ご家庭での省エネ行動を促進し、地球温暖化対策につなげるため、県民参加型の省エネ・節電キャンペーンを実施しています。(主催:温暖化防止いわて県民会議/岩手県/岩手県地球温暖化防止活動推進センター)

令和元年度は、クールシェアとウォームシェアを呼びかける「いわて夏エコキャンペーン」「いわて冬エコキャンペーン」、電動化による環境性能の向上が進む次世代自動車について知る機会となる「次世代自動車キャンペーン」を実施しました。

1. いわて夏エコキャンペーン あなたのエコでCOOLな夏を投稿してプレゼントをもらおう!

実践している「クールシェア」をツイッターやInstagramに投稿してクールをシェアしていただきました。

【キャンペーン期間】2019年7月1日(月)～9月30日(月)
 【主催】温暖化防止いわて県民会議、岩手県、岩手県地球温暖化防止活動推進センター
 【投稿数】91件

投稿先SNS

- ★ツイッター @iwate_eco ⇒https://twitter.com/iwate_eco
- ★Instagram @iwate_co2diet ⇒https://www.instagram.com/iwate_co2diet

- ▼チラシデザイン
- ▼景品(オリジナル手ぬぐい)
- ▼投稿例



2. 2019-2020 いわて冬エコキャンペーン 岩手の冬をあったか&エコに

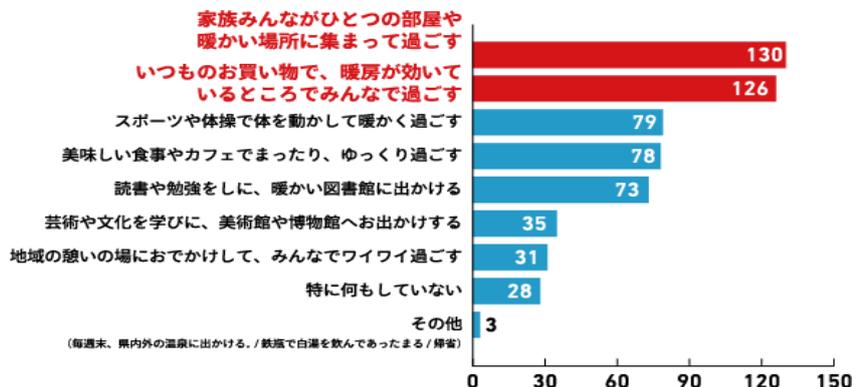
【期間】2019年12月1日(日)～2020年2月29日(土)
 【参加方法】WEBアンケート形式
 【回答数】318名
 【地域】県央:233名、県南:57名、沿岸:17名、県北:11名
 【年代】～10代:122名、20～30代:89名、40～50代:82名、60～70代:25名
 【性別】女性:184名、男性:134名

●アンケート結果報告(いわてわんこ節電所ホームページ)
<https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=286>

- ▼チラシデザイン
- ▼アンケート結果(一部)



【Q1】あなたの冬の過ごし方で当てはまるものはありますか？



3. 変わる！いわてのカーライフ！「次世代自動車キャンペーン」

次世代自動車に関するWebアンケートに参加いただきました。

【期間】2019年10月1日(火)～2020年2月29日(土)

【回答数】131名

【地域】県央:72名、県南:23名、沿岸:18名、県北:12名、県外:6名

【年代】～10代:1名、20～30代:34名、40～50代:69名、60～70代:25名、80代～:2名

【性別】女性:40名、男性:88名、無回答:3名

●アンケート結果報告(いわてわんこ節電所ホームページ)

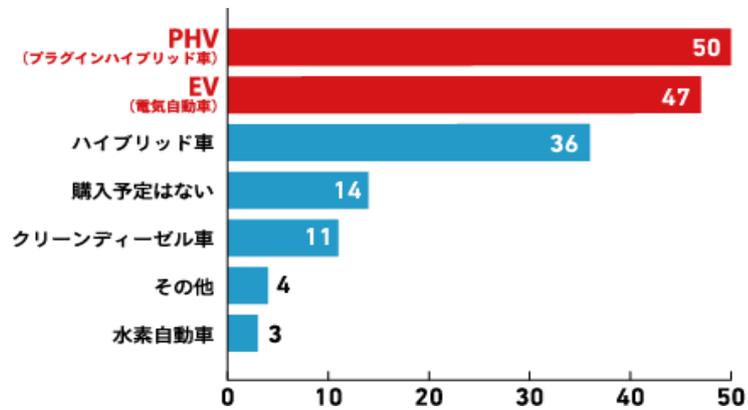
<https://www.co2-diet.com/topics/detail.php?id=287>

▼ポスターデザイン



▼アンケート結果(一部)

【Q5】乗換えてみたい車はどれですか？



●岩手県地球温暖化防止活動推進員派遣事業

県民の方が地球温暖化などに関する研修会等を開催する場合に、その研修会の講師として地球温暖化防止活動推進員を派遣する事業です。令和元年度は県内各地で講演等、79回の派遣を行いました。

実施日	5月12日	主催者	岩手県立県北青少年の家	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般164名		
研修会	ステラパルまつり				
テーマ	星空環境・宇宙体験・地球温暖化の現状				
内容(推進員より)	地域の星空環境と光害を含むエネルギー消費の関係性について、地球温暖化の基礎知識と惑星地球の現状紹介。				
実施日	5月21日	主催者	釜石市働く婦人の家	推進員	若生 和江
		対象	市内在住女性15名		
研修会	平成31年度 働く婦人の家前定期講座「エコ料理講座」				
テーマ	エコ料理から学ぶごみ減量				
内容(推進員より)	「山菜たっぷりエコクッキング」と題して、旬の山菜を使った調理や郷土料理の「やまんば汁」から、食材を無駄なく使いきる工夫を学ぶ。日々の暮らしと温暖化による様々な気象の変化が強く結びついている事、一人一人ができることをして行くことの大切さをアンケートをきっかけに伝えた。県内の水産高校の学生さんの取り組みを紹介、地球規模で問題となっている海岸に流れ着くプラスチックごみについても触れ、不要な使用を減らして行こうと呼びかけた。				
実施日	6月12日	主催者	久慈市立小袖小学校	推進員	櫻井 則彰
		対象	3～6年児童16名		
研修会	「地球温暖化を防ごう隊」事前学習				
テーマ	地球温暖化防止隊の取り組みについて				
内容(推進員より)	・防ごう隊ノートの説明(表紙に書かれている内容)・簡易モーターを電池で動かす。逆にモーターを回すと電気が発生する。手回し発電機での実験を子どもたちにやってもらう。発電所ではどんな力でモーターを回しているのか?火力発電所では蒸気をつくりタービンに吹きかけ巨大モーターを回す。その時CO2が発生する。CO2を減らすために日常生活をどうすれば良いのか質問を投げかける。家庭のエコチェックアンケートを実施しながら中身の解説。夜の世界地図を見せ、どの地域がエネルギーを沢山使っているのか子どもたちに答えさせる。温暖化防止コミュニケーションが使う動画4本を見せる。防ごう隊ノートの中身を再度説明、最後に2100年の天気予報をやってみる。45分間のなかで子どもたちが飽きないよう発電体験、動画をみせたり工夫した。				
実施日	6月19日	主催者	紫波町 産業部 環境課	推進員	坂下 洋子
		対象	紫波町ごみ減量女性会議員43名		
研修会	令和元年紫波町ごみ減量女性会議総会				
テーマ	環境先進国ドイツの話				
内容(推進員より)	ドイツの暮らしとこれまでの環境活動の中から、「自然に寄り添った暮らし(サステナブルな暮らし含む)の大切さ」と「人と人が繋がっていくことの大切さ」を中心とした話題提供をさせて頂いた。話(耳情報)だけにならないように、パワーポイントでの画像(体験したドイツでのゴミ。資源リサイクルを中心)や、ドイツで使われているエコバックを数種類持参するなど、様々な形で情報を届けたいと考えた。				
実施日	6月20日	主催者	和賀東小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	4年生児童54名教職員3名		
研修会	子供と始める暮らしのエコチャレンジ事前説明会				
テーマ	地球温暖化				
内容(推進員より)	子供と始める暮らしのエコチャレンジ事前説明として「地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし」のパワーポイントを活用①2100年未来の天気予報②2100年未来の台風情報③世界の平均気温④二酸化炭素の性質⑤温暖化の影響⑥私たちができること⑦みんなでクールチョイスのクイズ形式⑧ハチドリの一しずく・エコ風呂敷の紹介と簡単な包み方・袋の削減・エコチェックアンケート。				
実施日	6月27日	主催者	センター指名の研修会(本一いきいきサロン)	推進員	千葉 理恵
		対象	本宮第一町内会45名		
研修会	温暖化				
テーマ	温暖化対策身近にできること				
内容(推進員より)	地球温暖化をできるだけ食い止めるため、私たちが家庭でできること」と題し、以下の3点について説明を行いました。1.地球温暖化とは(地球温暖化のしくみ、地上気温や海面上昇の推移など)2.地球温暖化が進むとどうなるのか(日本と岩手における地球温暖化の影響など)3.私達にもできる温暖化対策(お風呂、トイレ、リビング、キッチンなど)				
実施日	6月29日	主催者	藤里振興会環境保健部研修会	推進員	川邊 弥生
		対象	藤里振興会環境保健部会員30名		
研修会	藤里振興会環境保健部研修会				
テーマ	身近にできる省エネの取り組み、ごみ減量化、食の安全				
内容(推進員より)	身近にできる省エネの取り組みと地球温暖化の最新情報。初めに2100年未来の天気予報を紹介。温暖化の影響、私たちにできることは?緩和策と適応策。ゴミの減量については岩手県のゴミ速報値からごみの排出量を市町村別に説明。ゴミを減らす初級編・中級編・上級編の具体的な取り組みを紹介。ハチドリの一しずくを読んでみんなで実践しよう。エコ風呂敷の紹介と簡単な包み方・レジ袋の削減・エコチェックアンケートの実施。				

実施日	6月29日	主催者	平小路公民館	推進員	高橋 良和
		対象	平小路地区住民30名		
研修会	平小路公民館エコ活動研修会				
テーマ	身近にできるCO2の削減、エコドライブ、地球温暖化防止について身近にできる取り組み				
内容(推進員より)	環境に優しいとは何か、を改めて参加者に考えてもらう。2.自分が無意識にやっている環境行動に気づく。3.環境行動は、人から言われてやるのではなく、自分で「気づき、意識して」行動する、それが大事である。4.個人のもつ環境力は、(知識)×(気づき)×(行動)の掛け算で決まり、行動が伴わなければ、その人の環境力は「ゼロ、となる。5.私が気づいた環境に優しい製品の現物を見て説明し、何が環境に優しいかを理解してもらう。6.環境に優しい製品は、人にも優しい製品が多い。7.本日の参加者に関心のある、日常の食品・安全・安心問題を研修内容に加えて伝えた。				

実施日	6月29日	主催者	丹内建設㈱	推進員	高橋 功
		対象	社員50名		
研修会	安全衛生大会				
テーマ	省エネ及びエコドライブ				
内容(推進員より)	エコアクション21や岩手地球環境にやさしい事業所に登録されている会社で、省エネ及びエコドライブについての依頼であったことから、企業としての温室効果ガス排出源には軽油・ガソリン・灯油・電気などが考えられるものの、削減目標を立てても工事量や内容・作業場所によって大きく左右されることから、まずは家庭での取組として「職場のエコは家庭から」と題し、二酸化炭素の約50%が排出されている電気の削減(冷蔵庫の使い方・照明のLED化)、次の約20%を占めているガソリンの削減(エコドライブ)について、手づくりの作品等を使いながら理解を深めていただきました。				

実施日	7月6日	主催者	株式会社 理水興業	推進員	林 俊春
		対象	社員67名		
研修会	環境管理委員会 環境教育				
テーマ	地球温暖化の現状と対策企業としての取り組み				
内容(推進員より)	1.地球温暖化の概要 2.2100年の日本の天気予報(環境省)の紹介 3.エコアクション21の目指すところの説明 4.ISO14001の2015年版の改定にて初めて、地球の温暖化やリサイクル思考が入ったことを説明。5.エコアクション21は地球温暖化防止のための二酸化炭素の削減目標があることを説明する。6.DVDにより、音と光にてリアルに地球の温暖化を伝えた。7.SDGsの考え方を伝え環境に関連した項目が多く、企業及び行政で活発に活動が始まっていることを伝えた。8.プラゴミの世界の状況及び「SDGsNo14の海の豊かさを守ろう」についてG20でも採択され、世界共通の課題としてとらえなければ解決できないのが環境問題であることを伝えた。				

実施日	7月14日	主催者	特定非営利活動法人accommon	推進員	高橋 功
		対象	幼児・小中学生・保護者・ボランティア合計30名		
研修会	あそびのHIROBA/楽しく伸び伸び♪親子体験教室チャレンジキャンプ				
テーマ	地球温暖化対策の内容に即した自然の物等を利用したエコ工作				
内容(推進員より)	環境のお話しとエコ工作の依頼でしたので、温暖化の仕組みやいろいろな発電について手作りの作品で模擬体験して頂くとともに、発電時には二酸化炭素を出さない再生可能エネルギーにも工夫が必要などあることから、省エネに努める事が必要なことについて理解を深めていただきました。また、各所で自然災害が発生していることから、倒れた木で切れた電線には触らない、大停電「ブラックアウト」の仕組みと私たちができる対策について模型で体験していただきました。工作では、身近にあるススキを使った輪ゴム鉄砲とペットボトルを使ったエコカーをつくり遊んでいただきました。				

実施日	7月16日	主催者	釜石市働く婦人の家	推進員	若生 和江
		対象	住民16名		
研修会	令和元年度働く婦人の家前定期講座「エコ料理教室」				
テーマ	エコ料理講座				
内容(推進員より)	「さっと作る夏の料理」エコッキング・旬の野菜を使った食べきりッキング・自家製漬け物作りで茄子と胡瓜を食べよう・冷や汁で暑さをしのぐ調理法を学ぶ・使い捨てプラスチックの使用を減らすこと、簡易包装のスヌメ 講話として、家庭での取り組みがプラスチックごみの減量や無駄なく調理を行う事が環境への負荷を減らすことを伝え、日常の取り組みのきっかけとなるよう 伝えた。				

実施日	7月18日	主催者	花巻シニア大学	推進員	川邊 弥生
		対象	大人14名、職員2名 合計16名		
研修会	花巻シニア大学 修学院選択学習(和コース)				
テーマ	地球温暖化及び排出抑制(ごみ問題)				
内容(推進員より)	身近にできる省エネの取り組みと地球温暖化の最新情報。初めに2100年未来の天気予報を紹介。温暖化の影響、私たちにできること。緩和策と適応策。ゴミの減量については岩手県のゴミ速報値からごみの排出量を市町村別に説明。ゴミを減らす初級編・中級編・上級編の取り組み。ハチドリのひとつ。風呂敷の歴史・エコ風呂敷の紹介と簡単な包み方・エコチェックアンケートの実施。				

実施日	7月19日	主催者	遠野市立達曽部小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	5・6年生児童・教職員 計20名		
研修会	地球温暖化を防ごう隊～今できることから始めよう～				
テーマ	地球温暖化とエコ活動				
内容(推進員より)	「地球温暖化を防ごう隊～今出来る事から始めよう～地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし～のパワーポイントを活用①2100年未来の天気予報 ②2100年未来の台風情報③世界の平均気温④二酸化炭素の性質 ⑤温暖化の影響 ⑥私たちができること⑦みんなでクールチョイスのクイズ形式⑧身近な川の生き物やマイクロプラスチックゴミについて⑨ハチドリのひとつ・エコ風呂敷の紹介と簡単な包み方・レジ袋の削減・エコチェックアンケートの実施。				

実施日	7月19日	主催者	認定こども園ともいき	推進員	吉田 偉峰
		対象	園児と教諭62名		
研修会	「お星さまと仲良くなろう」				
テーマ	星空環境と地域のエネルギー				
内容(推進員より)	域の星空環境と季節の星々 光害と地域のエネルギー消費について。				
実施日	7月20日	主催者	岩手県企業局	推進員	紺野 透
		対象	大人25名・子供3名		
研修会	令和元年度岩手県企業局施設見学会				
テーマ	環境・エネルギー				
内容(推進員より)	・世界・国・県の環境施策・新エネルギー(水力・風力発電を含む)の地球環境問題への寄与・いわてわんこ節電所エコチェックアンケートの実施。				
実施日	7月21日	主催者	イオン前沢チアーズクラブ	推進員	若生 和江
		対象	イオン前沢チアーズクラブ会員6名・コーディネーター1名合計7名		
研修会	イオンチアーズクラブ活動				
テーマ	太陽と宇宙について、温暖化の取り組み				
内容(推進員より)	テーマ「太陽の力(熱)を利用したクッキング」という事で、食の視点から太陽のめぐみを考えられるような内容とした。・太陽のめぐみを受けている食べ物って?・太陽の力を利用したクッキング「干し野菜を作ってみよう」「干した夏野菜でクッキング」。				
実施日	7月27日	主催者	カンオペア環境研究会	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般		
研修会	カンオペア環境フェスティバル				
テーマ	地域の星空環境と地球温暖化				
内容(推進員より)	地域の星空環境と季節の星々 光害と地域のエネルギー消費について。				
実施日	7月31日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	企業エコスタッフ38名		
研修会	令和元年度エコスタッフ養成セミナー				
テーマ	エコドライブ、事業における省エネポイント				
内容(推進員より)	1講演について:「エコドライブについて」DVDとそこにある動画を交え、ポイントを伝える。さらに、推進員としての立場から、エコドライブでの燃費の向上は、本来の目的である地球温暖化防止のためのひとつの手段であり、時には車を使わない、例えば自転車利用に必要な準備の大切さを伝えた。また、家族でエコドライブに関心ある人とそうでない人で差が出ないように、車購入時、誰もがエコドライブになるような車を選び、さらなるエコドライブを行うことの必要性を伝えた。2グループ討議について:約80分間、各グループを廻り、必要な助言をする。3グループ討議の結果発表の進行と各グループへの講評を行い、その中で参加者が会社に戻って、実際に行う環境活動のポイントとして伝える。				
実施日	8月1日	主催者	普代村公衆衛生班連合会	推進員	若生 和江
		対象	普代村住民・職員8名		
研修会	段ボールコンポスト説明会				
テーマ	CO2排出抑制のための段ボールコンポスト活用を学ぶ				
内容(推進員より)	・ごみの現状・ごみ減量のヒント・段ボールコンポストとは?・使ってみよう段ボールコンポスト・エコチェックアンケート実施。				
実施日	8月9日	主催者	イオン前沢チアーズクラブ	推進員	吉田 偉峰
		対象	チアーズクラブ会員3名、コーディネーター1名		
研修会	チアーズクラブ8月度活動				
テーマ	太陽と宇宙について・温暖化の取り組み				
内容(推進員より)	地球温暖化と太陽のエネルギー・光害と地域のエネルギー消費について。				
実施日	8月23日	主催者	いろいろ株式会社	推進員	吉田 偉峰
		対象	オークフィールド入居高齢者・親子18名		
研修会	星空観望会				
テーマ	星空環境				
内容(推進員より)	光害と地域のエネルギー消費・地域の星空環境について。				
実施日	8月25日	主催者	普代村公衆衛生班連合会	推進員	若生 和江
		対象	普代村住民・職員8名		
研修会	段ボールコンポスト説明会				
テーマ	生ごみの減量化を目的とし、住民へ安価で容易に行えるダンボールを使用したコンポストの普及啓発を行う				
内容(推進員より)	ごみの現状・ごみ減量のヒント・段ボールコンポストとは?・使ってみよう段ボールコンポスト・エコチェックアンケート実施。				
実施日	9月2日	主催者	岩手県美容業生活衛生同業組合一関支部	推進員	薄井 信次
		対象	組合員16名		
研修会	一関美容組合支部講習会				
テーマ	地球温暖化について				
内容(推進員より)	業界で取り組むSDGs、地球温暖化対策など。				

実施日	9月4日	主催者	黒沢尻西地区交流センター	推進員	川邊 弥生
		対象	黒沢尻西小学校5年生児童70名、教員2名、職員2名		
研修会			家庭教育学級5年生「環境問題」		
テーマ			CO ₂ の排出抑制に自分たちでできることを学ぶ		
内容(推進員より)			地球温暖化の現状と対策について 資源の循環活用について 二酸化炭素排出抑制で自分たちに出来る事を学ぶ エコチェックアンケートの記載説明 家庭排水から環境汚染になる事や家庭で出来る環境浄化など。		

実施日	9月10日	主催者	盛岡ペットワールド専門学校	推進員	高橋 良和
		対象	平元 尚人		
研修会			地球温暖化問題と生態系		
テーマ			地球温暖化問題と生態系		
内容(推進員より)			・環境にやさしいこととは何か？を、身近な事例から伝えた。・環境にやさしいものかどうかの判断材料として、「インプット」「家庭や学校での使用時」「アウトプット」の3点を考え、より広い視野から判断することが大切であり、テレビ等の宣伝では、使用時のメリットのみを繰り返し伝える。私たちは宣伝に左右されることなく賢い消費者にならない。食品であれば、それが「安全」「安心」という生活上で最も大事な部分の選択につながる。・環境活動とは、決して「ガマン」や「禁止」を強要するものではなく、自身の行動の中にある環境にやさしい行動を振り返り、良い行動であれば、それを深め、広げること。・環境力があるとすれば、それは「知識」と「気づき」さらに「行動」の積であり、この行動が無ければゼロになるので、小さくとも行動を起こす。・講師の派遣共通の項目として、例えば蝶は温暖化に伴い北上できるが、その生存に必須の直物があればどうしても根があるため北上は遅れてしまう。人類が原因の温暖化の速さは、かつての氷河期が進むスピードよりはるかに速く、氷河期を生き抜いた蝶の絶滅につながる。・外来生物のオオハングウソウの駆除・処分を行った。		

実施日	9月13日	主催者	奥州市 市民生活部 生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市衣川小学校4年生児童・教員合計19名		
研修会			奥州市環境学習事業		
テーマ			ゴミ・リサイクルに関する学習会		
内容(推進員より)			ごみが増えたことによって何が起きてるの？・海のプラスチックごみの問題について知る。→ごみはどこから？→ごみが増えているわけを考える→ごみ減量そしてリサイクル・分別体験→正しい資源物の分け方体験・アイスブレイク・「もったいないばあさんカルタ」大会・地球温暖化ってなあに？原因は？世界で起きている事を知る・エネルギーについて考える →手回し発電で消費電力の比較をしてみよう。・体験を通じてエネルギーを作る、使うについて考える。		

実施日	9月13日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	3学年児童17名 引率2名		
研修会			第3学年社会科見学		
テーマ			地球温暖化及び自然や天体に関する事		
内容(推進員より)			地域の事業所の温暖化対策 光害対策と省エネについて。		

実施日	9月16日	主催者	奥中山高原	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般20名		
研修会			奥中山高原感謝祭 星空観察会		
テーマ			地域の星空環境と光害・地球温暖化		
内容(推進員より)			地域の星空環境と季節の星々 光害と地域のエネルギー消費について。		

実施日	9月17日	主催者	藤里振興会第二自治会	推進員	川邊 弥生
		対象	地域住民27名		
研修会			環境汚染を考える～きれいな地球を子や孫へ～		
テーマ			地球温暖化		
内容(推進員より)			身近にできる省エネの取り組みと地球温暖化の最新情報。初めに2100年未来の天気予報を紹介。温暖化の影響、私たちにできることは？緩和策と適応策。ゴミの減量については岩手県のゴミ速報値からごみの排出量を市町村別に説明。ゴミを減らす初級編・中級編・上級編の具体的な取り組みを紹介。ハチドリの一としづくを読んでみんなで実践しよう。エコ風呂敷の紹介や簡単な包み方、レジ袋の削減について学んだ。エコチェックアンケートの実施。		

実施日	9月17日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	杉枝 武雄
		対象	社会人19名		
研修会			令和元年度エコスタッフ養成セミナー		
テーマ			エコドライブ、事業所における省エネ活動のポイント		
内容(推進員より)			エコスタッフ養成セミナーにおけるエコドライブ座学講習及び事業所における省エネ活動のポイントの講師、架空オフィスの省エネ対策グループ討議結果の講評を行った。		

実施日	9月19日	主催者	奥州市市民環境部生活環境課	推進員	若生 和江
		対象	奥州市立稲瀬小学校5年生児童8名、教職員2名		
研修会			奥州市環境学習事業		
テーマ			地球温暖化・エネルギー		
内容(推進員より)			地球温暖化ってなあに？今起きている事から考える えねるぎーの使い方を考える 私たちの暮らし、世界の子どもの事→つながっているよね。これから私たちができることを考える エネルギーを作ってみよう、使ってみよう →LEDと白熱電球の発電比較で使用されるエネルギーの差を感じてみよう。		

実施日	9月21日	主催者	日詰15区いこいの家	推進員	川邊 弥生
		対象	高齢者17名		
研修会			令和元年度第三回いこいの家		
テーマ			ごみ減量		
内容(推進員より)	身近にできる省エネの取り組みとプラゴミについて 日常の生活で資源を大切にすることや物を大切に活用するために新聞エコバックの作り方。マイ箸・マイバック・マイペットボトル運動について。エコチェックアンケート記入の説明。				

実施日	9月21日	主催者	イオン盛岡南チアーズクラブ	推進員	吉田 偉峰
		対象	チアーズクラブ会員7名、引率3名		
研修会			チアーズクラブ9月度活動		
テーマ			太陽について(エネルギー)		
内容(推進員より)	地球温暖化と太陽のエネルギー 光害と地域のエネルギー消費について説明した。				

実施日	9月22日	主催者	盛岡市立太田老人福祉センター	推進員	高橋 良和
		対象	センターまつり来場者60名		
研修会			地球温暖化についてのお話と口笛演奏		
テーマ			地球温暖化、ごみ問題		
内容(推進員より)	センターまつり(例年、講座受講生の展示と民謡等の発表会)の中でセンター主催講座として「地球温暖化についてのお話と口笛演奏」を実施。身近な環境の話と演奏を組み合わせ、参加するお年寄りに「楽しく・分かり易く」を心がけた。環境行動は、ガマンすることではなく、むしろ心地よくやるものである。その結果、心にも健康にも優しい行動に繋がる。環境にやさしいとは何かを具体例で示し理解してもらう。また、持ち時間が30分と少ないために、90分前に会場に行き、展示担当者や民謡等の発表者とできるだけ事前に環境につながる会話をし、作品材料など身近な材料等から環境への気づきを持ってもらう。また昼食時は、センターの女子臨時職員とも環境の話をして環境意識の理解を促した。口笛演奏を通じて、楽器として、また、音を出す仕組みから見ても環境にやさしい演奏であることを伝え環境活動への理解を深めた。				

実施日	9月24日	主催者	砂鉄川水源の森を守る会	推進員	徳谷 喜久子
		対象	一般20代～70代以上の男女10名		
研修会			グローバル気候マーチin一関		
テーマ			気候変動と地球温暖化		
内容(推進員より)	・環境省のDVDの1章と2章を鑑賞し地球温暖化の概要を知る。1人ずつ発言していただき、意見、質問を受ける。・主催者からの発言が入る。「グローバル気候マーチin一関(東山)」として、この集まりも参加とする。水源の森や森林資源の守り方などを話し合う。・参加者からの質問に答え、温暖化の現状と残された時間は少ないことを話す。・最後に一関地球温暖化対策地域協議会制作のDVDを見て終了とした。				

実施日	9月28日	主催者	北松園児童センター	推進員	高橋 功
		対象	小学生100名、大人132名 合計240名		
研修会			環境研修と工作		
テーマ			地球温暖化、エネルギー、リサイクル		
内容(推進員より)	児童センターまつり会場で、環境についての学習との依頼でしたので、地球温暖化を防ごう隊員ノートや手作り作品、そして世界最小のソーラーカーなどを使いながら、再生可能エネルギーの優れているところや工夫が必要な点、白熱電球とLED電球の違いなどについて体験を交えながら理解を深めていただきました。また工作では、身近にあるすすきを使った輪ゴム鉄砲やペットボトルを使ったエコカーをつくり遊んでいただきました。				

実施日	9月28日	主催者	盛岡市環境部環境企画課	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般18名		
研修会			盛岡市環境学習講座「盛岡の秋の夜空を観察しよう」		
テーマ			大気環境・光害についての学習及び星の観察		
内容(推進員より)	地域の星空環境と季節の星々 光害と地域のエネルギー消費				

実施日	9月29日	主催者	一関地球温暖化対策地域協議会	推進員	千葉 理恵
		対象	一般10名		
研修会			エコカフェ		
テーマ			地球温暖化防止対策について		
内容(推進員より)	地球温暖化について認識を深め、家庭で対策に取り組んでいただけるよう、以下の3項目について説明を行いました。1地球温暖化とは？(地球温暖化のしくみ・要因) 2地球温暖化の影響(異常気象、海面上昇、農作物などへの影響) 3私達にもできること(省エネ家電、再配達防止など)				

実施日	10月3日	主催者	滝沢市市民環境部環境課	推進員	高橋 良和
		対象	滝沢市衛生指導員17名、職員3名		
研修会			令和元年度滝沢市衛生指導員視察研修		
テーマ			世界及び日本の廃棄物の現状・身近にできるごみ減量化		
内容(推進員より)	参加者は、市の衛生指導員で、地域の廃棄物に幅広い知識をお持ちの方である。単なる廃棄物の話に留まらず、少し別の角度からの話をした。例えば、3R運動で、家庭から排出する段階で、廃棄物を減らすには、分別が主な作業となる。しかし廃棄物に出す前の家庭内での段階で、廃棄物に関心を持ち、できるだけ廃棄物にならない利用(大切に使う、必要な量だけ料理する等)すると効果が出る。しかし最も効果がある行動は、物を購入時に廃棄物がより少ないものを選択すると、廃棄物が最も効果的に減る。このように、廃棄物になるその前、さらにはその前に気を配ることの大切さを伝える。3Rの効果をもっと考えることでごみの減量化、資源化がより進む。環境力=知識×気づき×行動で、この「行動」が伴わなければ、ゼロとなる。「時間(=継続)」が伴えば、さらに効果が出ると伝えた。また、環境にやさしいとは何か、商品の実物を見て、触って理解してもらう。環境にやさしい製品は、人にも優しいことも伝えた。				

実施日	10月8日	主催者	釜石働く婦人の家	推進員	若生 和江
		対象	釜石地区在住女性50代から70代14名		
研修会		令和元年度働く婦人の家後定期講座「エコ料理講座」			
テーマ		エコクッキング			
内容(推進員より)		「秋の味覚でエコ・クッキング」・旬の野菜を使った食べきりクッキング・大根いろいろ食べきりレシピ・鍋帽子で保温調理、省エネクッキングのすすめ・旬の食材を使う事は体にもよく、栽培等に係るエネルギーの多用も避けられること、近くの食材を利用することで、輸送に係る省エネにつながる事など、食事にまつわる事で環境への負荷を減らせることが沢山ある事を伝え、日常の取り組みのきっかけとなるよう呼びかけた。			

実施日	10月18日	主催者	株式会社 阿部製作所	推進員	林 俊春
		対象	従業員28名		
研修会		地球温暖化防止セミナー			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		・小泉環境大臣と環境大臣賞受賞の林家カレー子と環境漫才の普及の話・ノーベル賞受賞の山下さんとリチウムイオン電池は地球温暖化に多くの貢献が予測されること。(電気自動車のバッテリーがエネルギーの貯留に貢献)・DVDを活用して地球温暖化をリアルに知ってもらう。・パリ協定後の、世界の変化について解説・二酸化炭素は現在どの位排出され、地球の温度の上昇を1.5℃未満に抑えるためには、今のままの状況では、後30年よりないことを伝える。・会社でのSDGsについて解説する。(男女平等・家事の分担、健康と福祉:休肝日をつくる。質の高い教育を皆に:中国語を勉強する。等を当てはめてSDGsを活用してほしい。)			

実施日	10月21日	主催者	岩山自然観察会	推進員	粒針 妙子
		対象	40代～80代10名		
研修会		地球温暖化ってどんな問題ですか?～16歳の少女の行動から学ぶ～			
テーマ		地球温暖化			
内容(推進員より)		「地球温暖化ってどんな問題ですか?～16歳の少女の行動から学ぶ～」ということで、国連で演説を行ったスウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんの演説内容にある科学的な根拠の解説と演説後の世界各国の経済面、環境面に関連する動き、同世代の日本の若者の受け止め方についてお話ししました。			

実施日	10月22日	主催者	盛岡市環境部環境企画課	推進員	若生 和江
		対象	盛岡市内小学生親子60名、職員3名		
研修会		盛岡市環境学習講座「エコアス収穫祭でエコクッキング」			
テーマ		地産地消、旬の食材(エネルギー)			
内容(推進員より)		・畑で採れたさつま芋を用いたエコクッキングの実践的な講習・食材を無駄なく使い、ごみ減量につながる調理法の伝達等・自分たちで育てたさつま芋の調理を体験し、育てる楽しみや大変さ、収穫して大地の恵みへの感謝が感じられるよう、体験の畑から収穫したさつま芋を使って調理をした。・子供たちが調理体験をゆったりとできるよう、事前の準備を行い、家に帰ってからでも作れるようなレシピを紹介できたのは良かった。			

実施日	10月24日	主催者	本一いきいきサロン	推進員	高橋 良和
		対象	町内会住民40名		
研修会		本宮第一町内会いきいきサロン			
テーマ		環境に優しい取り組み			
内容(推進員より)		高齢者のため堅苦しさを排除して進めた。まずは、環境にやさしいとは何かを、ごく身近な、誰にでも当てはまる話を主体に進める。そのために、具体事例を持ち込んで、質問をしながら楽しく進めることを心がける。特に、環境への優しさは、ガマンすることや禁止することではなく、普段の生活の中にもその芽があることを伝えた。会場準備の段階から伺って、出品者や当日のスタッフや代表者とも環境の話をしながら環境活動の楽しさを話し合った。			

実施日	10月27日	主催者	矢巾町活動交流センター やはばーく	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般100名		
研修会		ハロウィンイベント2019			
テーマ		星空環境・光害・エネルギー			
内容(推進員より)		地域の星空環境と季節の星々・光害と地域のエネルギー消費 アウトドア活動と地域の環境 ハロウィンイベントで屋外活動やキャンプを切り口として、環境の展示を行った。身近な自然環境から、地球温暖化を考えて頂いた。			

実施日	10月28日	主催者	本宮地区町内会連絡協議会	推進員	木村 廣子
		対象	町内会員93名		
研修会		本宮地区ごみ減量資源再利用研修会			
テーマ		ごみ減量、リサイクル			
内容(推進員より)		「ごみ減量とリサイクルについて分別を徹底するには」地球温暖化と絡めた話をとの要望であった。①球温暖化による影響について②海洋プラスチックについて③ごみ問題 ①海面上昇による影響については「世界で一番早く日が昇る国キリバス、南の島ルール」の紙芝居を用いてポイントを説明。②ティッシュペーパー1日1枚減らそうでは選び方使い方を実物を使って説明した。皆さん熱心に聞いてくれた。			

実施日	10月29日	主催者	土沢地域づくり会議	推進員	若生 和江
		対象	土沢地区住民10名		
研修会	今日から役立つエコクッキング講座				
テーマ	ごみ・分別・リサイクル家庭でできる生ごみ減量				
内容(推進員より)	地球温暖化やごみ問題について、今起きている事と、日々の暮らしの中の 私たちの選択と行動が結び付いている事を伝え、できる事を考えるきっかけとなる講座とした。・旬の野菜でエコクッキング・身近な食材の使い方・郷土料理にまつわるエコの話し他・エコチェックアンケートの実施・今の季節手に入り、これから活用できる食材を選んで構成した・なぜ？が伝わり、持ち帰って使える内容を加えた。・各工程のポイントがわかるよう、要所要所は、みんなで聞けるようにした・何より、自分で作ってみるが楽しくあり、そこからこれはどういう事だろうと考えられるようなクッキングの習慣が身につくとうれしいと思っている。				

実施日	10月29日	主催者	岩手県公衆衛生組合連合会	推進員	花澤 淳
		対象	市町村地区衛生組織指導者・市町村担当職員106名		
研修会	令和元年度市町村地区衛生組織指導者研修会				
テーマ	ごみ減量・地球温暖化・資源リサイクル				
内容(推進員より)	「令和時代の環境保全活動のススメ」と題し、今後の環境活動の参考となりうるキーワードを自身で見つけてもらえるような講演内容とした。地球温暖化に関する最新の現状を、数値でなく本質のとらえ方をメインで紹介するとともに、世界中でここ1,2年の間に行われてきた地球温暖化防止に関するイノベティブな取り組み事例(官民どちらも)を紹介し、自身の経験談を織り交ぜつつ、これからの時代の環境活動において抑えるべきポイントを整理して示した。				

実施日	10月30日	主催者	花巻市市民生活部生活環境課	推進員	高橋 功
		対象	環境管理推進員会議メンバー 59名		
研修会	環境管理推進員会議				
テーマ	地球温暖化の現状と職場での節電について				
内容(推進員より)	花巻市市民生活部生活環境課主催の環境管理推進員会議研修会での依頼でしたので、「電気」「汗(窓からの冷気の侵入)」「自動車」について、手づくりの作品を使った体験を交えながらお話をさせていただきました。特に「ブラインドなどを利用して窓からの冷気の侵入に困っている」との情報があったことから、窓にレースのカーテンのようにビニールシートを吊るすだけで視界を遮ることなく、5度も部屋の温度が上がることをお伝えしました。また、昨年北海道で大規模停電(ブラックアウト)が発生したことから、模型等を使いながら災害時の対応等についても紹介させていただきました。				

実施日	11月2日	主催者	金ケ崎町生活環境課	推進員	千葉 理恵
		対象	一般100名(子供から高齢者まで)		
研修会	金ケ崎町生活環境フェア				
テーマ	地球温暖化・エネルギー・プラスチックごみ問題・リサイクル				
内容(推進員より)	金ケ崎町主催の「生活環境フェア」において、環境についてのパネル展示及び体験コーナーを設置し、紙漉体験、自転車発電体験、比較発電体験などを実施しました。推進員としてエネルギーのかばん体験説明や展示説明補助を行った。				

実施日	11月5日	主催者	岩手県消費者大会実行委員会	推進員	木村 廣子
		対象	一般市民39名		
研修会	岩手県消費者大会第2分科会				
テーマ	家庭から考えるプラスチックごみ				
内容(推進員より)	家庭から「ゴミ」として排出されるプラスチックごみの処理の流れとリサイクル。どんなものにリサイクルされているか。岩手県の海洋漂着物の現状と発生抑制について エコショップ認定店の活用のススメについても説明した。				

実施日	11月6日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	県内事業所エコスタッフ7名		
研修会	令和元年度エコスタッフ養成セミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のポイント				
内容(推進員より)	午前中は、エコドライブについてDVDを使いながらエコドライブのポイントについて、そして午後は「職場のエコは家庭から」というサブタイトルで、電気・事務所(住宅)、自動車についてエコのポイントや、県内の企業が取り組んでいる事例、そして昨年北海道で発生した大停電(ブラックアウト)を教訓に、エコスタッフとしての対応について、手作りの作品を使い実験を交えながらお話しさせていただきました。				

実施日	11月6日	主催者	大船渡市立大船渡北小学校	推進員	川邊 弥生
		対象	5学年児童18名		
研修会	地球温暖化を防ごう隊事前学習				
テーマ	地球温暖化について				
内容(推進員より)	「地球温暖化を防ごう隊～今出来る事から始めよう～地球温暖化の最新情報 未来の地球と私たちの暮らし～の」パワーポイントを活用①2100年未来の天気予報 ②2100年未来の台風情報 ③世界の平均気温 ④二酸化炭素の性質 ⑤温暖化の影響 ⑥私たちができること ⑦みんなでクールチョイスのクイズ形式 ⑧ハチドリのひとつ・エコ風呂敷の紹介と簡単な包み方・レジ袋の削減・エコチェックアンケート実施。				

実施日	11月14日	主催者	くじゃく会	推進員	川邊 弥生
		対象	一般15名		
研修会	くじゃく会第4回研修会				
テーマ	エコライフについて考える				
内容(推進員より)	身近にできる省エネの取り組みと地球温暖化の最新情報。2100年未来の天気予報。温暖化の影響、私たちにできること。緩和策と適応策。ゴミの減量について岩手県のゴミ速報値からごみの排出量を市町村別に説明。花巻市のゴミ排出量。ゴミを減らす初級編・中級編・上級編の取り組み、食品ロス、フードマイレージ、ハチドリのひとつ。風呂敷の歴史、エコ風呂敷の紹介と簡単な包み方、エコチェックアンケート実施。				

実施日	11月17日	主催者	花西地区まちづくり協議会	推進員	川邊 弥生
		対象	一般14名		
研修会			花西地区まちづくり協議会生活環境部会「地球温暖化とエネルギー」		
テーマ			地球温暖化とエネルギーについて		
内容(推進員より)			身近にできる省エネの取り組みと地球温暖化の最新情報。2100年未来の天気予報。温暖化の影響、私たちにできること。緩和策と適応策。ゴミの減量について岩手県のゴミ速報値からごみの排出量を市町村別に説明。花巻市のゴミ排出量。ゴミを減らす初級編・中級編・上級編の取り組み、食品ロス、フードマイレージ、ハチドリの一としく。冬の節電のアイデア21の紹介。エコ風呂敷の簡単な包み方。エコチェックアンケート実施。		
実施日	11月19日	主催者	花泉地域公衆衛生組合連合会	推進員	川邊 弥生
		対象	花泉地域公衆衛生組合員47名		
研修会			花泉地域公衆衛生組合長研修会		
テーマ			ごみ、省エネ、節電、3R		
内容(推進員より)			「ごみ」の減量・リサイクル・家庭で実践できる「節電・省エネ」について 2100年未来の天気予報。温暖化の影響、私たちにできること。緩和策と適応策。ゴミの減量について岩手県のゴミ速報値からごみの排出量を市町村別に説明。一関市のゴミ排出量。ゴミを減らす初級編・中級編・上級編の取り組み、食品ロス、フードマイレージ、ハチドリの一としく・家庭ですぐ出来る冬の取り組み21の紹介。エコ風呂敷の簡単な包み方・エコチェックアンケート実施。		
実施日	11月21日	主催者	一戸町立一戸南小学校	推進員	吉田 偉峰
		対象	4～6年児童41名、教員4名 合計45名		
研修会			理科学習会		
テーマ			宇宙、地球の魅力探検、地球温暖化		
内容(推進員より)			宇宙と地球の位置関係と、地球温暖化の基礎知識。地球と生命の関わりと、身近な環境問題への対策。		
実施日	11月24日	主催者	雫石環境パートナーシップ	推進員	工藤 好博
		対象	一般15名		
研修会			～2030SDGsカードゲーム体験から地球温暖化を考える～		
テーマ			気候変動		
内容(推進員より)			『気候変動の話』と題して、当日の主たる講座(SDGsのカードゲーム)に先立ち、地球温暖化とSDGsの関りについて講演。IPCCの「1.5℃特別報告書」とSDGsの「気候変動に具体的な対策を」の強調点を伝える。		
実施日	12月7日	主催者	八幡平市公衆衛生組合	推進員	川邊 弥生
		対象	八幡平市公衆衛生組合員51名		
研修会			八幡平市ごみ減量化を考える市民の集い		
テーマ			ごみ減量～笑顔で作る明るい未来～		
内容(推進員より)			ごみ減量化を考える市民の集い～家庭で出来る食品ロス削減について～を詳しく説明。最初に2100年未来の天気予報。温暖化の影響、私たちにできること。ゴミの減量について岩手県のゴミ速報値からごみの排出量を市町村別に説明。八幡平市のゴミ排出の現状。ゴミを減らす初級編・中級編・上級編の取り組み、食品ロス、フードマイレージ、ハチドリの一としく。家庭ですぐ出来る冬の取り組み21の紹介。エコ風呂敷の簡単な包み方。エコチェックアンケートの実施。		
実施日	12月11日	主催者	花巻市東和総合支所地域支援課地域支援室	推進員	若生 和江
		対象	平成31年度東和シニア大学受講生(60歳以上)(登録者40名)		
研修会			平成31年度 東和シニア大学大8回		
テーマ			暮らしに密着した取り組みやすい環境への配慮について		
内容(推進員より)			「地球とお財布にやさしいエコな暮らしのすすめ」 ・今地球に起きている事の話 ・地球温暖化の現状と対策 ・ごみ問題について ・暮らしの中でできるエコの提案 ・市民、行政、みんなで目指す省エネと節約 ・未来に向けて、私たちができる事		
実施日	12月14日	主催者	(株)コミュニティライフずくいし	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般11名事務局2名		
研修会			ようこそ雫石町へ転入者応援カフェ		
テーマ			雫石町から見える星空・光害		
内容(推進員より)			宇宙と地球の位置関係と、地球温暖化の基礎知識。光害と星空環境、身近な環境問題への対策。		
実施日	12月21日	主催者	一般社団法人 ことのは医療研究所	推進員	吉田 偉峰
		対象	親子10名		
研修会			自由研究に役立つ、冬の星座		
テーマ			星空のお話し、星空環境について親子で楽しんで学ぶ		
内容(推進員より)			光害と星空環境、身近な環境問題への対策、地球温暖化の基礎知識。 旬の星々・天体現象と観測地周辺環境の影響。		

実施日	1月18日	主催者	日詰15区いこいの家	推進員	川邊 弥生
		対象	大人16名		
研修会	令和元年度第四回いこいの家				
テーマ	エコな生活と身近にできる取り組み				
内容(推進員より)	エコな生活への関心を高める 身近にできる省エネの取り組みとしてレジ袋の削減と風呂敷活用については、風呂敷の歴史から風呂敷の種類・サイズ・模様・使い方など資料をもとに説明し各自持ち寄った風呂敷で包み方の体験を行った。エコチェックアンケートの実施。				

実施日	1月24日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	事業所35名		
研修会	令和元年度エコスタッフ養成セミナー				
テーマ	エコドライブ、事業所における省エネ活動のポイント				
内容(推進員より)	<p>・エコドライブ解説では、単なる運転テクニック習得で終わることなく、これは地球温暖化防止活動の一手段であることを知る。そしてエコドライブの本質は、自転車利用や楽しみを見つけながら歩くことで、最終的には車の利用を減らすことにであると伝える。環境行動は、単なる心地よいから継続するから、健康に良いから継続するなどの視点も交えて考える必要がある。</p> <p>・事業所における省エネ活動のポイント発表では、①環境にやさしいとは何かは、インプットとアウトプットを含めた全体を見て判断する必要がある。②自分が行っている環境にやさしい行動に気づく。③個人の持つ「環境力」は、知識×気づき×行動×継続、の掛け算で決まり、一つでもゼロがあれば、全てゼロになる。④仮に環境にやさしい物と判断しても、家庭や会社に導入した場合、それが本当に期待した効果が出るのかまで深く考える必要がある。また、導入後の初期トラブルが発生する可能性があるが、仲間に聞くなど丁寧に分析して対応すれば容易に対応できる。</p> <p>・グループ討議では、参加者の職種や経験から自由に話がなされた。自身の環境に対する考えを披露することで、新しい考えに触れるなど中身の濃い内容になった。・グループごとの発表では、私自身の企業や環境マネジメント経験から、出来るだけ参加者に有用な具体例を交えたアドバイスを心がけた。</p>				

実施日	1月26日	主催者	くずまき環境パートナーシップ	推進員	下天 広浩
		対象	一般10名 取材2名		
研修会	2030SDGsカードゲーム体験から考える葛巻のこと				
テーマ	地球温暖化等環境問題全般のこと				
内容(推進員より)	<p>・葛巻町の環境エネルギー政策のこれまで</p> <p>・SDGsカードゲーム体験(高野ファシリテーター)</p> <p>・カードゲーム体験からの振り返り(高野ファシリテーター)</p> <p>・まとめ(世界はつながっていること、自分自身が起点となること)</p>				

実施日	2月6日	主催者	奥州市 海老島お茶っ子の会	推進員	川邊 弥生
		対象	一般17名		
研修会	エコバック普及について				
テーマ	ごみ減量について				
内容(推進員より)	身近にできる省エネの取り組みや冬の節電について説明。レジ袋削減に向けた、風呂敷活用と参加者で実際に包みました。レジ袋は年間1人あたり300枚も消費しており、原油換算にすると2.4Lにもなり、岩手県民がレジ袋をやめると25Mプール8.9個分の原油が削減できる事。エコチェックアンケート実施。				

実施日	2月6日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 良和
		対象	県内事業所40名		
研修会	環境マネジメントスキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイス				
内容(推進員より)	担当したDグループのメンバーは、産廃業者・建設業・自治体職員・サービス業の4名であった。グループ内相互に活発な意見を出し合い、業種の異なる意見が聞けて良かったと思われる。事例発表の前野モータース前野社長の話も、会社として環境に取り組む過程で、省エネセンターからアドバイスを受け、その指摘事項を前向きに省エネ改善に取り組み、推進する上での悩みや今後の課題までを分かり易く発表されました。また経営理念にも会社の考えが素直に述べられるなど、共感する部分の多い内容でした。その内容を受け、グループ内では、例えば原単位を取り入れた比較で、売り上げに左右されない評価が出来ることを伝えた。単なる表面的な解決策を追わず、一歩踏み込んだ議論を行い、各社の立場や経験からの自由な議論がなされた。その結果、前野モータースさんの日常の環境行動につながる方法を考えるにはどうしたらよいかと中身の濃い討議が出来た。				

実施日	2月6日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	高橋 功
		対象	県内事業所40名		
研修会	環境マネジメントスキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイス				
内容(推進員より)	省エネ活動に向けたグループ討議の支援者として参加させていただき、「①電力使用量の削減では、照明はLED化したことで満足することなく、消し忘れ防止についても考えることが必要。温水タンクの保温対策をしてみようか。②水の削減では、洗車等に使う水には地下水の活用を考えてはどうか。③その他として、工具を探す無駄を防止するため整理整頓を心がける」など助言させていただきました。				

実施日	2月6日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	鳥山 和夫
		対象	県内事業所40名		
研修会	環境マネジメントスキルアップセミナー				
テーマ	事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイス				
内容(推進員より)	県内企業の環境マネジメントモデルケースをもとに参加者が改善点などを検討し提案を作成した。				

実施日	2月6日	主催者	岩手県環境生活部環境生活企画室	推進員	花澤 淳
		対象	県内事業所40名		
研修会			環境マネジメントスキルアップセミナー		
テーマ			事業所における省エネ活動のグループ討議時にアドバイス		
内容(推進員より)			県内事業所における省エネ等の環境マネジメントを推進する人材育成強化を目的とする「環境マネジメントスキルアップセミナー」において、事業所における省エネ活動のグループ討議(改善案の検討)時に下記のアドバイスを行った。・環境分野に関する知識が少ないことは積極行動を妨げるものではない(分野が広いので、自分が得意なことが必ず活かせるところがある)。・対策の効果の大きさに優先順位をつけ、効果の大きなものから取り組む。・対策時は使用機器・部門業務・会社経営といった各レベルにおいて“時間的影響(過去～現在～数十年後)”と“空間的影響(作業範囲、商圏、波及効果等)”を意識して検討する必要がある。・対策に要する経営資源として“ヒト”が特に重要なので、トップマネジメントがどうか(今回は素晴らしい)、スタッフ環境がどうか(今回は家族経営)といったことを勘案することが重要。・経営理念も加味し、現在にビジネス形態に囚われない対策を考えるべき。・社員の意識改善は、社内から変えるのが難しければ社外(顧客)から間接的に変えることもできる(例:“ブランド力向上による会社のエコイメージアップ”と“顧客とのコミュニケーションの強化”)によって、顧客の声から社員意識を変える)。・この場かぎりでなく、このグループの繋がりを各社で活かしてほしい。		

実施日	2月6日	主催者	金ヶ崎町	推進員	林 俊春
		対象	行政職員		
研修会			令和元年度職員研修 地球温暖化対策講座		
テーマ			地球温暖化対策とパリ協定、SDGsについて		
内容(推進員より)			「地球温暖化と世界の動向」と題して以下のことを要点として講演をした。 1.2100年ごろの日本の夏の温度状況予想の説明。 2.持続可能な社会とはどのようなものかをピラミッド型のモデルにて説明。 3.1950年頃の世界の人口は25億人であり、2050年頃には、世界の人口は、100億人が予想されることを説明。 4.地球の温暖化も人口増加と関係し、地球上で多くの人が生活するにはそれに比例して多くのエネルギーを必要とすることを説明。 5.化石燃料の使用の結果、地球温暖化がもたらされ、パリ協定が発効され、その内容について解説。 6.SDGsと環境問題について説明し、地球の限界が見えてきているという危機感の共有の結果がSDGsであり、SDGsを手掛かりに世界を変えるという強い意志の表れを解説。		

実施日	2月8日	主催者	三陸春風の会 岩山支部	推進員	千葉 理恵
		対象	一般10名		
研修会			企業にとっての地球温暖化対策		
テーマ			企業の環境配慮の取り組みについて		
内容(推進員より)			一般消費者が温暖化対策に寄与できる一つの手段として企業がどのような地球温暖化対策を実施しているかについて説明をした。温暖化対策の経緯と現状、国や県の施策と取り組み、企業の取り組み実例として企業における環境対策実施事例、Ecoアクション受賞企業の取り組み環境報告書や環境ラベルを用いて説明し、消費行動を見直すきっかけとなるような情報提供をした。		

実施日	2月13日	主催者	つくしの会	推進員	徳谷 喜久子
		対象	高齢者女性24名		
研修会			エコカフェ		
テーマ			地球温暖化		
内容(推進員より)			・「つくしの会」のメンバーで、IELの会員の鈴木淑子さんの地球温暖化対策の導入から入る ・気候変動について、2018年の日本での災害と、昨年台風19号について ・地球温暖化に寄与しているCO2の濃度の上昇の説明から ・「家庭からのCO2排出量」用途別内訳の円グラフを配布 ・「家庭の中で電気を沢山使っている電化製品は？」の円グラフを配布 パワポの使用不可の環境だったため、各人にコピーして配布した上で説明。家の中での生活が殆どの高齢者のため、身近な家電製品について主に説明した。		

実施日	2月15日	主催者	奥州市環境市民会議「奥州めぐみネット」	推進員	花澤 淳
		対象	一般42名		
研修会			「2030SDGsカードゲーム体験から地球温暖化対策を考える」		
テーマ			地球温暖化の現状や対策		
内容(推進員より)			講演タイトル:「気候変動」 気候変動について、前半は“世界で今現在どういったことがなぜ起こっていて、今後どうなっていくか”について質問を交えながら解説し、後半は最近の気候変動対策の急激な高まりについて、事例を交えながら紹介してその要因を解析し、それをもとにこれからの環境保全対策のキーポイントを示すことで、参加者一人一人が気候変動問題とどう向き合っていけばよいかを考えるきっかけづくりを図った。		

実施日	2月16日	主催者	岩手県立県北青少年の家	推進員	吉田 偉峰
		対象	一般120名		
研修会			ステラパル冬まつり		
テーマ			地球の星空環境・地球温暖化とエコ		
内容(推進員より)			光害と星空環境、天体観測地周辺環境への影響。 地球温暖化の基礎知識、身近な地球温暖化対策、光害対策。		

実施日	2月23日	主催者		推進員	高橋 功
		対象			
研修会	花巻子どものまち「未来町」				
テーマ	環境についての学習と発電体験など				
内容(推進員より)	<p>・「花巻子どものまち」会場のアカデミーブースで、「環境についての学習と発電体験」、「エコな遊び」の依頼でしたので、地球温暖化を防ごう隊員ノートや手づくりのブック本・教材を使い、地球温暖化の仕組みやいろいろな発電方法・温暖化防止に向け冷蔵庫のドアは開けっ放しにしない等“電気を無駄に使わない”ことについて、模擬体験していただきながらお話を聞いていただいた。また、遊びコーナーでは、すすきでつくった“輪ゴム鉄砲”・段ボールとビニール袋でつくった“エアカーリング”で楽しく遊んで頂きました。</p>				

実施日	3月9日	主催者	三陸春風の会	推進員	吉田 偉峰
		対象	高齢者9名		
研修会	いろいろなSF作品で学ぶ 地球温暖化と環境のこと				
テーマ	地球温暖化				
内容(推進員より)	<p>光害と星空環境、身近な環境問題への対策、地球温暖化の基礎知識。 SF作品に見られる気候変動・環境問題の描写と学術的考証。</p>				

●いわて森のゼミナール運營業務

14

児童・生徒をはじめ広く県民を対象に、森林・林業に対する理解を深めていただく機会を提供することを目的に、「森林学習会」等を開催。

- 森林学習会 -

No.1	実施日	8月27日	実施校	洋野町立帯島小学校	講師	中野 雅幸氏 小原 良樹氏 辻鼻 均氏
			対象	6年生17名		
内容			学校林活用			
No.2	実施日	8月28日	実施校	宮古市立山口小学校	講師	中沢 勤氏
			対象	5年生40名		
内容			学校林活用			
No.3	実施日	9月4日	実施校	葛巻町立小屋瀬小学校	講師	川村 晃寛
			対象	全学年26名		
内容			樹木観察			
No.4	実施日	9月6日	実施校	大船渡市立越喜来小学校	講師	千田 永久世氏 千田 耕基氏
			対象	3年生11名		
内容			樹木観察			
No.5	実施日	9月12日	実施校	一関市立滝沢小学校	講師	千田 典文氏 東海林 英四郎氏
			対象	1～2年生50名		
内容			樹木観察			
No.6	実施日	9月13日	実施校	盛岡市立羽場小学校	講師	川村 晃寛氏 川村 冬子氏
			対象	2年生27名		
内容			樹木観察			
No.7	実施日	9月19日	実施校	奥州市立胆沢愛宕小学校	講師	菅原 民子氏 高橋 扶和氏
			対象	5年生7名		
内容			樹木観察			
No.8	実施日	9月19日	実施校	盛岡市立玉山小学校	講師	浜津 ミサノ氏 泉 桂子氏
			対象	1～4年生18名		
内容			樹木観察			
No.9	実施日	9月20日	実施校	大船渡市立赤崎小学校	講師	千田 永久世氏 千田 耕基氏
			対象	5学年23名		
内容			学校林活用			
No.10	実施日	9月25日	実施校	宮古市立崎山小学校	講師	齋藤 眞琴氏 平塚 喬氏 岩間 良明氏
			対象	1年生24名		
内容			樹木観察			
No.11	実施日	9月27日	実施校	北上市立口内小学校	講師	菅原 民子氏 高橋 扶和氏
			対象	1～2年生10名		
内容			樹木観察			

No.12	実施日	10月1日	実施校	花巻市立内川目小学校	講師	高橋 修氏
			対象	1～2年生4名		
内容			樹木観察			
No.13	実施日	10月3日	実施校	奥州市立大田代小学校	講師	阿部 永宏氏 菅原 民子氏 早川 京子氏
			対象	全学年18名		
内容			樹木観察			
No.14	実施日	10月4日	実施校	盛岡市立大慈寺小学校	講師	泉 桂子氏 田村 正武氏
			対象	3年生20名		
内容			樹木観察			
No.15	実施日	10月8日	実施校	奥州市立伊手小学校	講師	佐藤 勤氏 小沢 宗氏
			対象	5年生8名		
内容			樹木観察			
No.16	実施日	10月8日	実施校	久慈市立夏井小学校	講師	中野 雅幸氏 小原 良樹氏 辻鼻 均氏
			対象	1～4年生13名		
内容			学校林活用			
No.17	実施日	10月19日	実施校	盛岡市立津志田小学校	講師	川村 晃寛氏 岡田 菜月氏
			対象	子供会20名		
内容			学校林活用			
No.18	実施日	10月25日	実施校	遠野市立達曾部小学校	講師	道原 僚氏 荒矢 寿峰氏
			対象	5～6年生16名		
内容			樹木観察			
No.19	実施日	10月28日	実施校	一関市立花泉小学校	講師	千田 典文氏
			対象	5年生22名		
内容			樹木観察			
No.20	実施日	10月29日	実施校	盛岡市立東松園小学校	講師	松木 佐和子氏 道原 僚氏
			対象	1年生27名		
内容			樹木観察			
No.21	実施日	10月30日	実施校	雫石町立七ツ森小学校	講師	川村 晃寛氏
			対象	3年生16名		
内容			樹木観察			
No.22	実施日	11月6日	実施校	岩泉町立釜津田小学校	講師	川村 晃寛氏
			対象	全校生徒6名		
内容			学校林活用			
No.23	実施日	11月13日	実施校	大船渡市立綾里小学校	講師	千田 永久世氏 千田 耕基氏
			対象	1～2年生26名		
内容			樹木観察			

No.24	実施日	2月10日	実施校	久慈市立小久慈小学校	講師	中野 雅幸氏 小原 良樹氏
			対象	5年生42名		
内容			樹木観察			
No.25	実施日	2月17日	実施校	一関市立黄海小学校	講師	千田 典文氏
			対象	5年生15名		
内容			樹木観察			

森の実践ゼミナール活動報告書

団体名		確認印	受託者	関係者	起案者
一戸町観光天文台					
開催日時	2019年9月4日(水)14:30~16:00		1.50	出席者 ● 川村 晃寛 吉田 偉峰 櫻井 則彰	
開催場所	一戸町観光天文台				
開催回数	第1回	開催目的	森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等		

・観光天文台の敷地を改善し、樹木観察の場所としても活用したい。長年構想を練ってきた台長・吉田 偉峰氏の意向を受け、天文台敷地内を周回し、今後の策を練る。
敷地内は樹木が鬱そうと生い茂り消防の指摘(火災の際に避難がうまくできない)があり、この夏に家族が総掛かりで建物から3~5mの範囲の木を伐採した。
敷地内に簡単な道をつけ、樹木観察ができるようにしたい。敷地内には三角標準点もあり、その場所は少し小高くなっている(眺望もよい)。
樹木の種類も多く、樹種の名札を付け学習できるようにする。来年度の森林税を活用する県民促進事業に応募し、資金を少しずつ獲得し、敷地内整備を進めたい。

活動内容

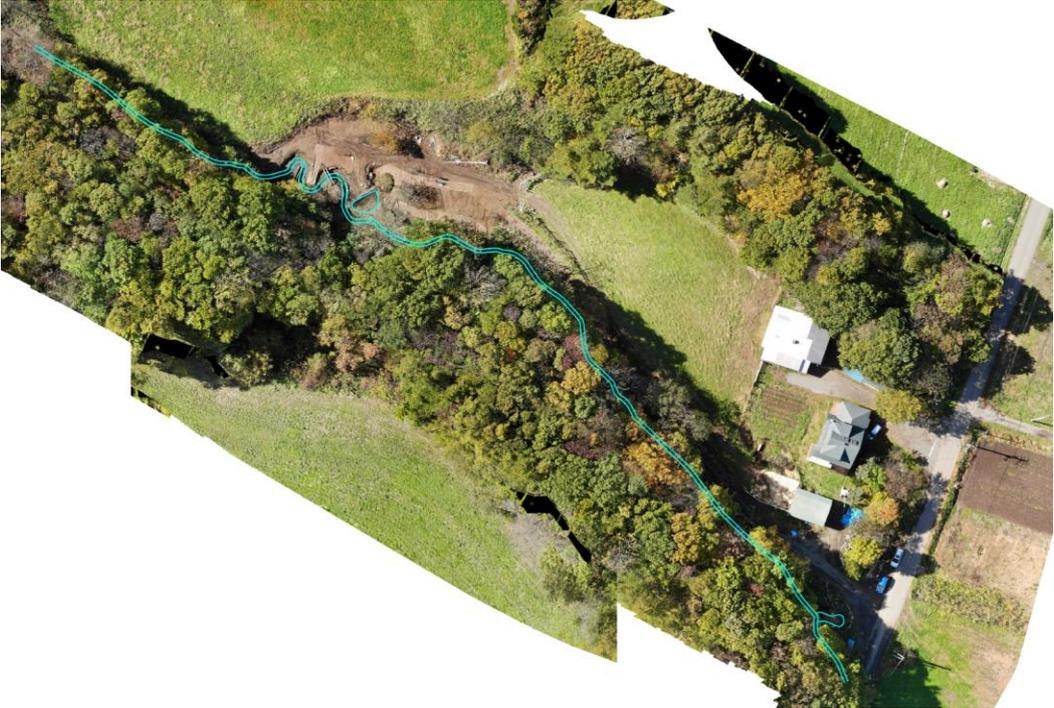


森の実践ゼミナール活動報告書

森の実践ゼミナール活動報告書					
団体名		確認印	受託者	関係者	起案者
一戸町観光天文台・アドナイ・エレの調査も同日実施					
開催日時	2019年10月20日(日)13:00~15:00		2.00	出席者 ● 川村 晃寛 田屋 謙一	
開催場所	一戸町観光天文台				
開催回数	第1回	開催目的	森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等		
活動内容	<p>ドローンを用い現地の地形(敷地内の伐採整備の範囲確認)、周辺の樹木、天文台から眺望など、今後環境学習を進める上での各種情報を取得。天文台からの眺めは気分を高揚させ学習にも身が入ることを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>				

森の実践ゼミナール活動報告書					
団体名		確認印	受託者	関係者	起案者
アドナイ・エレのプロムナード					
開催日時	2019年9月4日(水)16:30~18:00		1.50	出席者 ● 川村 晃寛 戸田 清志 櫻井 則彰	
開催場所	きまぐれ工房めいめい亭 アドナイ・エレ				
開催回数	第1回	開催目的	森ゼミ候補地区(キーパーソン)の意思確認等		
活動内容	<p>・奥中山UDクリエーション戸田 清志氏のお店(JR奥中山駅前の気まぐれ工房めいめい亭(雑貨カフェ)を訪問しお話を伺う。現地は戸田氏の自宅傍の小川が流れる湿地帯で、そこをビオトープと遊歩道を組み合わせ、多くの人々が訪れる場所にしたい。トンボ、ホタル、戸田さんが飼育する羊がいる。遊歩道は障害者や心の病む人に安らぎと癒しを与える場所にする。これまで戸田さんが独力で140万円の中古のバックホーを購入し整備してきた。土を掘り起こしたら不法投棄したゴミが出来てきた。ビニール、自転車、バイクなど、これらを処分し砂利を入れた。遊歩道は車椅子が入るため現在はシートで覆う。車椅子で乗り入れ薔薇を見る。多くの障害者、心病む人を受け入れ、休める場所を作りたい。一戸、二戸は県内でも自殺者が多い。ふらりと行って和める場所としたい。自分が帰れる場所を持つことが大事、昆虫がいて、動物がいて、樹木があり、季節を感じられる場所作りを目指す。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>				

森の実践ゼミナール活動報告書					
団体名		確認印	受託者	関係者	起案者
アドナイ・エレのpromナード					
開催日時	2019年9月28日(土)10:00~13:00		3.00	出席者 ● 川村 晃寛 川村 冬子	
開催場所	アドナイ・エレ				
開催回数	第2回	開催目的	森ゼミ候補地区の調査等		
活動内容	<p>アドナイ・エレの小川に沿うpromナード、この地に生育する樹種にどのようなものがあるか調査を実施した。森林インストラクター2名が3時間をかけ調査を行う。此岸にヤマネコヤナギ、ハンノキ、オニグルミ、ズミ、ニワトコ、カンボク、ノイバラ、クワ、ノリウツギ、対岸奥からミズナラ、クリ、コブシ、サワグルミ、ハクウンボク、ハウチワカエデ、ハリギリ、オオバボダイジュ、オオモミジ、サワシバ、ヤマウルシ、ノリウツギ、ウワミズザクラ、オオカメノキ、ミズキ、トネリコ、カンボク、シナノキ、アズキナシ、イヌエンジュなどの多様な樹種を確認した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  </div>				

森の実践ゼミナール活動報告書					
団体名		確認印	受託者	関係者	起案者
アドナイ・エレのプロムナード					
開催日時	2019年10月20日(日)10:00~12:00		2.00	出席者 ● 川村 晃寛 田屋 謙一	
開催場所	アドナイ・エレ				
開催回数	第2回	開催目的	森ゼミ候補地区の調査等		
活動内容	<p>ドローンを用い現地の地形(敷地内の樹木の到達範囲を確認)、周辺の樹木と全体の眺望など、今後環境学習を進める上での各種情報を取得。アドナイ・エレには多様な樹種が認められ、四季を通じた環境学習、自然学習に最適な場所であることを確認する。</p> 				

森の実践ゼミナール研修会			
行事名			
第1回研修会			
開催日時	2019年10月6日(日) 13:00～16:30	3.50	出席者 ● 川村 晃寛 若生 和江 小山田 四一 吉田 偉峰 戸田 清志 櫻井 則彰
開催場所	とっこの森		
開催回数	第1回	開催目的	
活動内容	<p>・第1回研修会では、アドナイ・エレを主宰する戸田氏の身体障害者、心に病がある人が訪れ、癒される空間・森・ビオトープ作りを目指す考えを聴き、評価委員である若生氏、小山田氏、森林インストラクター川村氏のアドバイスを受けた。戸田氏は自身が所有する小さな水路を中心とした土地を独自に開拓し森づくりを行ってきた。中古のバックホーを140万円で購入し、土を掘り、道を整備するなど。その努力には敬意を表したい。今後来年度に募集される県の県民参加の森林づくり促進事業を利用するかどうか課題である。川村氏からは、他の補助金も同時に探すのも一手段であるとのアドバイスがある。</p> <p>・吉田偉峰氏が勤務する一戸町観光天文台を星の観察拠点の他に、樹木観察の場所としても整備したいとの意向を受け、今年度の森ゼミ候補地とした。そのため天文台の敷地内に繁茂した樹木をある程度伐採し整備する必要がある。県民参加の森林づくり促進事業を利用し伐採費用を捻出することが可能かどうか検討が必要。敷地内整備だけでは、費用は認められないので、森林学習会(今年度葛巻町小屋瀬小学校が森林学習会と天文台訪問をセットで企画)などと合わせ、環境教育に利用するための費用として認めてもらうなどの対策が必要となる旨が話し合われた。</p>		
			

森の実践ゼミナール研修会

行事名

情報交換会

開催日時	2019年10月6日(日) 10:00～12:00		2.00	出席者 ● 川村 晃寛 若生 和江 小山田 四一 吉田 偉峰 戸田 清志 櫻井 則彰
開催場所	とっこの森			
開催回数	第1回	開催目的	森林環境学習地域プラン作成に向けての情報・意見交換	

・2019年度に新たに導入された森の実践ゼミナールの情報交換会(午前)と第1回研修会(午後)を森林インストラクターならびに県の森林づくり県民税事業評価委員である小山田四一氏が所有する二戸市「とっこの森」で実施した。とっこの森は平成28年に実践ゼミで取り上げた場所で3年ぶりの訪問である。この日は今年度の森の実践ゼミナール候補地である一戸町奥中山の戸田清志氏、同じく一戸町高森高原の吉田偉峰氏が参加し、今後の森づくりの参考とするため小山田氏の考え、理念に耳を傾けた。

・情報交換会では、小山田氏が整備したとっこの森の中を縦横する小道を歩きながら巡回し、そこに生育する多くの樹種と森の動物の共存(狐、リス、蝶など)、小山田氏が展開する各種企画した事業(近所の子どもを招いての薩摩芋掘り会、自然観察会)の実施状況などを確認した。今年度の森の実践ゼミナールの候補地となる戸田氏、吉田氏の2人には森づくりを考える上で大いに参考になったと思われる。

活動内容



森の実践ゼミナール研修会

行事名

第2回研修会

開催日時	2020年2月22日(土) 13:30～16:00	2.50	出席者 ● 川村 晃寛 若生 和江 戸田 清志 櫻井 則彰
開催場所	アイーナ6F 602会議室		
開催回数	第2回	開催目的	

活動内容

・NPO法人UDクリエイション代表戸田 清志氏がその後のご自身の森づくりの経過を説明される。(PPT資料により説明) 過疎化が進んでいる地域だからこそできること！小さい単位の地域だからこそできること！少ない人口だから出来ること！自然が豊かだからこそできること！地域の潜在能力を引き出し結び合い、その地域ならではの地方創生をめざす考え方を説明される。4つの柱として地域産業、ICTの活用、福祉、自然を融合させ、内発的発展による地域創生を目指す。自然と動物が障害ある人や子どもたちにとって宝物であること、里地環境づくり(ビオトープ作り)を通じ、地域の中で人々が補完し合える関係を作ること、一戸の自然環境を大人、子どもが楽しめる場にしようとする考えに基づく構想を述べられる。

・森林インストラクターの川村 晃寛氏は、昨年実施した森ゼミ該当地2箇所のドローンによる上空からの映像を説明するとともに、戸田氏の考えが有用かつ斬新であるため、これらを取り入れ今後森林環境学習地域プランの作成にあたる。昨年9月28日の戸田氏の森の現地調査では、此岸にヤマネコヤナギ、ハンノキ、オニグルミ、ズミ、ニワトコ、カンボク、ノイバラ、クワ、ノリウツギ、対岸奥からミズナラ、クリ、コブシ、サワグルミ、ハクウンボク、ハウチワカエデ、ハリギリ、オオバボダイジュ、オオモミジ、サワシバ、ヤマウルシ、ノリウツギ、ウワミズザクラ、オオカメノキ、ミズキ、トネリコ、カンボク、シナノキ、アズキナシ、イヌエンジュなどの多様な樹種を確認。豊富な樹種は、今後次年度の情報意見交換会の場所、あるいは一般市民を対象とした森林学習会の場所としても活用できる。

・若生氏は県民参加の森林づくり促進事業企画募集の概要を説明。間伐だけではなく、学習会の講師派遣などに有効活用できる。積極的な利用が望まれる。戸田氏の理念、その場所、森を見て、生きてて良かった、生まれてきてよかったと思える場所づくりのため一人で奮闘してきた戸田氏の考え、行動に共鳴するとの感想を述べられる。



- 外部との連携事業

●外部との連携事業

高等学校や大学と連携し講演を行っている

15

	事業名	県立杜陵高校環境講義「震災復興とSDGs」
	活動期間・日時	令和1年9月6日(金) 第1講 12:10~13:10・第2講 17:00~18:00
	場所	県立杜陵高校 講堂
	協力者	担当教員:下山淳教諭・生徒及び教員 40名
内容	<p>学校教育の一環として東日本大震災について、学んできている。表記の内容について依頼に基づいた講義を行った。石炭の利用によって産業革命が起こり、以来化石エネルギーによって産業は進展して経済的な豊かさを現在まで享受してきた。しかし、地球温暖化の原因となる温室効果ガス・特にCO₂は、数十万年間180ppm~300ppmで変動してきたが、一気上昇して、2018年に400ppmを超えて上昇している。この危機感の中で世界は、パリ協定において2050年までに温室効果ガスゼロを約束した。今後再生エネルギーへの変換は必須である。このことを達成することで「誰一人置き去りにしない」SDGsは、人口減少如実な被災地の震災復興に於いても進めなければならない。</p>	
	事業名	岩手大学全学部対象の「持続可能なコミュニティー実践学」講義
	活動期間・日時	令和1年6月5日(水) 18:30~20:10
	場所	岩手大学北桐ホール
	協力者	山崎憲治特任教授・中島清隆准教授・人文社会学部1年生主体に全学部・一般社会人対象 250名
内容	<p>100年の計で作られた小岩井農場128年の歴史から、フューチャーデザインによるバックキャストिंगでの企業の取り組みを学ぶこと、地球温暖化の原因と対応策、SDGsの環境・ベースとなる「誰一人置き去りにしない」・温暖化に具体的な施策・人口が爆発的に増加する世界の食糧生産のもととなる生物多様性の維持、温暖化による水源の枯渇などのほか、2050年までに世界の環境先進国は化石エネルギーからの脱却、再生可能エネルギーへの変換に向けて革命的に取り組んでいることなど、グローバルな思考を持ってもらう講義を行った。</p>	
	事業名	東北地方ESD活動支援センターESDネットワーク会議ならびに東北ESD/SDGsフォーラムin 仙台「東北の未来をつくるSDGs」
	活動期間・日時	2020年2月9日(日)
	場所	仙台国際センター
	協力者	環境省東北地方事務所、東北地方ESD活動支援センター、EPO東北
内容	<p>1.東北地方ESD活動支援センターESDネットワーク会議1)話題提供:地域循環共生圏(東北地方環境事務所谷津正吉氏)環境省が進める地域資源を活用し地域を活性化する説明図(マンダラ)の概要。2)話題提供:小学校におけるSDGsを導入したカリキュラム(気仙沼市鹿折小学校校長浅野亮氏)SDGsを意識し子どもたちに自主性を身につけるための各種実践例の紹介。2.ESD/SDGsフォーラムin仙台「東北の未来をつくるSDGs」1)基調講演「SDGsを自分ごと化するための視点」神田外国語大学准教授石井雅章氏 SDGsの概要と自分ごと化するための方法論を解説。SDGsの担い手を育む学びが必要である。2)話題提供(櫻井)一昨年12月に開催された盛岡での東北ESDフォーラム後の岩手県での動き(SDGsカフェなど)を紹介。3)事例紹介:青森大学・佐々木豊志氏、NPO法人のんのりのだ物語・下向理奈氏、東北大学・渡邊ゆかり氏他、秋田北鷹高校・柴田創一郎氏、鶴岡食文化創造都市推進協議会・鈴木泰行氏、福島NPO法人しんせい富永美保氏、クロージングセッションでの質疑応答。</p>	

認定特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて

〒020-0124 岩手県盛岡市厨川 5 丁目 8 番 6 号

TEL:019-681-1904 FAX:019-681-1906

環境学習交流センター

岩手県地球温暖化防止活動推進センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7-1 アイーナ 5F

TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

E-mail:eco@aiina.jp(環境学習交流センター宛)

iccca@aiina.jp(岩手県地球温暖化防止活動推進センター宛)

